

# 第七十三回 帝國議會 臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄(速記)第十一回

會議									
昭和十三年三月三日(木曜日)午前十一時二十五分開議									
出席委員左ノ如シ									
委員長 高橋熊次郎君									
理事岡本實太郎君 理事岩瀬 貞君									
理事東條 勝君 前田房之助君 愛野時一郎君 正憲君									
理事河野 千秋君 渡邊玉三郎君 太田 正孝君									
内務省地方局長 坂 千秋君 大藏政務次官 太田 正孝君									
大藏參與官 中村三之丞君 大藏省主稅局長 大矢半次郎君									
宇賀 四郎君 津倉 龜作君 小串 清一君 大藏書記官 松隈 秀雄君									
佐藤洋之助君 宮本雄一郎君 服部 岩吉君 本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ									
木本主一郎君 岡田 忠彦君 临时租稅增徵法中改正法律案(政府提出)									
山川頼三郎君 森田 福市君 水谷長三郎君 临时租稅增徵法中改正法律案(政府提出)									
鶴 惣市君 三木 武夫君 馬場 元治君 登錄稅法中改正法律案(政府提出)									
堀内 良平君 酒造稅法中改正法律案(政府提出)									

付託議案  
臨時租稅增徵法中改正法律案(政府提出)  
所得稅法中改正法律案(政府提出)  
相續稅法中改正法律案(政府提出)  
酒造稅法中改正法律案(政府提出)  
支那事變特別稅法(政府提出)  
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)  
大正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出)  
麥酒稅法中改正法律案(政府提出)  
支那事變特別稅法(政府提出)  
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)  
臨時租稅指置法(政府提出)  
日滿國稅徵收事務共助法案(政府提出)

定セラル、後ニ於キマシテ、國民全體ノ負擔ノ關係ヨリ致シマシテ、何等カ擔稅力ヲ涵養スベキヤウナ施設ヲスルコトモ必要デアラウト存ジマス、之ニ付キマシテハ既ニ精神總動員ノ關係ニ於キマシテ、時局ニ對スル國民ノ心得トシテ、本增稅案ニ處スル國民ノ心得トシテ、地方廳ニ於キマシテハソレグ色々ナ施設ヲ致シテ居ルト云フコトハ、內務當局御承知ノコトデアラウト存ジマス、然ルニ此指導方針ト申シマスカ、國民ノ心得ベキ點ニ付キマシテ、極メテ消極的ノコトヲ以テ國民ヲ指導セラレテ居ルノデアリマス、先ヅソレガ第一ニ現レテ居ルノハ、十三年度ノ地方豫算編成ニ付キマシテノ内務省ヨリノ通牒デアリマシテ、之ニ付キマシテハ過日内務大臣ニモ其根本ノ精神ヲ伺ツタノデアリマスガ、要領ヲ得ナイノデアリマス、此通牒ヘ地方局長トシテハ能ク御承知ノ點デアラウト存ジマスカラ、此内容ニ付キマシテ順次御伺致シタイト存現在トハ、少シク事情ガ違ツテ居ルト云フヤジマス、大體此通牒ヲ出サレマシタ當時トナコトモ過日御話モアッタノデアリマスガ、事情ガドウ云フヤウニ變ツタト御考ニナッテ居リマスカ、先ヅ此點ヲ地方局長ニ御尋シタイト思ヒマス

○坂政府委員 當時此通牒ガ出マシタノハ、過日モ大臣カラ申述べラレタト思ヒマスガ、今回ノ事變ガ勃發致シマシテ、國家ト致シマシテハ其目的ヲ遂行スル爲ニ全力ヲ盡サナケレバナラヌノデアリマス、國ノ豫算ニ於キマシテモ、直接國防軍事ニ關係ノアリマセヌ方面ハ、已ムヲ得ズ努メテ整理節約ヲサレタヤウデアリマス、地方ニ於キマシテモヤハリ國ノ大キナ方針ニ順應ト申シマスカ、協力ト申シマスカ、此事變ノ目的ガ完全ニ遂行シ得ラレルコトヲ考ヘナケレバナリマセヌノデ、隨ヒマシテ先ヅ物資、殊ニ戰爭ニ關係ノアリマス方面ノ物資、或ハ資金、或ハ労力等ノ關係ヨリ致シマシテ、已ムヲ得ズ整理節約ヲシナケレバナラヌ、戰爭ノ大キナ目的ヲ完全ニ遂行スル爲ニ、一時忍シテ貴ハナケレバナルマイ、斯ウ云ノデアリマス、此通牒ヘ地方局長トシテハ時局ニ對シテノ指導ノ御方針ハ、單ニ公共團體ノ豫算ノ經理、又國民一般ガ個人ノ生活ニ關シテ、消費節約ヲスレバ宜シトイ云フ大體御趣旨ニ依ツテ居ルノデアリマスカ、其點ヲ御伺致シマス

○宮本委員 内務省ノ此增稅案ニ對シ、又時局ニ對シテノ指導ノ御方針ハ、單ニ公共團體ノ豫算ノ經理、又國民一般ガ個人ノ生生活ニ關シテ、消費節約ヲスレバ宜シトイ云フ大體御趣旨ニ依ツテ居ルノデアリマスカ、成シテ貴ヒタイ、斯ウ云フ心持デ通牒シテデアリマス、中々困難ナコトデアリマスガ、ソコハ能ク睨ミ合セテ考ヘタ上デ豫算ヲ編成シテ貴ヒタイ、斯ウ云フ心持デ通牒シテデアリマス、中々困難ナコトデアリマスガ、是ガ爲ニ大キナ所ニ於テ缺陷ヲ生ズルコトナイカト考ヘル次第デアリマス、隨ヒマシテ此大キナ心持ガ、今日ニナリマシテ非常ニ變更ヲ生ジタモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス

○宮本委員 其精神ハ通牒ノ中ニモ一部含マレテ居リマシテ、御説明ニ依リマシテモ大體分リマスガ、併シソレハ唯通牒ノ文面ニ書イテアルダケデ、言葉デ言フダケデアリマシテ、斯ノ如キ方針ニ於テ地方財政ヲ經理セントスルナラバ、時局ニ對應スル色々ナ極メテ緊急ナル施設モ全然出來ナイノデアリマス、唯時局ニ對應スル緊急ナル施設ハ、若干積極的ニ施行シテモ宜シトイ云フコトハ文書ノ中ニモアリマスシ、只今ノ御話ノ通リデアリマスガ、併シ此方針ニ依マス、今日ニナリマシテ、當時ヨリ事情ガ相成度ト云フコトヲ、通牒ノ文面ニモ申添

リマシテハ全然是ガ出來ナイ、實際問題トシテ、又本增稅ニ對應スル一つノ對策ト申シマスカ、出來ルダケ國家財政ノ各種ノ方面ヨリ達觀致シマスレバ、生産力ノ擴充ヲ圖リ、出來ルダケノ海外輸出貿易ノ振興ヲ圖ルト云フコトハ、極メテ必要ナ事柄デ、是ヘ大方針ト致シマシテ、無論現内閣モ左様ナ方針ヲ御執リニナッテ居ルコトデアラウト存ジマス、併シ之ヲ實際問題トシテ或ル程度マデ實現ヲ致シマシテ、稅金ハ稅金トシテ其負擔ニ堪ヘル、又一面收入ノ増加ヲ圖ルベク指導訓練ヲシナケレバナラスト云フコトモ、亦方針トシテ執ラナケレバナラスト考ヘマス、然ルニ内務省ノ市町村ニ對スル豫算ノ編成方針ト、御通牒ニナリマシタ内容カラ見マスレバ、只今御説明ニモアリマスシ、文書ニモ其コトガ書イテアリマスガ、是ハ全然實行力ガ出來ナイ、順次通牒ノ内容ニ付キマシテ、ドノ點ガ實行出來ナイト云フヤウナコトヲ申上ゲマシテ、更ニ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス

大體ニ於キマシテ此通牒ハ地方債抑制制ト云フコトハ、無暗ニ借金ヲシテ、如

何ニ必要ナ事業デアリマシテモ、地方ノ

シテ、又本增稅ニ對應スル一つノ對策ト申シマスカ、出來ルダケ國家財政ノ各種ノ方面ヨリ達觀致シマスレバ、生産力ノ擴充ヲ圖リ、出來ルダケノ海外輸出貿易ノ振興ヲ圖ルト云フコトハ、極メテ必要ナ事柄デ、是ヘ大方針ト致シマシテ、無論現内閣モ左様ナ方針ヲ御執リニナッテ居ルコトデアラウト存ジマス、併シ之ヲ實際問題トシテ或ル程度マデ實現ヲ致シマシテ、稅金ハ稅金トシテ其負擔ニ堪ヘル、又一面收入ノ増加ヲ圖ルベク指導訓練ヲシナケレバナラスト云フコトモ、亦方針トシテ執ラナケレバナラスト考ヘマス、然ルニ内務省ノ市町村ニ對スル豫算ノ編成方針ト、御通牒ニナリマシタ内容カラ見マスレバ、只今御説明ニモアリマスシ、文書ニモ其コトガ書イテアリマスガ、是ハ全然實行力ガ出來ナイ、順次通牒ノ内容ニ付キマシテ、ドノ點ガ實行出來ナイト云フヤウナコトヲ申上ゲマシテ、更ニ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス

大體ニ於キマシテ此通牒ハ地方債抑制制ト云フコトハ、無暗ニ借金ヲシテ、如

何ニ必要ナ事業デアリマシテモ、地方ノ

豫算ニ於テ之ヲ爲スコトハ宜シクナイ、

マシテ、之ニ對スル附加稅ガ大分減額ヲ致

シマス、其附加稅程度ダケハ一應補給金ヲ

シ又地方ノ經濟實情カラ致シマシテ、緊

急已ムヲ得ザルモノニ對シマシテハ、若

ニ書イテアリマス

第三項ト致シマシテ、「地方附加稅ハ昭和

ラコストモ大分アルノデアリマス、ソレハ

後ニ致シマシテ、先ヅ此豫算編成ニ付テ御示

シニナリマシタ方針ハ、只今私ガ申上げマシ

タ如ク、如何ニ時局ニ對シテ緊急已ムヲ得ザ

ル事ヲヤラントシテモ、ヤリ得ザル方針デア

ルト云フコトヲ順次申上ゲタイト存ジマス、

先ヅ歲入ニ關シマシテハ、第一ニ「課稅ニ

付テハ昭和十二年度ノ程度以下ニ止メ、是

ガ新設又ハ増徵ヲ行ハザルコト」第二トシテ

「雜種稅附加稅竝ニ戸數割以外ノ特別稅ニ付

テハ、補給金ニ依ツテ廢稅シタルモノハ之ヲ

計上セズ、減稅シタルモノハ輕減セラレタ

ル法定賦課率ニ依リ計算シタル稅額ヲ計上

スルコト、而シテ廢稅分ニ付テハ昭和十二

年當初豫算計上額ヲ限リ、減稅分ニ付テハ

補給金ニ依リ賦課率ヲ更訂シタルニ依リ生

ズル差額ヲ限リ一應補給金ヲ計上シ置クモ

シテハ若干違フノデアリマスガ、大體町村

シテハ若干違フノデアリマスガ、之ニ依ツテ市町村——市ニ依リマ

ハ、一億圓ノ地方財政補給金ガ計上致シテ

アリマスカラ、十二年度ニ交付サレタ補給

金ニ對シテ、少クトモ半額位ハ——交付歩

合ノ變更ニ依ツテ、若干一億圓ノ金額ノ分配

方ガ違フカモ知レマセヌガ、一億圓ハ間違

ヒナク決定セラレルモノト致シマスレバ、

單ニ雜種稅ノ十二年度ニ於テノ減額ダケデ

ナク、十二年度ニ交付ヲ受ケタル半額位ノ

計上ヲ致シテモ差支ナイト考ヘマスガ、ソ

レハ雜種稅ノ附加稅ノ減額ダケニ止メ、ソ

レ以外ノモノハ補給金ヲ計上シテハイケナ

イ、勢ヒ是ハ戸數割ヲ增加スルヨリ外致シ

シテ補給金ノ計上ハ、雜種稅ノ附加稅ヲ減

額シタヨリ以外ニ、戸數割、家屋稅等ノ減

額シタモノニ對シテハ補給金ハ全然計上シ

計上シテモ宜シイ、斯ウ云フコトガ第二項

テハイケナイト云フコトガ示サレテ居リマ

ス、是ガ歲入ニ付キマシテノ町村ノ豫算編

成ノ方針トシテ御示シニナッテ居ルノデアリ

マシテ、市町村ノ豫算經理ニ付キマシテハ、

ル事ヲヤラントシテモ、ヤリ得ザル方針デア

ルト云フコトヲ順次申上ゲタイト存ジマス、

シ、已ムヲ得ザル場合ニ於テハ、昭和十二

年齡當初豫算ニ計上シタル地租附加稅賦課

ト、而シテ右ニ依リ生ズル不足額ハ整理

格ニ基ク地租見込額ヲ基本トシテ、其賦課

率ハ昭和十二年度當初賦課率以下トスルコ

ト如ク、如何ニ時局ニ對シテ緊急已ムヲ得ザ

ル事ヲヤラントシテモ、ヤリ得ザル方針デア

ルト云フコトヲ順次申上ゲタイト存ジマス、

シ、已ムヲ得ザル場合ニ於テハ、昭和十二

年齡當初豫算ニ計上シタル地租附加稅賦課

ト、而シテ右ニ依リ生ズル不足額ハ整理

方ナイノデアリマス、先づ此點ニ付キマシテ、順次御伺致シタイノデアリマスガ、補給金ニ對シテハ十二年度ノ半額位マデハ計上シテモ宜シイ、斯様ニ此通牒ノ第四項ヲ急速ニ御改メニナルコトハ出來ナイノデアリマスカ、ソレヲ先づ御伺致シタイ

○坂政府委員 此通牒ヲ只今速急ニ變更致シマスル考ハ持ッテ居リマセヌ、今御示シニナリマシタヤウニ、戸數割、家屋稅若クハ同附加稅、營業稅若クハ同附加稅ノ輕減ノ爲ニ付キマシテハ、補給金ヲ計上シナイヤウニ書イテアリマスコトハ御說ノ通リデアリマス、是ハ昨年ノ九月十一日ニ出シマシタ通牒、市町村ノ豫算ノ編成アリマスト、サウ急グ必要ハナイノデアリマスガ、府縣市町村ヲ通ジテ居ルモノニアリマスノデ、府縣ハ御承知ノヤウニ九月ノ末カラ十月ノ初マデニ豫算ヲスッカリ纏メルノデアリマス、ソレ迄ニ豫算ヲ編成シナケレバナリマセヌノデ、隨テ九月十一日頃ニ急イデ非常ニ早ク出サナケレバナラスト云フコトデ之ヲ出シタヤウナ次第デアリマス、其當時ハマダ國ノ豫算ト致シマシテモ、一億圓ノ補給金ガ決ツテ居ラナカッタノデアリマス、内務省ト致シマシテハ固ヨリ補給

金ガ減ルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌシ、

又之ヲ増額シテ費ハナケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ居ラナイノデアリマセヌケ

レドモ、國ノ豫算ガ形式的ニ何分ニモ決ツテコトヲ考ヘテ居ラナイカモ知レマセヌガ、好マシクナ

居ラナイノデアリマスシ、内務、大藏兩次官ノ正式ノ通牒デアリマスノデ、餘リ將來ノ

コトヲ豫想致シマシテ書キマスコトハ遠慮シナケレバナラヌ筋ニナツテ居リマスルシ、大事ヲ踏ンデ間違ヒノナイ所ヲ書上ゲテ居ルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマス、其結果多少消極的ノ書キ方ニナツテ居ルコトハ御說ノ通リデアルト思ヒノマスガ、當時ノ事情ト致シマシテハ、是ハ已ムヲ得ナカツタノデハナイカト思フノデアリマス、其點へ稍、嚴密ニ書イテアル

云フコトニナリマシテハ、本來ノ精神ヲ破ルモノデアリマスノデ、戸數割ガ餘リ高クナルト云フ傾向ニ向フヤウナ言ヒ方ヲスルコトハ好マシクナイ、斯ウ云フヤウナ氣持モアリマシテ、其點へ稍、嚴密ニ書イテアル

次第デアリマス、當時ノ事情ト致シマシテハ、サウ云フ心持デ之ヲ書イタノデアリマスガ、併シ今日トナリマシテハ、國ノ豫算

既ニ一億圓計上セラレテ居ルト云フコトモ、

既ニ當局ト致シマシテ考慮セラレルト云フ

コトヲ申サレテ居ル、一億圓ハ確定デアリ

マスカラ、此通牒ヲ御出シニナツタ當時ヨリ

國ノ豫算ガ事情ガ違ツテ參ッテ居ルノデアリ

マスカラ、ヤハリ此通牒ニ依ラズシテ、戸

數割ヲ増額セズシテ、半額位計上シテモ宜

イノデハナイカ、左様ニ形式張ッタコトヲ以

テ固執ナサラナクテモ宜イノデハナイカ、

其點ハ實際ニ於テハ少クトモ一億圓ハ決

リ切ッタ問題デアリマス、ソレ以上ニ大藏大

臣ハ考慮セラレルト言ハレ、内務大臣モソ

レニハ反對デハナイ、ドレダケ増額セラレ

ルカハ分リマセヌガ、一億圓ハ既ニ決ツテ居

ルノデアリマスカラ、十二年度ニ交付セラ

ヲ助長スルノデハナイカト云フ心配モナイデハナイノデアリマス、補給金ガ不必要ナシテ置イテ戴キタイト思ヒマス、其結果戸

經費ニ使ハレルト云フコトハ、是ハ言葉ガ適當デナイカモ知レマセヌガ、好マシクナ

レドモ、國ノ豫算ガ形式的ニ何分ニモ決ツテ

居ラナイノデアリマスシ、内務、大藏兩次官

ノ正式ノ通牒デアリマスノデ、餘リ將來ノ

コトヲ考ヘテ居ラナイノデアリマセヌケ



ノ確定スル迄ハ歳入歳出ノ「バランス」ヲ合  
セル爲ニ戸數割ヲ増シテ置イテ宜シイ、其  
代リ補給金ノ決定スル迄ハ制限外課稅ノ手  
續ヲシナクテ宜シイ、斯ウ云フ通牒ヲ御出  
シ願ヘレバソレデ宜シイ、ソレハ御考ニナ  
ラナクテモハッキリシタ問題デアリマスカ  
ラ、此處デ左様ナ通牒ヲ出スト云フコトヲ  
仰シヤツテ戴イテ宜シイト思ヒマスガ、如何  
デアリマスカ、或ハ其事ハ内務大臣ノ決裁  
ヲ經ナケレバナラヌト云フヤウナコトデア  
リマスレバ、ソレデモ宜シウゴザイマス  
ガ、地方局長ノ御決心ハ處デ御考ニナル程  
ノ問題デハナイト思ヒマス、此二點ニ付キ  
マシテ此席ニ於テハッキリシテ置イテ戴キ  
タイト思ヒマス

シタイ、斯ウ云フ意味デアリマス  
○宮本委員 ソレハ豫算ノ編成ハ大部分出来マセウ、戸數割ヲ増額致シマシテ大部分ハ出来マスガ、豫算ガ出來ナイ市町村モアルノデアリマス、其市町村ニ對シマシテハ豫算ヲ何トカ纏メサセル、又一面ニ於キマシテハ、制限外課稅ニ對シテノ手續ハ補給金ノ決定スル迄ハ差支ヘナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ御出シニナラナイト、府縣ガ豫算編成ニ對シテソレハ市町村ニ打合セラシテ居リマス實情ガ、此通牒通リノコトヲヤツテ居ル、是ハ町村ニ取リマンテハ制限外課稅ノ手續ヲスルト云フヤウナコトハ大變ナコトデアリマス、ソレモ已ムヲ得ザル災害等ノ場合ニ於テ、制限外課稅ヲスルト云フヤウナ實際問題ノ場合ニ於キマシテハ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、補給金ヲ貰ヘバ此手續ヲシナイデ宜シイノデアリマス  
○坂政府委員 豫算ノ編成ノ時ニハ高イ戸數割ヲ組ンデ置イテ戴イタラ宜シイト思ヒマス、其戸數割ノ認可ヲ受ケルコトハ來年度ニ入ッテノ問題デアリマスカラ、其手續ガ濟マナケレバ豫算ガ組メナイトハ考ヘマセヌ、ドウシテモ高イ戸數割ヲ組ンデ置イテノ手續ヲ要スルコトデアリマスカラ、ソレ

○宮本委員 私ノ質問ノ要旨ハ左様デアリマス、  
リマセヌ、豫算ノ編成ニ付キマシテハ、戸數  
割ヲ増加シテ宜シト云フコトデアリマス  
レバ、其通リニ豫算ノ編成ヲ致シマス、是  
ハ百分ノ八十二ナラウガ百分ノ百ニナラウ  
ガ、戸數割一本デ増加シテ參リマスレバ歳  
入歳出ノ「バランス」ハ取レマスソレガ四月  
一日マデニ制限外課稅ノ手續ヲシナケレバ  
市町村長ハ譲責處分ヲ受ケマス、是ハサウ  
云フ例ガアツカ、ソレヲ補給金ガ尙ホ決定  
シテモ百分ノ六十以上ナレバ手續ヲシナケ  
レバ經理ガ出來マセヌ、出來マセヌカラ補  
給金ノ決定スル迄ハ、其手續ヲ三月三十一  
日マデニ制限外課稅ノ指令ヲ市町村長ハ取  
ラナクテモ宜シト云フコトヲ、地方局長  
ガ御取扱出來ナイコトハナイト思フ  
〔「飯ヲ食フ間ニ地方局長ニ考ヘテ貰ツ  
タラドウダ」ト呼フ者アリ〕

○**阪政府委員** 考へマセウガ、只今申上ゲ  
タ以外ニサウ變ツタ考ガ出ルカドウカ疑問  
デアリマス、能ク考ヘマセウ、併シ豫算ノ  
實行ニ付テハ成ベク市町村當局ニ世話ガ掛  
ラナイヤウニ、法規上ハ已ムヲ得ナイ手續  
ニナツテ居リマスケレドモ、何トカ簡単ニ出  
來ルヤウニ努力致シタイ、斯ウ云フコトヲ  
誇ク申上ゲテ居ルノデアリマス

○**宮本委員** モウ此點ニ付テハ質問應答ヲ  
重ネル必要ノナイハツキリシタ問題デアリ  
マスカラ、私共ノ質問ノ要旨ヲ尊重セラレ  
マシテ、緊急ニ御運ビヲ願ヒマス、私ハ此  
程度デ地方局長ニ對スル質問ヲ終リマス

○**岩瀬委員長代理** 午前ノ會議ハ是デ打切  
リマシテ、午後ハ一時半カラ決算委員室デ  
開クコトニ致シマス、休憩致シマス

午後零時二分休憩

午後二時五十分開議

○**高橋委員長** 開會致シマス、大藏大臣ガ  
御出席ニナリマシタ——宮本雄一郎君

○**宮本委員** 私ハ極メテ簡單ナル問題ニ付  
キマシテ、本増稅案ニ關シ大藏大臣ニ御所  
見ヲ御伺致シタイト思ヒマス、本增稅案ノ  
施行ニ當リマシテ、之ニ對應スル國民ノ指  
導訓練ヲ爲ス必要ハ十分御認メニナツテ居  
ル點デアルト思フノデアリマス、先づ第一

○賀屋國務大臣 只今ノ御質問デアリマス  
大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス  
ガ、此事變ニ關シマシテハ、獨リ稅ノ關係  
ノミナラズ、國民ニ協力ヲ求メマスルコト  
ハ非常ニ多イノデアリマス、色々ノ事業ノ  
統制等ニ付キマシテハ、關係當業者ニ對シ  
マシテ、眞ニ其意味ヲ理解シテ貰ッテ協力  
シテ貰フコトガ大切ナノデアリマス、  
是ハ言葉ハ適當デナイカモ知レマセヌ  
ガ、謂ハゞ専門的ノ協力デアリマス、其  
外一般國民ト致シマシテ此際國家ノ爲ニ  
必要ナル、合理的ノ消費節約、貯蓄ノ獎勵、  
ソレト納稅ニ付キマシテ、此時局柄已ムヲ  
得ザル所以ヲ十分ニ理解ヲ致シテ貰ヒタイ  
ト思フノデアリマス、併ナガラ此點ニ付キ  
マシテハ、相當國民ノ間ニモ此意味、其必  
要ガ理解サレテ居ルヤウニ考ヘルノデアリ  
マス、併シ今申上ゲマシタ合理的ナル消費  
ノ節約、貯蓄ノ獎勵、納稅ノ觀念ヲ併セテ  
一般國民ニ能ク認識了解ヲシテ貰フ必要ガ  
アルト思フノデアリマス、是等ノコトニ付キ  
マシテハ、今後事變ガ長期ニ亘リ、巨額ノ  
戰費モ撒布サレマスノデ、政府ハ從來以上  
ニ更ニ一段ト國民ノ理解ヲ得マスルヤウニ  
努力ヲ致ス積リデアリマス、尙ホ此物品

マシテ、能ク其眞意ヲ了解ラシテ貰ヒタイト  
思フノデアリマス、一ツハ斯ル際ニ多ク増稅  
マイト思ヒマスルガ、增稅ニ關係ナキ品物マ  
デ、之ニ藉口シ、或ハ此犠牲ニ乘ジテ物價  
ノ値上リヲ致ス、又增稅ニ關係ガアリマシ  
テ、而モ其增稅ハ間接稅ノ意味デアッテ、消  
費者ニ轉嫁スルノガ筋合ノモノニアリマ  
シテモ、其程度以上ニ値上ヲスルト云フヤ  
ウナコトガ從來ハアリ勝デアッタ思フノ  
デアリマス、今回ハ左様ナコトガアリマス  
レバ、製造業者、販賣業者等ニ於キマシテ  
不當ノ利益ヲ貪リマス譯デアリマス、國民  
ガ事變ニ貢獻ヲスル爲ニ犠牲ヲ拂フ際ニ、  
ソレニ乘ジテ不當ノ利益ヲ貪ルト云フコト  
ニ相成ルノデアリマスカラ、嚴ニ此點ヲ戒  
メルヤウニシナケレバナラヌト思ヒマス、  
ソレニハ只今申上ゲマシタヤウニ、必シモ  
惡意トノミ言ヘナイ場合ガアルカト思ヒマ  
スノデ、事柄ノ眞相ヲ能ク徹底セシメテ、  
之ヲ購買者側ニモ、消費者側ニモ、又生産  
者、販賣者側ニモ徹底セシムルヤウニ努メ  
ルト云フコトハ、今回ノ增稅ニ付キマシテ  
ハ特ニ必要デアラウト思ヒマスノデ、其點  
ニ力ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○宮本委員 私ノ心配致シマス點ハ、此増税ノ關係、又時局ニ關シマシテ非常ニ物價ノ變動ヲ恐レルノデアリマス、非常ニ物價ガ騰貴致シマスコトモ亦憂慮スベキ問題デアリマスガ、非常ニ物價ガ下落スルコトモ亦地方農村ニ於キマシテハ脅威ヲ感ズルノデアリマス、ソレハ昭和五年、六年當時ノ農村ニ於キマシテノ農產物ノ價格下落ノ結果ガ、非常ニ經濟上ニ困難ヲ感ゼシメタト云フコトハ、今尙ホ記憶ニ新タル問題デアリマス、兩三年來農產物ノ價格ガ稍向上シテ參リマシテ、農家ハ幾分一息セントスルヤウナ狀態ニナツテ參ッタノデアリマス、然ルニ今回ノ增稅 又時局ニ對シマシテ、是ハ何トシテモ國民トシテハ切抜ケルト云フ決心ヲ持タナケレバナラヌノデアリマスガ、又色々ナ國民指導ノ施設ガ行過ギト云農產物ガ非常ニ下落スルヤウナコトガアリマスト、農村ノ經濟ト云フモノガ非常ニ又困憊ヲ見ルコトニナルノデアリマス、現ニ精神總動員ノ關係ニ於キマシテ、時局對策、又今回ノ増稅ニ付キマシテノ對策モ關係シテ居ルコトダラウト存ジマスガ、地方廳ニ於キマシテハ、物價騰貴抑制委員會等ヲ作リマシテ、尙ホ是等ノ施設ニ付キマシテ、ソレベシ町村ヲ巡回講演等ノ場合ニ於キマ

ノ要旨ニ加ヘテ、一般ノ市町村民ニ説イテ  
巡ツテ居ルノデアリマス、其結果非常ニ心配  
致シマスコトハ、非常ナル物價ノ下落、農  
產物ノ下落ヲ來スコトハナイカ、斯ウ云  
フ點デアリマス、其成行ガドウ云フ結果ヲ  
生ズルカト云フコトハ分リマセヌガ、先刻モ  
内務當局ニ、市町村ノ豫算編成ニ付キマ  
シテノ方針ヲ伺ッタノデアリマス、其  
依命通牒ハ大藏大臣ガ御承知カドウカ  
存ジマセヌガ、非常ニ極端ナル緊縮政策ヲ  
執ルコトニナッテ居リマス、是ハ一面ニハ公  
共團體ノ豫算モ、左様ナ經理ヲ此場合トシ  
テハ考ヘナケレバナラヌコトデアリマセウ  
シ、國民モ亦消費節約ト云フヤウナコトモ、  
無論考ヘナケレバナラヌコトデアリマス  
ガ、其方針ガ豫算ガ效キ過ギテ、昭和五年六年  
ノヤウナコトヲ繰返スコトニナリマスト、農  
村ハ奈何トモ致シ方ガナイコトニナル、其  
調節ヲ如何ニスルカ、左様ナコトハサセナ  
イト云フコトヲ以テ、此増稅ニ對シ、非常  
時ニ對シテ、國民ヲ指導訓練シテ行カナケ  
レバナラナイ政府ト致シマシテハ、獨リ増  
稅ノミデハナク、總ニ左様ナ御方針ヲ御  
執リニナル御考デアリマスカ、農產物ノ物  
價關係等ハ、自然輸出ニモ關係スルコトデ

アリマシテ、生産擴充ヲ圖リ、輸出貿易ノ振興ヲ圖ルト云フヤウナコトモ亦極メテ必要ナコトデアラウト存ジマス、是等ハ政府致シマシテハ、ソレベシ各省ノ御方針ヲ一貫シテ國民ニ示サレルコトニナラウト存ジマスガ、尙ホ大藏大臣ト致シマシテハ、ソレ等ノ點ニ付テ餘リ物價ヲ上げナイ、又一部ノモノヲ餘リ極端ニ下ゲルヤウナコトモサセナイト云フコトヲ、何トカ茲ニ大藏大臣トシテノ御意見ヲ伺ヒ得マシテ、非常ナ物價ノ變動ガナイカト云フ心配ヲナカラシムルヤウニ、此案ノ審議ニ當リマシテ考ヘタイト存ジマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテ、今一應大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 只今ノ御話ハ御尤ナ點ガアルト思フノデアリマス、大體戰爭事變ニ際シマシテハ、其當初ハ非常ニ悲觀的ニナリマシテ、寧ロ不景氣ニナルヤウナ傾向ガアルノデアリマス、此事變ノ初メニ當リマシテモ、何モ彼モ消費ノ節約ヲ致スト云フヤウナ風潮ガ少シアッタ思ヒマス、政府ト致シマシテハ特ニ其適當デナリコトヲ考ヘマシテ、消費節約ニ付テ何故ニ之ヲ行フカト云フ其理由、隨テ目的ガ何處ニアルカ、如何ナル方面ニ對シ如何ナル對象ニ對シテ行

フカト云フコトヲ、特ニ閣議デ決定ヲ致シマシテ、是ハ御承知デオアリデアルカモ知レマセヌガ、結局今ノ消費ノ節約ト云フコトハ、事變ニ關シテ必要ナル物資ヲ十分ニジマスガ、尙ホ大藏大臣ト致シマシテハ、ソレ等ノ點ニ付テ餘リ物價ヲ上げナイ、又一部ノモノヲ餘リ極端ニ下ゲルヤウナコトモサセナイト云フコトヲ、何トカ茲ニ大藏大臣トシテノ御意見ヲ伺ヒ得マシテ、非常ナ物價ノ變動ガナイカト云フ心配ヲナカラシムルヤウニ、此案ノ審議ニ當リマシテ考ヘタイト存ジマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテ、今一應大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

ハ、徹底的ニヤルベシト云フコトヲ一つノ方針ト致シマシタ、又モウ一ツノ方針ハ、此際ニ當ツテ所得ノ増加シタモノハ、其生計費ヲ膨脹スルコトナク、元ノ儘ニ止メテ、其餘剩ヲ蓄積ヲサレタイ、斯ウ云フ二方面ヲ強調致シタノデアリマス、前者ノ強調ヘ、相當今御心配ニナツテ居リマス弊害ヲ防ギタイト云フノデアリマス、例ヘバ歐洲戰爭ニ當リマシテハ、彼ノ地ニ參リマシタ者ハ、シマシテハ、其當初ハ非常ニ悲觀的ニナリマシテ、寧ロ不景氣ニナルヤウナ傾向ガアルノデアリマス、此事變ノ初メニ當リマシテガ、只今申上ゲマシタヤウナ方針デ參リタ

イト思ヒマス、併ナガラ寧ロ今後ノ大勢皆砂糖ナシノ生活デアルトカ、總テサウ云フヤウナ經驗ヲ以チマシテ、日本トシテ只今ノヤウニ自由ニ砂糖ヲ用ヒテ居ルノモドウカト云フヤウナ御話サヘアル位デアリマス、我併シソレハ兩者ノ狀況ガ違ヒマスノデ、我左様ナ打擊ガアリマスカドウカト云フコト貴ヲ防グト云フ方ガ實ハ實際ノ問題ニ相成ヘ、物價ノ下落ヲ心配致シマスヨリモ、騰風ニ考ヘテ居リマス、御趣旨ハ全ク同ジデアリマシテ、餘リ過當ナ騰貴モサレナイヤウニ、又徒ラナル緊縮節約ヲシマシテ、不當ナ下落ガソコニ起ルト云フコトガ無イヤウニ、此事ハ時局ノ初メカラ一貫シテ居ル私共ノ考デアリマス、併シ力ノ入レ方ハ大體サウ云フ風ニナルノデハナイカト思ヒマスガ、不當ニ一方ニ萎縮ガ起リマンシテ、物價ノ下落ガ起リマスヤウナ場合ニハ、元々

サウ云フ状態デアリマスカラ、決シテ其方面モ疎カニスル積リハナイノデアリマス、サウ云フ趣旨デ尙ホ今後十分徹底致シマスヤウニ努力致ス積リデアリマス

○宮本委員 ソコデモウ一點御伺致シテ置キマスガ、是ハ主トシテ商工省ノ所管ト考ヘマスケレドモ、國際貸借ノ調和ヲ圖リ、之ニ對シテ貿易ノ振興ヲ圖ルト云フコトベ、何人モ異論ノナイ問題デアリマス、如何ニシテ是ガ實行ヲ見ルカト云フ點ハ、今後ノ事變對策ニ於キマシテモ、最モ重要ナツノ政策デアラウト思ヒマス、之ニ付キマシテハ從來貿易振興助長政策ト致シマンシテ、輸出補償法ヲ擴大セラレ、既ニ昨年ノ八月一日ヨリ實施セラレテ居ルノデアリマス、尙ホ現在ノ貿易狀況ヨリ致シマシテ、今少シク貿易振興ノ一つノ方策ト致シマシテ、政府ノ實行致シテ居ル輸出補償法ノ範圍ヲ擴大スル等ノコトガ、一種ノ貿易振興策デアラウト存ジマス、是ハ臨時的ニ現在ノ輸出補償制度ノ割合ヲ向上セシムルコトモ必要デアラウト存ジマスガ、是ハ何レ商工大臣ニモ御伺致シタイト存ジマスガ、此制度ニ付キマシテハ、政府ハ補償料ヲ大分御取りニナツテ居リマシテ、昭和十一年度ノ決算表ニモ四十數万圓ト云フ數字ガ現レテ居リマ

ス、十三年度ノ數字ニ依リマシテモ、百三十九万九千圓ノ補償料ガ計上サレテ居リマス、一面補償法ノ適用ニ關シマシテハ、臨時的ニ補償率ヲ低下セシメルト云フコトモ亦一ツノ助長方策デアラウト存ジマス、此點ニ付キマシテ大藏大臣ガ何カ御考ガアリマスレバ、御伺致シテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 輸出ノ獎勵ニ付キマシテノ御説ハ洵ニ御尤デアリマス、既ニ本院ヲ通過致シマシタ本豫算ト致シマシテモ、特ニ農村關係ニ於キマシテ輸入ノ防遏、輸出ノ増進ニ付キマシテノ生産ニ關シ、若干ノ經費ガアッタト思ヒマス、尙ホ只今輸出補償制度ノ運用ト申シマスルカ、御意見モアリマシタガ、ソレニ關シテハ私ハ只今考ヲ申上ゲルコトヲ差控ヘマスルガ、商工省ニ於テモ尙ホ其後ニ於テ考ヘ得ルコトニ付テ、輸出ノ振興方策ニ付キマシテ研究中デアルト聽イテ居リマス、場合ニ依リマシタラ追加豫算デ更ニ御審議ヲ仰グコトトナルト思ツテ居リマス

○宮本委員 モウ一點デ打切ルコトニ致シト、地方財政補給金ノコトハ先輩各位ガラウト存ジマス、是ハ臨時的ニ現在ノ輸出補償制度ノ割合ヲ向上セシムルコトモ必要デアラウト存ジマスガ、是ハ何レ商工大臣ニモ御伺致シタイト存ジマスガ、此制度ニ付キマシテハ、政府ハ補償料ヲ大分御取りニナツテ居リマシテ、昭和十一年度ノ決算表ニモ四十數万圓ト云フ數字ガ現レテ居リマス、一面モ疎カニスル積リハナイノデアリマス、サウ云フ趣旨デ尙ホ今後十分徹底致シマスヤウニ努力致ス積リデアリマス

○宮本委員 ソコデモウ一點御伺致シテ置キマスガ、是ハ主トシテ商工省ノ所管ト考ヘマスケレドモ、國際貸借ノ調和ヲ圖リ、之ニ對シテ貿易ノ振興ヲ圖ルト云フコトベ、何人モ異論ノナイ問題デアリマス、如何ニシテ是ガ實行ヲ見ルカト云フ點ハ、今後ノ事變對策ニ於キマシテモ、最モ重要ナツノ政策デアラウト思ヒマス、之ニ付キマシテハ從來貿易振興助長政策ト致シマンシテ、輸出補償法ヲ擴大セラレ、既ニ昨年ノ八月一日ヨリ實施セラレテ居ルノデアリマス、尙ホ現在ノ貿易狀況ヨリ致シマシテ、今少シク貿易振興ノ一つノ方策ト致シマシテ、政府ノ實行致シテ居ル輸出補償法ノ範圍ヲ擴大スル等ノコトガ、一種ノ貿易振興策デアラウト存ジマス、是ハ臨時的ニ現在ノ輸出補償制度ノ割合ヲ向上セシムルコトモ必要デアラウト存ジマスガ、是ハ何レ商工大臣ニ付キマシテハ、政府ハ補償料ヲ大分御取りニナツテ居リマシテ、昭和十一年度ノ決算表ニモ四十數万圓ト云フ數字ガ現レテ居リマス、一面モ疎カニスル積リハナイノデアリマス、サウ云フ趣旨デ尙ホ今後十分徹底致シマスヤウニ努力致ス積リデアリマス

斯ル際デアリマスカラ、決シテ其方面モ疎カニスル積リハナイノデアリマス、サウ云フ趣旨デ尙ホ今後十分徹底致シマスヤウニ努力致ス積リデアリマス

○宮本委員 ソコデモウ一點御伺致シテ置キマスガ、是ハ主トシテ商工省ノ所管ト考ヘマスケレドモ、國際貸借ノ調和ヲ圖リ、之ニ對シテ貿易ノ振興ヲ圖ルト云フコトベ、何人モ異論ノナイ問題デアリマス、如何ニシテ是ガ實行ヲ見ルカト云フ點ハ、今後ノ事變對策ニ於キマシテモ、最モ重要ナツノ政策デアラウト思ヒマス、之ニ付キマシテハ從來貿易振興助長政策ト致シマンシテ、輸出補償法ヲ擴大セラレ、既ニ昨年ノ八月一日ヨリ實施セラレテ居ルノデアリマス、尙ホ現在ノ貿易狀況ヨリ致シマシテ、今少シク貿易振興ノ一つノ方策ト致シマシテ、政府ノ實行致シテ居ル輸出補償法ノ範圍ヲ擴大スル等ノコトガ、一種ノ貿易振興策デアラウト存ジマス、是ハ臨時的ニ現在ノ輸出補償制度ノ割合ヲ向上セシムルコトモ必要デアラウト存ジマスガ、是ハ何レ商工大臣ニ付キマシテハ、政府ハ補償料ヲ大分御取りニナツテ居リマシテ、昭和十一年度ノ決算表ニモ四十數万圓ト云フ數字ガ現レテ居リマス、一面モ疎カニスル積リハナイノデアリマス、サウ云フ趣旨デ尙ホ今後十分徹底致シマスヤウニ努力致ス積リデアリマス

○賀屋國務大臣 輸出ノ獎勵ニ付キマシテノ御説ハ洵ニ御尤デアリマス、既ニ本院ヲ通過致シマシタ本豫算ト致シマシテモ、特ニ農村關係ニ於キマシテ輸入ノ防遏、輸出ノ増進ニ付キマシテノ生産ニ關シ、若干ノ經費ガアッタト思ヒマス、尙ホ只今輸出補償制度ノ運用ト申シマスルカ、御意見モアリマシタガ、ソレニ關シテハ私ハ只今考ヲ申上ゲルコトヲ差控ヘマスルガ、商工省ニ於テモ尙ホ其後ニ於テ考ヘ得ルコトニ付テ、輸出ノ振興方策ニ付キマシテ研究中デアルト聽イテ居リマス、場合ニ依リマシタラ追加豫算デ更ニ御審議ヲ仰グコトトナルト思ツテ居リマス

○宮本委員 モウ一點デ打切ルコトニ致シト、地方財政補給金ノコトハ先輩各位ガラウト存ジマス、是ハ臨時的ニ現在ノ輸出補償制度ノ割合ヲ向上セシムルコトモ必要デアラウト存ジマスガ、是ハ何レ商工大臣ニ付キマシテハ、政府ハ補償料ヲ大分御取りニナツテ居リマシテ、昭和十一年度ノ決算表ニモ四十數万圓ト云フ數字ガ現レテ居リマス、一面モ疎カニスル積リハナイノデアリマス、サウ云フ趣旨デ尙ホ今後十分徹底致シマスヤウニ努力致ス積リデアリマス

○賀屋國務大臣 斯ル際デアリマスカラ、決シテ其方面モ疎カニスル積リハナイノデアリマス、サウ云フ趣旨デ尙ホ今後十分徹底致シマスヤウニ努力致ス積リデアリマス

市町村ノ豫算編成ノ時期ニ際會致シマシテ、又國民ノ地方費負擔ノ關係ヨリ致シマシテ、國民全體ニ瓦リ重大ナル問題トシテ、國民全體ガ關心ヲ持ツテ居ル問題デアルト云フコトモ亦一ツノ助長方策デアラウト存ジマス、此點ニ付キマシテ大藏大臣ガ何カ御考ガアリマスレバ、御伺致シテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 輸出ノ獎勵ニ付キマシテノ御説ハ洵ニ御尤デアリマス、既ニ本院ヲ通過致シマシタ本豫算ト致シマシテモ、特ニ農村關係ニ於キマシテ輸入ノ防遏、輸出ノ増進ニ付キマシテノ生産ニ關シ、若干ノ經費ガアッタト思ヒマス、尙ホ只今輸出補償制度ノ運用ト申シマスルカ、御意見モアリマシタガ、ソレニ關シテハ私ハ只今考ヲ申上ゲルコトヲ差控ヘマスルガ、商工省ニ於テモ尙ホ其後ニ於テ考ヘ得ルコトニ付テ、輸出ノ振興方策ニ付キマシテ研究中デアルト聽イテ居リマス、場合ニ依リマシタラ追加豫算デ更ニ御審議ヲ仰グコトトナルト思ツテ居リマス

○宮本委員 モウ一點デ打切ルコトニ致シト、地方財政補給金ノコトハ先輩各位ガラウト存ジマス、是ハ臨時的ニ現在ノ輸出補償制度ノ割合ヲ向上セシムルコトモ必要デアラウト存ジマスガ、是ハ何レ商工大臣ニ付キマシテハ、政府ハ補償料ヲ大分御取りニナツテ居リマシテ、昭和十一年度ノ決算表ニモ四十數万圓ト云フ數字ガ現レテ居リマス、一面モ疎カニスル積リハナイノデアリマス、サウ云フ趣旨デ尙ホ今後十分徹底致シマスヤウニ努力致ス積リデアリマス

○賀屋國務大臣 斯ル際デアリマスカラ、決シテ其方面モ疎カニスル積リハナイノデアリマス、サウ云フ趣旨デ尙ホ今後十分徹底致シマスヤウニ努力致ス積リデアリマス

○賀屋國務大臣 輸出ノ獎勵ニ付キマシテノ御説ハ洵ニ御尤デアリマス、既ニ本院ヲ通過致シマシタ本豫算ト致シマシテモ、特ニ農村關係ニ於キマシテ輸入ノ防遏、輸出ノ増進ニ付キマシテノ生産ニ關シ、若干ノ經費ガアッタト思ヒマス、専單ニ增稅三億圓ト云フナラバ、現在ノ戰時狀態ノ下ニ於キマシテハ是ハ當然ノコトデアリマシテ、長ク委員會ヲ開キマシテ色ノ問答ヲ繰返ス必要ハナイノデアリマス、唯吾々ハ此三億圓ノ增稅ヲバ、日本ノ臣ハ熱心ニ一つ御考ヲ願ヒマシテ、速ニ此セラルベキ金額ノ程度ト云フコトガ、目下下サイマシテ、發表セラレンコトヲ御願致シ

シテ居ルコトニ於キマシテ、色々ナ問題ガ起ツテ來ルノデハナカラウカト思フノデアリマス、隨ヒマシテ私ハ自分ノ質問ノ出發點ト致シマシテ、是マデ色々論議ノ的ニナリマシテ、大藏大臣カラ其都度繰返シ御親切ナル御答辯ガアッタノデアリマスルガ、マダハツキリト満足スペキ結論ニ到達シナイ問題ガ二三アリマスノデ、其點ニ關シマシテ先ヅ御聞キ致シタイト思フノデアリマス、其點惡シカラズ御諒承ラ願ヒタイト思フ次第デゴザイマス、先ヅ第一ニ此度ノ增稅ノ目標ニ關シテデゴザイマスルガ、此問題ハ是マデ色々ノ側カラ質問サレマシテ、又其都度繰返シ大藏大臣ハ御親切ナル御答辯ヲサレタノデアリマス、或ハ銃後ノ御奉公ノ爲デアルトカ、或ハ負擔ノ均衡ノ爲デアルトカ、其他色々ナ御答辯ガアッタヤウデゴザイマス、併ナガラ私ハ此度ノ増稅ニ於キマシテ、如何ナル目標ニ一番重點ヲ置クベキカト云フコトヲハツキリサシテ置ク必要ガアルノヂヤナイカト思フノデアリマス、勿論アノ手此手ト色々ナ手ハゴザイマシテ、隨テ増稅ノ目標ニ關シマシテ、一ツニ限ルコトハ出來ナイノデアリマス、大藏大臣ノ是マデノ御答ニナリマシタヤウニ、色々ノ目標ハアルノデアリマスルガ、併ナ

ガラ其色々ノ目標ノ中ニ於キマシテ、如何ナル目標ニ重點ヲ置クベキカト云フ點ヲ私イカト思フノデアリマス、例ヘバ大藏大臣ガ是マデ仰シヤイマシタ目標ノ一つシテ、或ハ銃後ノ御奉公ト云フヤウナコトヲ言ッテ居ラレル、是ハ結城大藏大臣モ、準戰時ニナツテ色々國家ニ物入りガアルカラ、勤勞大衆、無產大衆ニ於テモ其一半ヲバ負擔シテ貴ヒタイト云フコトヲ絶エズ繰返シテ居ラレタノゴザイマスルガ、若シ斯ウ云フ銃後ノ御奉公ト云フヤウナ點ヲ目標ニスルナラバ、私ハ寧ロ消費稅ナンカラ選バズニ、直接受稅主義を行クベキデハナイカト思フ、例へバ酒ガ高クナル、煙草ガ高クナル、一般ソレデハ此度ノ增稅ニ於キマシテ、如何ナル點ヲバ目標ニ置クベキカト申シマスレバ、戰時財政ノ健全性ヲ保持シテ、通貨ノ急激ナル膨脹ニ依ル「インフレ」ノ悪化ヲ阻止スル、此點ニ此度ノ增稅ノ目標ヲ置クベキデアラウト思フノデアリマス、勿論私ハ云フヤウナハツキリシタ認識ハ起ラヌ、ヤハリ直接稅主義ニ依ッテ、ソレドヘノ手續ヲシテ居ルノデゴザイマス、此點ニ關シマシテ大藏大臣ノ御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス

○賀屋國務大臣 物價政策、通貨政策、「インフレ」防止ト云フコトニ此增稅が相當役接稅主義を行カナクテハナラヌト思フ、又立チマスコトハ勿論デアリマス、唯增稅ノ大藏大臣ノ仰シヤツテ居ルヤウニ、負擔ノ均衡ト云フコトニ目標ヲ置クナラバ、私ハ先ハツキリサシテ置ク必要ガアルノデヤナリカト思フノデアリマス、例ヘバ大藏大臣ガ是マデ仰シヤイマシタ目標ノ一つシテ、或ハ銃後ノ御奉公ト云フヤウナコトヲ言ッテ居ラレル、是ハ結城大藏大臣モ、準戰時ニナツテ色々國家ニ物入りガアルカラ、勤勞大衆、無產大衆ニ於テモ其一半ヲバ負擔シテ貴ヒタイト云フコトヲ絶エズ繰返シテ居ラレタノゴザイマスルガ、若シ斯ウ云フ銃後ノ御奉公ト云フヤウナ點ヲ目標ニスルナラバ、私ハ寧ロ消費稅ナンカラ選バズニ、直接受稅主義を行クベキデハナイカト思フ、例へバ酒ガ高クナル、煙草ガ高クナル、一般ソレデハ此度ノ增稅ニ於キマシテ、如何ナル點ヲバ目標ニ置クベキカト申シマスレバ、戰時財政ノ健全性ヲ保持シテ、通貨ノ急激ナル膨脹ニ依ル「インフレ」ノ悪化ヲ阻止スル、此點ニ此度ノ增稅ノ目標ヲ置クベキデアラウト思フノデアリマス、勿論私ハ云フヤウナハツキリシタ認識ハ起ラヌ、ヤハリ直接稅主義ニ依ッテ、ソレドヘノ手續ヲシテ居ルノデゴザイマス、此點ニ關シマシテ大藏大臣ノ御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス

○賀屋國務大臣 左様デゴザイマス、唯目標ナシニスル譯ニハ參リマセヌガ、事變其モノト同時ニ事變費ノ調達ト云フコトガ必要デアル、其事變費ノ調達ヲ出來ルダケ租稅デヤリマスコトハ、今ノ御話ノ物價政策、通貨政策、「インフレ」防止、財政ノ健全性維持、出來ルダケサウ云フヤウナコトノ爲ニ租稅ノ增徵ノ方法デヤル、而シテソレハ前ニ申上ゲマシタ通り、限度ハ其時ノ國民經濟ノ發達、國民生活ノ壓迫ト云フコトヲ考ヘマシテ、ソレニ依ッテ適當ナル構成ヲ

シティアルベキダ、斯ウ云フコトニアルノデ  
アリマス、サウ云フコトニ依ツテ増稅ガ行ハ  
レ、又追掛ケテ増稅ヲヤルト云フ、其苦痛  
ヲ忍ンデヤツテ行クコトが銃後ノ御奉公デア  
ル、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○水谷委員 ソレハ大藏大臣ノ御答辯トス  
レバ尤モナ點デアラウト思フ、「インフレ」  
阻止ニ此度ノ増稅ハ重點ヲ置クベキデアル  
ト云フコトニナリマスレバ、大藏大臣ソレ  
自ラガ「インフレ」ガ一步々々來テ居ルヤウ  
ナ印象ヲ國民ニ與ヘル虞ガアルガ故ニ、大  
藏大臣トシテサウ云フヤウナ御答辯ヲサレ  
ルノハ私ハ尤モダラウト思フノデアリマス、  
併ナガラ私等ハ支那ヲ相手ニ、更ニ又其奥  
ノ向フヲ相手ニ所謂長期戦ニ乘出シタ以上  
ニ於キマシテハ、吾々國民生活、國民經濟  
ノ上カラ一番恐ルベキハ何デアルカト申シ  
マスレバ、歐洲戰亂當時ノ各國ノ例ヲ引ク  
迄モナク、惡性「インフレ」ト云フ點ガ一番  
恐ルベキ點デアラウト思フノデアリマス、  
大藏大臣ハ是マデ此惡性「インフレ」阻止ノ  
爲ニハ、國際的ニハ一志二片ノ堅持、國內  
的ニハ物ト金トノ「バランス」ヲ執ツテヤツテ  
行カウト云フ、健氣ナル御決心ヲ示シテ居  
ラレルノデアリマスガ、私自身ノ立場カラ  
申シマスレバ、斯ウ云フ一番恐ロシイ「イ

ノフレ」ノ悪化ヲバ阻止スルガ爲ニハ、大臣ノ言葉ヲ借リレバ、アノ手此手ヲ打タナケレバナラヌト思フ、此度ノ増稅モ其點ニ重點ヲ置クベキガ當然デアラウト思フ、併ナガラ大藏大臣ト致シマシテ、此三億ノ僅カノ増稅ニ對シマシテ、惡性「インフレ」阻止ニ重點ヲ置クト云フコトハ、曩ニ私ガ申上ゲマシタヤウナ經緯カラ、此點ヲハッキリ此處デ御答ニナルコトハ御無理デアラウト思ヒマスカラ、是レ以上ハ追究致シマセヌ

デアリマスガ、大藏大臣ガ此度ノ提案ニ對シマシテ、日支事變終了後一年ト云フ風ニ仰シヤッタノハ、稅額ガ減ルト云フ意味合デナシニ、ソレガ編成替ガ行ハレルト云フ意味ニ解譯スルノガ正シイト思フノデアリマスガ、其點ニ關シマシテ大藏大臣ノ御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 將來ノコトヲハッキリ申上  
ゲマスルコトハ慎シマナケレバナラヌト思ヒマスルガ、只今仰セノアリマシタ如ク、此事變ガ濟ミマシテモ、經濟的ニ國家ノ歳出ハ相當膨脹シテ參リマスノデ、只今ノ增收入位ノモノハ、事變後モ經濟的ニ入ラナケレバナラヌデアラウト云フ觀測ハ、私ハ只今トシテ有力ナル觀測デアラウト思ヒマス、隨ヒマシテ平タク申セバ、此稅ハ續クノデアル、但シ稅制ハ成ベク早イ機會ニ根本的ノ整理ヲ致サナケレバナリマセヌカラ、稅ノ種目デアルトカ稅率デアルトカ、只今御話ノ所謂稅ノ編成替ト申シマスルカ、サウ云フコトハ成ベク早イ機會ニ致サナケレバナラヌ必要ガアリマスルカラ、此稅制其モノヲ永久ニ續ケルト云フ制度ニ致スコトハ不適當デアリマスノデ、今ノヤウナ期限ヲ付シテアル次第デアリマス

○水谷委員　此度ノ増稅ノ目標ニ關シマシテハ、ソレデ大體大藏當局ノ御意思ガ分ッタガ、是ハ此議會ニ於キマシテモ、或ル議員ノ如キハモット增稅シナクテハナラナイト云フコトヲ申シマスシ、又或ル議員ノ如キハ、現在ノ如キ場合ニ於テハ增稅シテハイケナイト云フヤウナ色々ノ意見モアルノデゴザイマスガ、若シ——重點デハゴザイマセヌガ列舉的竝ベラレタ其目標ノ中ノ「インフレ」悪化ノ防止ト云フ一點ヲ取ッテ考ヘマスレバ、私ハナカラウカト思フノデゴザイマス、一例ヲ取ツテ申シマスレバ、大藏省ノ稅制ノ委員モシテ居ラレルコトデゴザイマスガ、京都大學ノ汐見サンノ日本財政政策、是ハ最近ノ委員會デモ汐見サンハ統計ヲ竝ベラレテ、モット增稅スベキダト言ツテ物議ヲ醸サレタト云フコトヲ聞イテ居ルノデゴザイマスガ、之ニ依リマスト、國民所得ニ對スル租稅負擔ハ、勿論地方稅ヲ加ヘテゴザイマスガ、昭和五年デハ、獨逸ハ二七・四%、佛蘭西ハ二二・七%、英吉利ハ二三・五%、サウシテ我ガ日本ハ一五・四%ト云フコトニナッテ居リマス、

後へ國民所得竝ニ租稅負擔ノ方モ一様ニ増加シテ居リマスガ故ニ、大體此程度ノ比率ガ保タレテ居ルト思フノデアリマス、斯ウ云モノガ、所謂惡性「インフレ」防止致シマシテハ不徹底デアリマス、膏藥貼リデハナカラウカト思フノデアリマス、此程度ノ所謂增稅ナラバ、却テ物價ヲ抑ヘルト云フヨリモ、私ハ物價ヲ上ゲルヤウナ作用ヲ起スノデハイカト思フノデアリマスガ、此點ニ關シマシテ大藏大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

カラ申セバ一ツノ大切ナル要素デアリマス、云フコトニ考ヘレバ、非常ニ物足ラナイモノデアラウト存ジマスガ、私ハサウ云フ考ヘ方デナク、色々ノモノヲ併用シテ行キタイ、斯ウ考ヘマスノデ、其ノ一ツノ相當力アル手段トシテハ之ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス〇水谷委員 只今大藏大臣ノ御答辯ガゴザイマシタガ、前ニ此委員會デ某氏ノ御質問デ、此度ノ増稅ト云フモノハ、此度ノ事變公債ノ所謂公債利子ヲ目安ニシテ居ルノカドウカト云フ質問ニ對シマシテ、大藏大臣ハ、國民生活ヲ阻碍セズ、又我國ノ經濟力ノ發展ヲモ阻碍シナカッタラモット積極的ニ增稅ラシタイノダト云フ御答辯ガアツタノデゴザイマスガ、サウ云フ點カラ見マスレバ、大藏大臣ハヤハリ心ノ中デハ、此度ノ増稅ト云フモノハ單ニ「インフレ」阻止ノ一點ノミナラズ、其他ノ點カラ見テモ、ヤハリ消極的ナモノト御考ニナッテ居ルノデハナカラウカ、此點ヲ一ツ御答願ヒタイト思ヒマス

アルトカ、其他ノ經常收入ガ賄ハレル程庶ニ行クト云フ御説ハ、財政的ニ言ヘバ非常ニ必要ガアル、又ソレニ依ツテ一方公債ノ信用デアルトカ、色々ノモノヲ保チマスルトニモ有力デアラウト思フノデアリマス、併ナガラ前申上ゲマシタヤウニ、只今トシテハ、ソレ以上増税ヲ致シ得ル状況ナラバソレ以上ニモ増税ヲ致シタイ、併シソレデハイカヌト言ヘバ、ソコヲ何ニ依ツテ制限スルカト云フト、只今ノ國民經濟ノ運行ヲ阻碍シナイト云フコトガ、一番只今トシテハ大事件デアリマスルカラ、產業ノ發展、國民生活ノ壓迫ト云フコトヲ考ヘマシテ、其方ノ觀點カラ、此邊ニ止マラザルヲ得ヌト云フ意味デ致スノデアリマス、私ハ何事モ一ツノ方策ハ、有機的ノ全體ノ政策運行ノソレハ、重要ナル表現デアルト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、其一つノ政策ヲ金科玉條ニ直グ徹底スルト云フ意味合ニハ考ヘマセヌデ、前カラ申上ゲマシタヤウニ、出來ルダケ増税ヲスル、併ナガラソレハ同時ニ經濟ノ發展、國民生活ノ壓迫ト云フ此目安デ適當ナル構成ヲ致シテ参りタイ、斯ウ云フ考ニ過ギナイノデアリマス

税ヲ行ハレルニ致シマシテモ、アノ手此手等ノ立場ト致シマスレバ、何等一定ノ目標ニ重點ヲ置カズ、並列的ニアノ手此手ヲ打ツト云フコトハソレドヽガ不徹底デアリ、其間又矛盾ヲ來ス、或ハ先ニ申シマシタヤウニ、銃後ノ對策、或ハ負擔ノ平衡、或ハ「インフレ」阻止、ソレ等ヲ竝ベテアノ手此手ト云フコトハ、言葉ノ上デハ宜イノデゴザイマスガ、實際政策トシテ現レタ場合ニ、ソコニオ互ニ相排撃シ、相矛盾スル結果ガ湧イテ來ルノデアリマシテ、斯ウ云フ點カラ私ハ此度ノ増稅ノ目標ト云フモノハ、如何ナル點ニ重點ヲ置クベキカト云フコトヲ繰返シシテ先ニ御尋シタノデゴザイマスガ、是レ以上ハ議論ニナリマスカラ、此點ニ關シマスル大藏大臣ノ答辯ヲバ強請シヨウトシナイノデアリマス

ソレデハ其次ニ、大藏大臣モ、重點ハ置カナイガ一ツノ大キナ作用トシテ自分ハ考ヘルト言ウテ居ルノデアリマスガ、若シ「インフレ」阻止ノ増稅ト致シマスレバ、シ於テハ、生産力ノ擴充ヲ阻碍セズシテ購買力ヲ抑制スル増稅ト云フモノハドウ

<p>云フモノデアルカト云フ問題ガ湧イテ來ルノデアリマスガ、此點ニ關シマシテ、大藏當局ト致シマシテハ、現在ノ戰時ノ時局ニ於キマシテ、一方ニ於テハ生産力ノ擴充ヲ阻碍セズシテ購買力ヲ抑制シ、サウシテ「インフレ」阻止ノ一ツノ効キヲ爲ス所ノ增稅トハドウ云フモノヲ御考ニナッテ居ルカ、此一點ヲ一ツ御伺シテ置キタイト思ヒマス。</p> <p>○賀屋國務大臣 一寸御質問カラ少シ横ノ方ニナルト思ヒマスガ、大體所得稅其他ノモノヲ餘リニ増徵致シマシテ、勵クコトニ樂ミガナイト云フ工合ニナリマスト、生產力ノ發達ノ上ニ害ガアルト思フ、隨テ其程度ニ關シマシテ、ドウシテモ餘裕ヲ残サナケレバナラスト云フヤウナ點ヲ、主トシテ生產力ノ問題ニハ考ヘテ居リマス、是ハ主トシテ所得稅中心ノモノデアリマス、其他ノ稅ハ擴稅力ヲ計リマシテ間接的ニ徵稅スル、ソコデ結局其兩方相俟チマシテ、負擔者ノ方ニ於テハ、唯景氣ガ好イ、收入ガ增加シタカラ物ヲドン～消費スルト云フコトニ對シテ、心理的ニモ非常ニ警戒ガアルト思フ、是ダケノ事變費ガ出マシテ增稅ガ少シモナイト云フ場合ト、增稅ガアリマスル場合トニ付キマシテハ、心ノ持チ方ニ非常ナ相違ガソコニ出ルト思フノデアリマス、又</p>
<p>○水谷委員 只今大藏大臣ノ御答辯ニ依リ、此度ノ增稅ノ消費稅或ハ物品稅、俗ニ言フ或ル程度ノ大衆課稅ト云フモノガ、消費ヲ抑制スル所ノ增稅デアルト云フ御答辯ヲ得タノデゴザイマスガ、私ノ考ヲ率直ニ申シマスレバ、斯ウ云フ事變下ニ於キマシテハ、物價騰貴其他ノ原因ニ依リマシテ、購買力ノ範圍ヲ非常ニ狹メラレテ居ル、言葉ヲ換へテ申シマスレバ、節約ノ餘地ガ殆ド無イ所マデニ追詰メラレテ居ル所ノ大衆生活ノ犠牲ノ上ニ立ツタ所謂大衆課稅ヲ選ブヨリモ、寧ロ逆ニ富裕階級ノ、生產力ノ擴充ヲ阻礙シナイ所ノ享樂財產ヲ目標ト致シマシテハ、ヤハリ個人財產稅ノ問題デアラウト思ガ、ヤハリ個人財產稅ノ問題デアラウト思ガ、此度ノ斯ウ云フヤウナ戦爭ノ戰費モ或ハ他ノ委員ノ言ハレタ點デアリマセウガ、ヤハリ個人財產稅ノ問題デアラウト思ガ、此度ノ斯ウ云フヤウナ戦争ノ戰費モ富ヲ削ラナクテハナラヌノハ當然デゴザリマスガ、高橋龜吉氏ナンカモ其書物デソレ等ノ點ハ能ク主張シテ居ルノデゴザイマス、或ル程度ノ國富ト云フモノヲ食ハナケレバナラヌ、唯儲ケタモノノ裕リダケラ納メテ、斯ウ云フ大キナ戦争ガ出來ルトハ思ツテ、吾々ハ考ヘルカト申シマスレバ、</p>
<p>○賀屋國務大臣 只今大藏大臣ノ御答辯ニ依リ、此度ノ增稅ノ消費稅或ハ物品稅、俗ニ言フ或ル程度ノ大衆課稅ト云フモノガ、消費ヲ抑制スル所ノ增稅デアルト云フ御答辯ヲ得タノデゴザイマスガ、私ノ考ヲ率直ニ申シマスレバ、斯ウ云フ事變下ニ於キマシテハ、物價騰貴其他ノ原因ニ依リマシテ、購買力ノ範圍ヲ非常ニ狹メラレテ居ル、言葉ヲ換へテ申シマスレバ、節約ノ餘地ガ殆ド無イ所マデニ追詰メラレテ居ル所ノ大衆生活ノ犠牲ノ上ニ立ツタ所謂大衆課稅ヲ選ブヨリモ、寧ロ逆ニ富裕階級ノ、生產力ノ擴充ヲ阻礙シナイ所ノ享樂財產ヲ目標ト致シマシテハ、ヤハリ個人財產稅ノ問題デアラウト思ガ、ヤハリ個人財產稅ノ問題デアラウト思ガ、此度ノ斯ウ云フヤウナ戦争ノ戰費モ或ハ他ノ委員ノ言ハレタ點デアリマセウガ、ヤハリ個人財產稅ノ問題デアラウト思ガ、此度ノ斯ウ云フヤウナ戦争ノ戰費モ富ヲ削ラナクテハナラヌノハ當然デゴザリマスガ、高橋龜吉氏ナンカモ其書物デソレ等ノ點ハ能ク主張シテ居ルノデゴザイマス、或ル程度ノ國富ト云フモノヲ食ハナケレバナラヌ、唯儲ケタモノノ裕リダケラ納メテ、斯ウ云フ大キナ戦争ガ出來ルトハ思ツテ、吾々ハ考ヘルカト申シマスレバ、</p>
<p>○賀屋國務大臣 相續稅ニ付キマシテハ、外國等ニ比シマスレバ、マダ稅率ハ輕イト云フ御話デ、其通リデアリマスルガ、併シ相</p>



シテ土地増價税ヲ許サレル御意思ガアルカ  
ナイカト云フコトヲ私ハ御聽キシタイト思  
フノデゴザイマス、是ハ御存ジノヤウニ大  
正十二年ニ内務省ハ勅令ノ原案ヲ作成シタ  
ノデゴザイマスガ、關東ノ震災ノ爲ニ實施  
サレナカッタノデアリマスガ、關東州デハ既  
ニ大正九年カラ實施サレテ居ルト云フコト  
ヲ聞イテ居リマス、此土地増價税ノ根據ト  
シテ、私ハ一例ヲ東京ノ丸ノ内ニ取ルノデ  
ゴザイマスガ、明治二十三年ニ岩崎久彌氏  
ガ陸軍省カラ今日ノ東京驛前ノ丸ノ内一帯  
ヲ拂下ヲ受ケラレタノデアリマスガ、其當  
時ノ地價ハドレ位デアッタカト申シマスレ  
バ、坪約七圓ニシカ過ギナカッタノデアリ  
マス、ソレガ今日昭和十年東京市ノ統計ニ  
載シテ居ル所ノ賣買評定價格ニ依リマスト、  
丸ノ内一丁目ハ驚ク勿レ千九百圓、丸ノ内  
二丁目ハ二千圓、丸ノ内三丁目ハ千圓ト云  
段ガ増シテ居ルノデゴザイマス、是コソハ社  
會ノ御蔭デ、自分デハ何等ノ勞力モ拂ハズ  
ニ、國ノ爲メ社會ノ爲ニ値ガ上ッタモノデゴ  
ザイマシテ、不當所得ト申シマスカ、サウ云  
フ言葉ガ許サレルナラバ、私ハ是等ガ最モ  
典型的ナ實例デハナカラウカト思フノデゴ

ザイマス、私ハ京都ノ市會議員ノ末席ヲモ汚  
シテ居ルノデゴザイマスガ、六大都市ナンカ  
ノ財源ト云フヤウナ時ニモ、何時モ是ガ起ツ  
テ來ルノデゴザイマシテ、今日非常ニ窮迫シタ  
シテ、私ハ一例ヲ東京ノ丸ノ内ニ取ルノデ  
ゴザイマセヌ、京都市デモ非常ニ市域ガ廣  
クナッタノデ、其關係上是マデ一町何ボデ賣  
ラレタ田畠ガ一坪何ボニナッテ、一朝ニシテ  
地主ガ忽チ成金ニナッテ居ル、之ニ對シテ空  
シク見送リヲシテ居ルヤウナ狀態ニナッテ  
居ルノデアリマスガ、私ハ此土地増價税ト  
云フヤウナモノハ、以上述ベマシタヤウナ  
經歴カラ申シマシテモ、此際當局ガ考慮サ  
レル第一ノ稅デハナカラウカト思フノデア  
リマス、或ハ是ハ地方稅デナクテ、中央ニ  
取ラレテモ、ドチラデモ宜イノデスガ、斯  
ウ云フ土地増價税ト云フモノニ對スル大藏  
當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス  
○賀屋國務大臣 御質問ノ前半ノ國家總動  
員法ヲ出スヤウナ場合デアルカラト云フ御  
說デアリマス、御尤トハ存ジマスルガ、先  
づ私ノ頭ニアルコトヲ率直ニ申上ゲマスレ  
バ、國家總動員法ガ高度ニ發動サレルヤウ  
ガアル、從ツテ課稅スルニシテモ、是ガ現實  
モ、實際ニ於テハ必ズシモ收入ガナイ場合  
格デ賣リマシテモ、現實ニ其土地ヲ賣ッテ  
收入ガナイ場合ガアル、實際ノ評價ガアッテ  
アリマス、ソレカラ或ルモノハサウ云フ價  
額デ賣リマシテモ、現實ニ其土地ヲ賣ッテ  
者、東京ノ真中ニ於テ、宅地デアルノニ田畠  
ルノガ適當カト思ヒマスガ、地目變換未届  
スレバ、利廻ヘドノ位カト云フト、普通ノ  
投資ノ場合ヨリ非常ニ安イ場合モ多イノデ  
アリマス、ソレカラ或ルモノハサウ云フ價  
額デ賣リマシテモ、現實ニ其土地ヲ賣ッテ  
者、東京ノ真中ニ於テ、宅地デアルノニ田畠  
スウ云フモノニ對シテハ、是マデハ太政官  
布告デ殆ド制裁ガアルカナイカト云フ狀態  
デアリマシテ、是等モ土地增價税ト關聯シ  
テ地目變換ノ未届者、實際ハ宅地デアリ、  
堂々タル邸宅ヲ東京ノ真中ニ構ヘテ居リナ  
ガラ、稅金ノ方デハ田畠ニナッテ居ルト云フ  
モ、課稅技術ハ餘程研究致シマセヌト、適

マス、モットアレガ高度ニ實施ヲ必要トスル  
ヤウナ場合ニハ、御話ノヤウナコトヲ尙ホ  
シテ居ルノモ切實ニナルノデハナイカト云  
考ヘルコトモ切實ニナルノデハナイカト云  
テ來ルノデゴザイマシテ、今日非常ニ窮迫シタ  
フ風ナ考へ方ヲ致シテ居リマス  
六大城市ノ財源ヲ救フニモ是ヨリ他ニ途ハ  
ゴザイマセヌ、京都市デモ非常ニ市域ガ廣  
クナッタノデ、其關係上是マデ一町何ボデ賣  
ラレタ田畠ガ一坪何ボニナッテ、一朝ニシテ  
地主ガ忽チ成金ニナッテ居ル、之ニ對シテ空  
シク見送リヲシテ居ルヤウナ狀態ニナッテ  
居ルノデアリマスガ、私ハ此土地増價税ト  
云フヤウナモノハ、以上述ベマシタヤウナ  
經歴カラ申シマシテモ、此際當局ガ考慮サ  
レル第一ノ稅デハナカラウカト思フノデア  
リマス、或ハ是ハ地方稅デナクテ、中央ニ  
取ラレテモ、ドチラデモ宜イノデスガ、斯  
ウ云フ土地增價税ト云フモノニ對スル大藏  
當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス  
○賀屋國務大臣 御質問ノ前半ノ國家總動  
員法ヲ出スヤウナ場合デアルカラト云フ御  
說デアリマス、御尤トハ存ジマスルガ、先  
づ私ノ頭ニアルコトヲ率直ニ申上ゲマスレ  
バ、國家總動員法ガ高度ニ發動サレルヤウ  
ガアル、從ツテ課稅スルニシテモ、是ガ現實  
モ、實際ニ於テハ必ズシモ收入ガナイ場合  
格デ賣リマシテモ、現實ニ其土地ヲ賣ッテ  
收入ガナイ場合ガアル、實際ノ評價ガアッテ  
アリマス、ソレカラ或ルモノハサウ云フ價  
額デ賣リマシテモ、現實ニ其土地ヲ賣ッテ  
者、東京ノ真中ニ於テ、宅地デアルノニ田畠  
ルノガ適當カト思ヒマスガ、地目變換未届  
スレバ、利廻ヘドノ位カト云フト、普通ノ  
投資ノ場合ヨリ非常ニ安イ場合モ多イノデ  
アリマス、ソレカラ或ルモノハサウ云フ價  
額デ賣リマシテモ、現實ニ其土地ヲ賣ッテ  
者、東京ノ真中ニ於テ、宅地デアルノニ田畠  
スウ云フモノニ對シテハ、是マデハ太政官  
布告デ殆ド制裁ガアルカナイカト云フ狀態  
デアリマシテ、是等モ土地增價税ト關聯シ  
テ地目變換ノ未届者、實際ハ宅地デアリ、  
堂々タル邸宅ヲ東京ノ真中ニ構ヘテ居リナ  
ガラ、稅金ノ方デハ田畠ニナッテ居ルト云フ  
モ、課稅技術ハ餘程研究致シマセヌト、適

トナリマシタ場合ニ、尙ホソレ等ノコトモ  
能ク研究シタイト思ヒマス  
○水谷委員 大臣ニ言葉ヲ返スノハ甚ダ失  
禮デスガ、私ガ國家總動員法ヲ例ニ取ッタノ  
ハ、今ソレガ實施サレルヤウナ、サウ云フ  
時期デアルカラ、是モ考ヘナケレバナラヌ  
ト言ッタノデハナイノデアリマス、國家總動  
員法ガ或ル時機ヲ豫想シテ、準備的ニ制定  
サレルヤウナ時期デアリ、時局ガ逼迫シタ  
シテ、例ヘバ非常ニ安ク買ッテ、唯金利ヲ損ラシテ居ルト云  
ルト云フガ、土地ヲ買ッテモ實際ハ何年モ野  
原ニナッテ居ッテ、唯金利ヲ損ラシテ居ルト云  
レル第一ノ稅デハナカラウカト思フノデア  
リマス、或ハ是ハ地方稅デナクテ、中央ニ  
取ラレテモ、ドチラデモ宜イノデスガ、斯  
ウ云フ土地增價税ト云フモノニ對スル大藏  
當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス  
○賀屋國務大臣 御質問ノ前半ノ國家總動  
員法ヲ出スヤウナ場合デアルカラト云フ御  
說デアリマス、御尤トハ存ジマスルガ、先  
づ私ノ頭ニアルコトヲ率直ニ申上ゲマスレ  
バ、國家總動員法ガ高度ニ發動サレルヤウ  
ガアル、從ツテ課稅スルニシテモ、是ガ現實  
モ、實際ニ於テハ必ズシモ收入ガナイ場合  
格デ賣リマシテモ、現實ニ其土地ヲ賣ッテ  
收入ガナイ場合ガアル、實際ノ評價ガアッテ  
アリマス、ソレカラ或ルモノハサウ云フ價  
額デ賣リマシテモ、現實ニ其土地ヲ賣ッテ  
者、東京ノ真中ニ於テ、宅地デアルノニ田畠  
ルノガ適當カト思ヒマスガ、地目變換未届  
スレバ、利廻ヘドノ位カト云フト、普通ノ  
投資ノ場合ヨリ非常ニ安イ場合モ多イノデ  
アリマス、ソレカラ或ルモノハサウ云フ價  
額デ賣リマシテモ、現實ニ其土地ヲ賣ッテ  
者、東京ノ真中ニ於テ、宅地デアルノニ田畠  
スウ云フモノニ對シテハ、是マデハ太政官  
布告デ殆ド制裁ガアルカナイカト云フ狀態  
デアリマシテ、是等モ土地增價税ト關聯シ  
テ地目變換ノ未届者、實際ハ宅地デアリ、  
堂々タル邸宅ヲ東京ノ真中ニ構ヘテ居リナ  
ガラ、稅金ノ方デハ田畠ニナッテ居ルト云フ  
モ、課稅技術ハ餘程研究致シマセヌト、適

ヲ御考ヘニナッテ居リマセヌカ

○大矢政府委員

實際ハ宅地ニナッテ居ル

ニ拘ラズ、地目ガ舊ノ山林或ハ原野ノ儘デ

居ルノガ相當アルノデハナカラウカ、之ニ

對シテ制裁ヲ加ヘル必要ガアルノデハナイ

カト云フ御話デゴザイマスガ、近時稅務當

局ニ於キマシテモ、出來ルダケ調査ヲ周到

ニ致シマシテ、無届デ變換シテ居ルモノハ

出來ルダケ本人ノ申告ヲ徵シテ、變換ノ手

續ヲ取ラセルヤウニ致シマシテ、尙ホソレ

デモドウシテモ手續ヲ申請シテ來ナイ者ニ

對シテハ、稅務當局カラ進ンデ變換ヲ致ス

ト云フコトニ致シテ居リマス、ソレカラ

東京市内ニ澤山山林原野ガアルデハナイカ

ト云フコトデゴザイマスガ、東京ノ舊市内ニ

ハ殆ドアリマセヌ、私ノ記憶シテ居ル所デ

ハ、僅ニ品川御臺場ノ雜種地二筆ガアルダ

ケデハナイカト思ヒマス、新市域ノ方ハマ

ダ實際上畑、田ト云フモノガ相當ゴザイマシ

テ、新市ノ區域ニハ宅地以外ノモノガ勿論

相當アリマスケレドモ、ソレハ現況ガ畑或

ハ田トナッテ居ル狀況デアリマスカラ、是ハ

當然デアリマス、其他ノ地方ニ於テモ大體  
最近デハ御話ノヤウナコトハナカラウト存  
ジテ居リマス、尙ホ申告スベキ義務ヲ有ス  
ル者ガ申告ヲシナイデ居タ場合ニハドウ云

フコトニナルカト云フト、地租法ノ第八十

二條ニ於キマシテ、五十圓以下ノ過料ニ處

スルト云フ規定ガゴザイマス

○水谷委員

次ハ大藏大臣ニ對シテ御伺致

シマスガ、是ハ大藏大臣並ニ陸軍當局カラ

御答辯ヲ願ヒタイ問題デゴザイマス、昨日

モ某委員ト太田政務次官トノ間ニ、ヤハリ

此度ノ事變下ニ於ケル國民ノ銃後ノ護ノ意

識ヲ昂揚スル稅ト致シマシテ、兵役免除稅

ト云フヤウナモノガ問題ニナッタノデゴザ

イマスガ、之ニ關シマシテ太田政務次官ノ

御答辯ハ、兵役ヲ免レタ者ヲ對象トシテ斯

ウ云フ稅ヲ課スルコトハ非常ニ日本ノ現在

ノ國情、愛國心、ソレ等ノ點カラ言ッテ間違

デアルト云フヤウナ御答辯ヲ一應興ヘラレ

タノデゴザイマスガ、私ハ兵役免除稅兵役

ヲ免レタカラ稅金ヲ納メルト云フコトデナ

シニ、人頭的、一般ニ國防稅ト云フ輕度ノ稅

金ヲ課ケテ、兵役ニ行ッタ者ハソレヲ免除サ

レルト云フヤウナ考ヘ方ニ致シマスレバ、

此度ノ事變下ニ於ケル所ノ、大藏大臣ガ口

癖ノ如ク仰シヤッテ居リマス銃後ノ護、所謂

戰場ニ於ケル戰士ノ魂ト、銃後ニ於ケル國

民大衆ノ魂トヲ結付ケル一番良イ稅金デハ

ナカラウカト考ヘマス、之ラ兵役ニ行クノ

ヲ免レタ其免除稅デアルト云フコトニナレ

○賀屋國務大臣

私ニハ斯ウ云フ考ヘ方モ

アリマス、兵役ニ行ケナイ壯丁ガ、自分ハ

兵役ニ服シナイノデアルカラ、兵役ニ服シ

ナイ代リニト云フ譯デハ無論ナイガ、セメテ

金錢デモ御奉公シタイト云フ意味デ、兵

役ニ行カナイ壯丁カラ稅ヲ納メルト云フコ

トハ、サウ云フ考ヘ方ナラバ私ハ差支ナイ

ト思フノデアリマス、併ナガラ稅ノ制度ト

シテ斯クノモノニ付テハ稅ヲ課スル、

或ハ課スルケレドモ兵役ニ就イタ人ニハ

免除スルトカト云フ稅制ヲ定メマシタ時

ニ、其心持ガ、萬一今私ガ申上ゲマスヤウ

ナ心持デナク、幾ラカデモ自分ハ金ヲ納メテ

居ルカラ兵役ヲ免レテモ差支ナイノダト云

フ風ニ考ヘル人ガ——サウ云フ人ハナイデ

アラウト思ヒマスガ、若シ幾ラカデモサウ

云フ懸念ガアリマスルナラバ、日本ノ崇高ナ

ル、神聖ナル兵役ノ義務ト云フモノニ對シ

テ、餘程問題デアラウカト考ヘマス、其邊

ニ付キマシテ、私ガ今後ニ申上ゲタヤウナ

コトガアルト申スノデモアリマセヌガ、是

ハ極メテ重大ナル問題デアリマスカラ、餘

程考慮シナケレバナラヌト、斯ウ云フ風ニ

考ヘテ居リマス

○水谷委員

ソレハ私ガ前ニ豫防線トシテ

申シマシタヤウニ、兵役免除稅ト云フヤウ

ナ時ニハ、大藏大臣ノ言フヤウナ御懸念ガ

アラウト思フガ、後ニ申シマシタ點カラ申

シマスレバ、サウ云フヤウナ御懸念ハ杞憂  
デハナカラウカト思フ、萬一サウ云フヤウ  
ナ懸念ガアルト致シマスレバ、ソレコソ大  
藏大臣ノ口癖ノヤウニ言ハレルアノ手、此  
手ヲ打チマシテ、一方ニ於テハ斯様ナ經濟  
的總動員ヲ行フト共ニ、他方ニ於テハ精神  
的總動員ヲ行ウテ、其精神ヲ引締メレバサ  
ウ云フ點ノ懸念ハナカラウカト私ハ思フノ  
デアリマスガ、是レ以上ハ議論ニナリマス  
カラ申上ゲマセヌ、唯私ハサウ云フコトヲ  
考ヘテ居ルト云フ點ダケヲ一言申上ゲテ置  
キマス

ソレカラ先程大臣カラ、稅制ノ改革ハヤ  
ルノダト云フ御言明ヲ得タノデアリマスガ、  
ソレデハソレヲ來年カラオヤリニナリマス  
ルカドウカ、此點ヲ一ツ御言明ヲ得タイト  
思フノデアリマス

○賀屋國務大臣　此事變ノ前途ハ豫測出來  
ナイ譯デアリマス、來年ハ落著イテ、相當  
ノ年數ノ見透シヲ付ケタ稅制ヲ樹テル迄ニ  
經濟界ガ落著クカドウカハッキリ分リマセ  
ヌカラ、來年ハ必ズヤルト云フコトハ申上  
ゲ兼ネル次第デアリマス

○水谷委員　私ノ考ヲ忌憚ナク言ハシテ戴  
ケベ、既ニ是ハ實ヲ結バナカッタノデアリマ  
スガ、馬場サンノ時ニ中央地方ヲ通ジタ稅

制ナルモノガ樹テラレマシテ、税制ノ根本的考ヘ方、或ハ根本理論ト云フモノハ、或ル程度明確ニサレタト思フノデゴザイマス、シモ完全デアルトハ申シマセヌガ、少クトモ或ル目標ヲ與ヘラレタコトハ事實ニアラウト思ヒマス、更ニ又事變ニ對シテ現在ドウ云フヤウナ税金ガ必要デアルカ、微レルカト云フコトハ、曩ノ北支事變ノ時ノ特別税ナドデモ、大體當局ハ頭ヲ搾ラレマシテ、ア、云フヤウナ税ノ種類ヲ御編ミニナッタノデアラウト思フノデアリマス、隨テ私ノ忌憚ナキ意見ヲ申上ゲマスレバ、此馬場サンノ税制整理、ソレカラ北支事變ノ時ノ税ノ考へ方ニ、現在ノ日支事變ノ見透シヲ或ル程度付ケレバ、税制整理ト云フモノハサウ難カシイモノデハナカラウカト思フ、是ハ私ノ素人考ヘデスカラ、玄人ノ方カラ申シマスレバ色々ノ障礙モアルカモ知レマセヌガ、唯私ノ此際心配スルノハ、日支事變ガズット進行致シマシテ、是ガ非常ニ擴大シテ、日本ノ税ノ負擔力ノ計算トカ云フヤウナ單ナル算數的ノ域ヲ越シマシテ、日本ノ現在ノ經濟組織其モノニ大變革デモ及ボスト云フヤウナ憂ガアリマスルナラバ、ソレハ私ハ此際税制整理ヲヤルト云フコトハ無理デア

ラウト思フノデゴザイマスルガ、幸ニ——  
是ハ樂觀的ナ考デアルカ知レマセヌガ、  
或ハ大藏大臣ハ昨日ノ豫算總會ニ於キマシ  
テモ、宮澤氏ノ質問ニ對シテ、此度四十八  
億五千万圓モ出シタガ、場合ニ依レバソレ  
ヲ全部使ハナクテモ濟ムカモ知レヌト云フ  
ヤウナ御答辯モアツカヤウニ、新聞ヲ通ジテ  
拜承致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマスガ、  
私ハ色々々ノ方面カラ申シマシテ、此日支事  
變ト云フモノガ、日本ノ現在ノ經濟組織ヲ  
根本的ニ變革スルト云フ所マデ發展スルト  
ハドウモ考ヘラレナイ、隨テサウ云フ點カ  
ヲ申シマスレバ、私ハ若シ當局ニ御決心方  
ゴザイマスナラバ、來年ハ或ル程度ノ稅制  
整理ガ出來ルノデハナイカト思フノデゴザ  
イマスルガ、是マデ此委員會或ハ又本會議、  
豫算總會ニ於テ繰返サレタ問題ニ拘ラズ、  
何故私ガ此際大臣ノ言明ヲ得タイト思フカ  
ト申シマスレバ、現在ノ斯ウ云フヤウナ事  
變ニ對シマシテハ、一寸シタ隙デモ、一寸  
シタ「デマ」デモ直グニ「インフレ」ノ原因ニナ  
ルノデヤナイカト思フ、例ヘバ財政ノ見透シ  
ヲ當局ガ立テラレズ、或ハ稅制ノ見透シヲ  
立テラレズ、何時又增稅ガアルカ知レナ  
イ、此次ハドンナニヤルカ分ラナイト云フ  
ヤウナ狀態ニ置カレルト、ソコニ或ハ株屋

トカ其他ノ關係カラ「デマ」ガ飛ブ、或ハ隙ガ出來ルト云フ時ニベハ、サウ云フコトカラ精神的ニ「インフレ」ヲ爆發サヌ一ツノ原因トナルト云フコトヲ、私ハ非常ニ惧レル者ニアリマス、ダカラ私ハ以上述ベマシタ點ヲ考慮致ノダ、サウシテ當局ノ財政ノ見透シハ是デアル、稅制ノ見透シハ是デアルト云フコトヲハッキリ立テラレルト云フコトガ、私ハ「インフレ」防止ノ一つノ大キナ効キニナルノデハナイカト思フノデゴザイマス、財政ノ見透シハ立テラレナイト云フコトハ、結城サンカラ此ノ方非常ニ流行語ニナッテ居ルノデアリマスガ、私ハサウ云フヤウナコトデハ間違テ居ルト思フ、私ハ少クトモ以上ノ點カラ申シマシテ、非常ニ先ノ先マデノ見透シト云フコトハ出來マセヌガ、少クトモ馬場サンガ稅制整理ヲ致サレタ時ニ、五箇年間ハ增稅ヲヤラナイト言ハレタ、勿論今カト申シマスレバ、斯ウ云フ事變ガ起ツタカラ增稅ハ免レナカツタノデゴザイマスルガ、少クト五年三年ト云フヤウナ見透シヲ立テラレマシテ、國民ニ安心ヲ與ヘ、サウシテサウ云フ「インフレ」ヲ發生サスヤウナ「デマ」ヲ封ジ、隙ヲ封ジテ、ハッキリシタ或ル程度ノ見透シヲ立テラレル爲ニモ、來年ナラ來

年ドウ云フヤウナ稅制整理ヲヤルト云フコトヲ、ハッキリシタ言明ト態度ヲ執ラレルノガ非常ニ大事ナ點ダラウト思フデゴザイマスルガ、之ニ對スル大藏大臣ノ御所見ヲ御伺シタイノデアリマス

○賀屋國務大臣 併シ實際ノ所ハ、例ヘバ財政ノ前途ニ致シマシテモ、事變ガ繼續ヲ致シマスレバ、其費用ノ經常的ノ增加等ニ果軍備等ニ致シマシテモ、色々ナ方面カラ計畫ノ變更モアルカモ知レヌト云フコトガ考ヘラレル譯デアリマス、只今ト致シマシテ、財政ノ前途ノ見透シガ斯ウデアルト言フコトハ、是ハ申シマシテモソレハ信ジナ人ノ方ガ多イノデヤナイカト思フノデアリマス、左様ナ狀態デアリマスルカラ、成ベク早イ機會ニ於テ致スノハ適當デアリマスルガ、之ヲ來年度致スト云フコトヲハッキリ申上ゲルコトハ、ヤハリ只今トシテハマダ早過ギルノデヤナイカト思ッテ居リマス

○水谷委員 是ハ只今サウ云フ見透シヲサレテ、ソレガ旨ク當ラナカッタカラドウトカ云フヤウナ問題デヤアリマセヌ、私ガ先ニ申シマシタヤウニ、是ハ民衆ノ間ニハ非常ニ不安ガアル、即チ財政ノ見透シガ立タナイ、或ハ稅制ノ見透シガ立タナイト云フコト

トガ不安ニナリマシテ、ソレ等ガ所謂「インフレ」爆發ノ「デマ」ノ材料トナリ、或ハ精神的ノ弛ミニナルト云フコトヲ私ハ非常ニシタル者デアリマス、繰返シ申スノデアリマスルガ、何ガ一番長期戰ニ於テ怖イカト云ヘバ、惡性「インフレ」程怖イモノハナイノデアリマシテ、斯ウ云フコトハ斷ジテ考ヘラレマセヌガ敵ノ飛行機ガ國土ノ上ニ飛ンデ來ル、サウ云フコトヨリモ「インフレ」爆發ト云フコトガ非常ニ恐ロシイ、ダカラ此「インフレ」防止ト云フコトヲアノ手此手

カラ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、私ハ今日ノ此情勢ニ於キマシテ考フベキ所ノ基礎ノ上ニ立タレテ見透シヲサレル、ソレガ根本的ニ日支事變ノ大爆發ニ依ツテ覆ツテモ、國民ハ何ントモ申シマセヌ、ソレハ現在ノ

#### ○賀屋國務大臣

是ハ水谷サンノ御意見トシテ能ク承ツテ置キマス、臨時ニ二百億三百億調達シマスコトト、經常的ニ見透スコトトハ餘程違フ譯デアリマスカラ、御意見トシテ承ツテ置キマス

○水谷委員 言葉ヲ返スヤウデアリマスガ、私ハ長イ見透シヲ立テテ吳レト言フノデヤハ日「ソノ關係」日英關係ト云フモノデ根本的ニ覆ツテモ、私ハ誰一人トシテ大藏大臣ヲ責メル者ハナカラウト思フ、ソレヨリ寧ロ現在ノ

最高限度ノ立場ニ於テ見透シヲ付ケラレテ、私ハ長イ見透シヲ立テテ吳レト言フノデヤリ申上ゲルコトハ、ヤハリ只今トシテハマダ早過ギルノデヤナイカト思ッテ居リマス

○水谷委員 是ハ只今サウ云フ見透シヲサレテ、ソレガ旨ク當ラナカッタカラドウトカ云フヤウナ問題デヤアリマセヌ、私ガ先ニ申シマシタヤウニ、是ハ民衆ノ間ニハ非常ニ不安ガアル、即チ財政ノ見透シガ立タナイ、或ハ稅制ノ見透シガ立タナイト云フコト

トガ不安ニナリマシテ、ソレ等ガ所謂「インフレ」爆發ノ「デマ」ノ材料トナリ、或ハ精神的ノ弛ミニナルト云フコトヲ私ハ非常ニシタル者デアリマス、繰返シ申スノデアリマスルガ、何ガ一番長期戰ニ於テ怖イカト云ヘバ、惡性「インフレ」程怖イモノハナイノデアリマシテ、斯ウ云フコトハ斷ジテ考ヘラレマスガ、或ル場合ニハ本會議ニ於テ、ソラレマスガ、

三百億ノ戰費ガ何ダト云フヤウナ大キナコトモ言ウテ居ラレルノデアリマスカラ、ソレ等ノコトヲ考ヘラレマスレバ、ヤハリ此際或ル程度ノ稅制整理ヲヤルノダ、ヤラナ

レ等ノコトヲ考ヘラレマスレバ、ヤハリ此際或ル程度ノ稅制整理ヲヤルノダ、ヤラナレ等ノコトヲ考ヘラレマスカラ、ソレハ安心ヲ御與ヘニナルコトガ非常ニ必要デハ

カト思フノデアリマス

○賀屋國務大臣 是ハ水谷サンノ御意見トシテ能ク承ツテ置キマス、臨時ニ二百億三百億調達シマスコトト、經常的ニ見透スコトトハ餘程違フ譯デアリマスカラ、御意見トシテ承ツテ置キマス

○水谷委員 言葉ヲ返スヤウデアリマスガ、私ハ長イ見透シヲ立テテ吳レト言フノデヤハ日「ソノ關係」日英關係ト云フモノデ根本的ニ覆ツテモ、私ハ誰一人トシテ大藏大臣ヲ責メル者ハナカラウト思フ、ソレヨリ寧ロ現在ノ

情勢ノ下ニ於テ、現在ノ日支事變ノ見透シノ下ニ於テ、ソレ等ノ見透シヲ付ケラレテ、以上ハ議論ニナリマスカラ、大藏大臣ニ是レ等ノ點ニ關シマシテ、是ハ繰返シ申サレ

業資本ト金融資本トノ不公平トカ、或ハソニ安ガアル、即チ財政ノ見透シガ立タナイ、或ハ稅制ノ見透シガ立タナイト云フコト

トガ不安ニナリマシテ、ソレ等ガ所謂「インフレ」爆發ノ「デマ」ノ材料トナリ、或ハ精神的ノ弛ミニナルト云フコトヲ私ハ非常ニシタル者デアリマス、繰返シ申スノデアリマスルガ、何ガ一番長期戰ニ於テ怖イカト云ヘバ、惡性「インフレ」程怖イモノハナイノデアリマシテ、斯ウ云フコトハ斷ジテ考ヘラレマスガ、或ル場合ニハ本會議ニ於テ、ソラレマスガ、

三百億ノ戰費ガ何ダト云フヤウナ大キナコトモ言ウテ居ラレルノデアリマスカラ、ソレ等ノコトヲ考ヘラレマスカラ、ソレハ安心ヲ御與ヘニナルコトガ非常ニ必要デハ

カト思フノデアリマス

現ニ十二年度ハ何等公債消化ノ不安ガナ  
カツタデヤナイカト云フヤウナ御言葉デアツ  
タノデゴザイマスルガ、是ハ私ハ大イニ考  
ヘナクテハナラナイト思フ、ソレハナゼカ  
ト申シマスレバ昭和十二年度ノ公債ノ消化  
ト云フモノハ、豫算ノ上デハ三十億ヲ超エ  
テ居リマスガ、實際發行サレタ額ハ十五億  
何ガシニナツテ居ルノデアリマス、此額ナラ  
バ馬場大藏大臣モ、十億ノ公債ナラバ消化  
心配ナイト云フコトヲハギキリサシテ居ル、  
更ニ結城大藏大臣ニ至ツテハ、十五億ノ公債  
ハ心配スル必要ナイト云フコトヲ言ツテ居ラ  
レタノデゴザイマシテ、少クトモ是マデノ  
歴代大臣ガ太鼓判ヲ押サレタ範圍内ニ於テ  
ノ公債發行デアツカラ、今日迄「スムース」  
ニヤツテ來タコトデアルト思フ、是ハマアオ  
互ヒ國家ノ爲ニモ、吾々ノ爲ニモ同慶至極  
デアルノデゴザイマスガ、儲テ問題ハ今後  
七十億ノ公債ヲバ、ドウシテ消化シテ行ク  
カト云フコトデアルト思フノデゴザイマス、  
之ニ對シテ大藏大臣ハ前ノ豫算總會デ言ハ  
レマシタ所謂一志二片ノ堅持、物ト金トノ  
「バランス」サウシテ最近ニ現レタ所デハ所  
謂六億圓ノ小口公債ヲ郵便局カラ賣出スト  
云フ點ダケヲ、吾々ノ前ニ示サレテ居ルノ  
デゴザイマスカ、果シテ是ダケデ七十億ノ

○賀屋國務大臣 卒直ニ申上ゲマスガ、心配ガナイト云フコトト、此出來ルカ出來又カト云フコトト大變違フト思フノデス、出來ル、出來ルガ心配ハアル、獨リデニハ出來ナイ、今ノ大藏省ニ委シテ置ケバ宜イカト云フト、決シテソンナモノヂヤナイ、國民全體ガ協力シテ一生懸命ニヤレバ出來ル範圍ノモノデアルト云フコトヲ私ハ申上ゲテ居ル、出來ナイト云フ方カラ謂へバ國民ノ貯蓄ガ思フヤウニ行キマセヌケレバヤハリ出來ナイ、政府ガ一生懸命ニナリ、國民ガ協力シテヤレバ出來ル範圍ノ事柄デアル、其意味デアリマシテ、到底是ハ出來ナイコトデアルト云フ意味ノ心配ハナイノデス、併ナガラ手ヲ束ネテ、決シテ樂々ト是ハ出來ルコトト思ヒマセヌ、ソレデ大體ニ於テ直接方策ト間接ノ基本的ナ方策トニ分レル次第デアリマスガ、只今御話ガアリマシタノ事ハ要スルニ間接的デアッテ基本的政策爲替相場ノ維持、物資ノ需給ノ調節、是等ナノデアリマス、國民全體ガ公債ニ應募スルト云フヤウナ經濟狀況ニ置クト云フコト

ガ、間接デハアリマスルガ、根本ノ行キ方  
ナノデアリマス、ソレニハドウシテモ經濟  
狀態ガ汪ツテハイケマセヌ、健全ニ進行シナ  
ケレバナラヌ、其意味ニ於テ今ノ爲替相場  
ノ維持、或ハ物資ノ需給ノ調節——極端ナ  
ル物價ノ暴騰ト云フコトハ、爲替相場ノ維  
持ガアレバナイト云フノデアリマス、併シ  
斯ウ云フコトデ經濟ノ破壊的方向ヲ防イデ  
置キマシテ、ソレカラ是ハ他ノ機會ニ申上  
ゲタト思ヒマスガ、私ハ金利ヲ動カサナイ  
ト云フコトガ、ツソノ要素デアルト考ヘテ  
居リマス、是ハ今ノ爲替ヤ物資カラ見ルト  
ソレ程基本的デハナイカモ知レマセヌガ、  
銀行ガ應募スルカトカ、郵便局カラ幾ラ賣  
出スカト云フヤウナ事カラ見タラ、ヤハ  
リ基本的ナ事デアリマス、直接ノ方ハ銀行、  
信託等ノ金融機關カラ應募セシムル、預金  
部、簡易保險其他ノ所謂政府資金ノ應募、  
郵便局賣出トカ割増券附貯債券ノ發行ト  
カ——是ハ直接公債ガ賣レル金ガ、國家ニ  
民間カラ還ツテ來ル道ノ話デアリマス、サウ  
云フコトカラ私ハ結局一年ニ少クトモ五  
億ト思ツテ居リマス、此五十億ノ中全部ガ賣  
レナクトモ宜イノデアリマス、或ル一部ハ  
通貨ガ膨脹シテモ宜イノデアリマスガ、四  
十何億ト云フモノハ晚カレ早カレ消化サレ

ナケレバナラヌ、サウ云フ消化サレルヤウ  
ツ環境ニ置カナケレバナラヌ、尙ホ前ニ一  
ドモ、爲替ノ維持、ソレカラ物資ノ需給調  
節、ソレヲ來タシマスル條件ト致シマシ  
テ、直接公債資金ガ出來ル爲ノ貯蓄心ノ獎  
勵、消費ノ節約、斯ウ云フコトガドウシテ  
モ入ラナケレバナリマセヌ、其上ニ今ノ金  
利ノ水準維持デアリマス、是ガ第二種所得稅  
等ニ對シテ考慮ヲ致シマシタ主ナル原因デ  
アリマス、増稅ニ關係ヲ持ツテ參リマス此金  
利水準ガ、實ハ少シ行キ過ギタカト思フ位ニ  
一年邊リ低金利ニナツタ、低金利ガ公債ノ  
消化ニ宜シイノハ申ス迄モナイコトデアリ  
マス、更ニ低金利ガ繼續シテ行ク望ヲ失ヒ  
マシタ時ニハ、却テ逆ノ作用ヲ爲ス、ダカ  
ラ低金利ノ行過ギハ宜クナイト思フ、ソレ  
ハ要スルニ逆轉ト云フコトガ障礙ニナル、  
ソレデ只今ノ情勢デハ更ニ一層低金利ヲシ  
テ逆轉ヲ致サヌト云フ狀態デ持ツテ行クノガ  
一番宜シイ、ソレニハ昭和七年ヨリ十年マ  
デ生産力ノ餘裕ガアリマシテ、資本ノ蓄積  
ガ出來マシタ時ニハ低金利ノ進行ガ潜在的  
勢力ガアッタノデアリマス、併シ今ハ生産力  
ヲ「フル」ニ動カシテモ追付カナイト云フ  
時代デアリマス、基本的ノ低金利ノ進行ハ、

經濟上ノ根本ノ基本條件ト云フモノト達ツテ來テ居ルカラ、此上無理ニ低金利ヲ致スト云フ必要ハナイ、ソレハ私ハ公債ノ利廻、高イ税率ノ利子、安イ税率ノ利子ニ付キマシテハ、金融情勢ニ應ジマシテ所謂「アジアストメント」ヲ試ミル場合モアラウカト思ヒマス、必ズ試ミルトヘ申シマセヌ、試ミナイトモ申シマセヌ、場合ニ依ヅテハ必要ガアルト思ヒマス、公債ヲ中心ニ是方一番今後ノ大キナ投資デアリマス、ソレデ只今之ニ増稅ヲ致シマシテモ、增稅ヲ致セバソレダケ條件ヲ甘クスル、高利ニナラナケレバ實際動カヌ狀況デアリマス、ソレデアリマスカラ是ハ増稅ヲ致シマセヌ、増稅ヲ致シマスト金利水準ガ動イテ、今ノ公債ニ付テ申上ゲタヤウナ見地カラ非常ニ障碍ヲ生ジマスノミナラズ、公債ニ課稅ヲ致セバ、同ジ程度ニハ社債ニモ課稅ヲ致サナケレバナラヌ、斯ウナルト折角社債ガ起キカケタモノガ非常ナ逆轉ヲ致ス、從來ノ社債ノ價格ガ大變動ヲ起シ、金融ノ調子ノ好イ進ミ方ニ大變動ヲ起シマス、生產力擴充ノ爲ニ株ノ拂込ニバカリ偏ツテ居リマシタモノガ、同ジャウナコトガ續キマシテ、今後圓滿ナル生產力ノ擴充ガ出來ナイ、是

ガ四分五厘、四分以下ノ公債、社債ニ付テ  
増稅致シマセヌ理由デアリマス、ソレ以上ノ  
モノハ現實ニ發行サレルモノデナイカラ例  
外ニ致シマセヌデ增稅ヲシタ譯デアリマス、  
公債消化ニ付キマシテノ增稅トノ關係ハ其  
點デアリマス

化サヌ場合ニ於キマシテハ、極ク小部分ノ  
金融資本ヲ相手ニシテ、金融資本家ト相談サ  
レテ、其土臺ノ上デ公債ヲ消化サレテモソ  
レハ差支ナイト思ヒマスシ、又現在マデ出  
來テ來タノデアルガ、今度ノヤウニ、是ハ  
今年限リデナイカモ知レマセヌ、此莫大ナ  
ル公債ヲバ消化サスガ爲ニハ、ドウシテモ  
私ハ國民ノ愛國心ニ懃ヘ、國民大衆ノ基礎  
ノ上ニ立ツタ所ノ公債消化政策ト云フモノ  
ヲ考ヘナケレバナラヌト思フ、相モ變ラズ  
少數ノ金融資本家ニ公債ノ消化ヲ委ネ、ソ  
レニ任シテ置ク爲ニ、稅制整理ヲ行フ場合  
ニ於キマシテモ、極メテ依怙偏頗ナ所謂稅  
制改革シカ出來ナイ、或ハ大衆課稅ヲ増シ、  
又所謂產業資本ヲ重課シ、或ハ其他ノ稅金  
ヲ増シテ居ルニ拘ラズ、獨リ金融資本家ニ、  
文字ノ上デハ增稅ニナッテ居リマスガ、實際  
ニ於テハ殆ド增稅ガ行ハレナイト云フコト  
ハ、此大事ナ公債消化ガ相モ變ラズ少數ノ  
金融資本家ノ方ニ委ネテ居ル點ガ此根本的  
ナ原因デハナカラウカト思フノデアリマス、  
隨テ私ノ考ヘカラ申シマスレバ是ハドウシ  
テモ將來ノ日本ノ公債消化ト云フモノハ、  
國民大衆ノ基礎ノ上ニ立ツタ公債消化政策  
ヲ執ラナケレバ、公債消化政策ダケガ行詰  
ルバカリデナク、其他有ユル點ニ不公平、

凸凹ガ私ハ起ツテ來ルト思フノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、此度所謂小口公債ヲバ、豫定ヲ擴大サレテ六億圓ニサレタ、是ハ本會議デハ或ル方面カラハ、大藏大臣ガ郵便局ノ前ニ立ツテドウシタトカ、或ハ郵便局ノ窓口デ小口公債ヲ賣ルノハドウカト云フヤウナ色々ナ非難モアツタヤウデゴザイマスガ、是ハ大キニ私ハ間違デハナカラウカト思フノデアリマシテ、非常ニ私ハ贊成デアル、ソレデ此度ノ二億圓ヨリ六億圓ニサレタノモ非常ニ贊成デゴザイマスガ、是ハヤハリ六億圓ニサレタダケデアリマシテ、從來ノヤウニ二十五圓ヲ一番最低トサレマシテ、ソレ以上ニ延バシテ行カレヌノカ、或ハ此際六億圓トサレルト共ニ、二十五圓ヲ十圓ニ、或ハ場合ニ依レバ五圓デモ宜シイ、切下ゲルト云フヤウナ御考ハナイデセウカ、此點ヲ一ツ伺ツテ置キマス

マス、同時ニ從來ノヤウニ直接民衆ニ公債ガ接觸ガナイコトハ遺憾デアリマスノデ、公債ノ所謂民衆化、所謂窓口賣出ヲ計畫ヲ致シマシテ、此方ヲ比較的増加スル「スピード」ヲ出來ルダケ増シテ行カウ、今御話ノ如ク、假ニ今六億圓ト思ツテ居リマスガ、是ハ順調ニ参リマスト、今貯蓄獎勵ヲヤリマシテ相當ニ效果ガアレバ、極端ニ云ヘバ年ニ從來ヨリモ三十億モ四十億モ貯蓄ガ増加スルノデアリマス、金融機關ノ方ノ邪魔ヲシナ——是ハ私ハ金融機關ノ爲デハアリマセヌ、日本ノ產業經濟ノ爲ニ、金融機關ト云フモノハ圓滑ナル運行ヲシナケレバナラスト思フノデアリマス、其運行ヲ邪魔シナイデ、直接公債ノ應募ヲスルコトガ出來ルノデアリマスカラ、是ハ六億ガモット行ケルモノナラバ、モットデモヤラウト思ツテ居リマス、唯情勢ニ依ツテ少イ方ガ適當デアレバ、少イ方ニ致サウト思ツテ居リマス、又券面金額等モ、必シモノ今ノモノニ拘泥ヲ致サナイ積リデゴザイマス、唯今ハ一方割増金附ノ貯蓄債券モ相當ニ出ス積リデアリマス、左様ナ割増金ヲ附ケテ行ク以外ノ公債デ宜シイカドウカト云フヤウナ點ヲ考ヘマスト、是ハ時宜ニ應ジマシテヤル積リデゴザイマス、只今ノ所ハ二十五圓券マデト云フコト

ヲ考ヘテ居リマスガ、是ハ何モソコニ膠著ヲ致ス考ハナイノデアリマス、ソレデ段々ニ直接民衆カラ應募サレルモノノ方ヲ比較的努メテ行カウト云フ考デアリマス、併シ金額カラ申シマスレバ、ヤハリ主要ナルモノハ金融機關及ビ預金部等デアル、斯ウ云フ風ナ考ヘ方デアリマシテ、ドノ方面ニモ之ヲ進メテ行キタイ、其本ハ今ノ消費ノ節約ガ一方ノ重大ナ源泉デアリマスルカラ、其獎勵ニ將來ヘ今マデ以上ニ力ヲ盡シテ行キタイ、結局貯蓄ガ出來ルカ出來ナイカト云フコトガ根本問題デアリマス、又貯蓄ヲ致ス源ヘ戰費ノ撒布ニ依ツテ出テ居ルノデアリマスカラ、是ガ十分貯蓄ニ廻レバソレデ「インフレーション」モ防ゲルシ、公債ノ消化モ出來ルト思ヒマス、是ハ、貯蓄ノ獎勵、合理的ノ消費ノ節約ニ付キマシテ一般國民ノ理解ト協力ヲ願ヒタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○水谷委員 其貯蓄ノ獎勵、ソレカラ消費ノ節約、是ハ只今大藏大臣ノ仰シヤッタ通り御尤デアリマスガ、私ハ此點ニ關シテ大藏當局ニ御尋スルノデアリマス、是マデ私ガ非常ニ遺憾ニ考ヘタノハ、此事變ガ起リマス、常ニ政府ハ國民ニ向ツテ消費ノ節約、貯蓄ノ獎勵ト云フコトヲバ聲ヲ大ニシテ叫バレタ

ノデゴザイマスガ、ソレニモ拘ラズ政府自ラガ現在ノ所謂政費ト云フモノヲ此位ニ節約スルノダト云フ聲ガ揚ラナカツタコトヲ云フ風ナ考ヘ方デアリマシテ、ドノ方面ニモ之ヲ進メテ行キタイ、其本ハ今ノ消費ノ節約ガ一方ノ重大ナ源泉デアリマスルカラ、其獎勵ニ將來ヘ今マデ以上ニ力ヲ盡シテ行キタイ、結局貯蓄ガ出來ルカ出來ナイカト云フコトガ根本問題デアリマス、又貯蓄ヲ致ス源ヘ戰費ノ撒布ニ依ツテ出テ居ルノデアリマスカラ、是ガ十分貯蓄ニ廻レバソレデ「インフレーション」モ防ゲルシ、公債ノ消化モ出來ルト思ヒマス、是ハ、貯蓄ノ獎勵、合理的ノ消費ノ節約ニ付キマシテ一般國民ノ理解ト協力ヲ願ヒタイ、斯ウ思ツテ居リマス

誤解ノナイヤウニ願ヒタイノデアリマス、是ハ又乳臭イ外國ノ例ヲ引クノハ非常ニ恐縮デアリマスガ、例ヘバ英吉利ナドデモ、歐洲戰爭最中ニ政費節約委員會ト云フヤウナ逆デアッテ、政費ヲ節約シテ戰費ヲ稼グト云フ趣旨デ言ツテ居ルノデアリマスカラ、此點ス

○賀屋國務大臣 戰時中ニヘ國家トシテ致スベキモノガ非常ニ多イノデアリマシテ、色々ナ事項ガアリマスルカラ、思フヤウニ一般會計ノ豫算等ヲ收縮致シテ居リマセヌガ、十二年度モ豫算實行ノ途中ニ於テ、一般會計約一億二千万圓、特別會計八千万圓カト思ヒマスガ、約二億圓バカリ節約致シマシタ、本年度豫算ノ編成ニモヤハリ節減

額ガ一億四千万圓デ、努力ハ十分致シテ居リマス、殊ニ本豫算ハ昨年度豫算ニ比ベマシテ若干減少シテ居リマス、併シ是ハ國債ノ利子ダケデモ一億圓モ殖エテ居リマスヤウナ狀況デアリマシテ、相當新規ノ事業ヲ致シマシタガ、今ノヤウニ一方ニ出來ルダケノ減少ニハ努メテ居ルノデアリマス、殊ニ此物資關係カラ、營繕トカサウ云フ風ナ消費シマスル物資デ、今トシテ極メテ貴重デアッテ、出來ルダケ事變目的ニ使ハナケレバナラヌモノニ付キマシテハ、特別ニソレニ努メテ居リマスシ、地方團體等モ相當ノ不便ハアリマシテモ、サウ云フ起債ハ特ニ制限ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○水谷委員 御趣旨極メテ分リマシテ、今後トモ此點ヲ非常ニ努力サレンコトヲ切望スル次第デアリマス、先ニ大藏大臣ハ、金融資本ヲ擁護スルコトハ、即チ國家ヲ擁護ゴザイマシタガ、ソレハ現在ノ經濟組織ノ下ニ於テハ、其言葉ハ通用スルノデゴザイマスルカラ、一應私ハソレハ突キマセヌガ唯「インフレ」阻止ト云フ點カラ考ヘマシテ、現在大藏大臣ガヤッテ居ラレル公債ノ消化策ハ、極ク少數デアルガ國民ノ所有シテ

居ル購買力ヲ直接ニ公債ニ吸上ゲル、ソレカラ今一ツハ所謂國民ノ購買力ヲ金融資本家ニ預金サシテ、ソレヲ公債ニスルコト、ソレカラ今一ツハ、是ハ最モ大部分用ヒラサシテ通貨ヲ發行スル、此三ツノ手段ヲ大藏大臣ハ執ツテ居ラレルト思フノデゴザイマス、所ガ所謂「インフレ」懸念ノ點カラ申シマスレバ、大藏大臣ガ今現ニ執ツテ居ラレル此第三ノ一番重大ナ方法ガ、一番強イノデハナイカト思フノデアリマス、ナゼカトモノハ、日本ノ生產力ノ擴充ト云フモノ申シマスレバ、現在ノ日支事變ノ特徵ト云ガ具體的ナ過程ニ入ラナイ間ニ所謂日支事變ガ勃發シテ、是ガ長期抗戰ニ迄持ツテ行カレタノデゴザイマシテ、一口ニ大藏大臣ハ物ト金トノ「バランス」ヲ取ルト云フコトヲスル次第デアリマス、先ニ大藏大臣ハ、金融資本ヲ擁護スルコトハ、即チ國家ヲ擁護スルノダト云フ風ナ意味デ、今ノ稅ハドウシテモ已ムヲ得ナイト云フヤウナ御趣旨デゴザイマシタガ、ソレハ現在ノ經濟組織ノ下ニ於テハ、其言葉ハ通用スルノデゴザイマスルカラ、一應私ハソレハ突キマセヌガ唯「インフレ」阻止ト云フ點カラ考ヘマシテ、現在大藏大臣ガヤッテ居ラレル公債ノ消化策ハ、極ク少數デアルガ國民ノ所有シテ

居ル購買力ヲ直接ニ公債ニ吸上ゲル、ソレカラ、是モヤハリ「インフレ」拍車ノ原因デシテ若干減少シテ居リマス、併シ是ハ國債ノ利子ダケデモ一億圓モ殖エテ居リマスヤウナ狀況デアリマシテ、相當新規ノ事業ヲ致シマシタガ、今ノヤウニ一方ニ出來ルダケノ減少ニハ努メテ居ルノデアリマス、殊ニ此物資關係カラ、營繕トカサウ云フ風ナ消費シマスル物資デ、今トシテ極メテ貴重デアッテ、出來ルダケ事變目的ニ使ハナケレバナラヌモノニ付キマシテハ、特別ニソレニ努メテ居リマスシ、地方團體等モ相當ノ不便ハアリマシテモ、サウ云フ起債ハ特ニ制限ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○賀屋國務大臣 之ヲヤリマシタノハ、大藏大臣ハ執ツテ居ラレルト思フノデゴザイマス、所ガ所謂「インフレ」懸念ノ點カラ申シマスレバ、大藏大臣ガ今現ニ執ツテ居ラレル此第三ノ一番重大ナ方法ガ、一番強イノデハナイカト思フノデアリマス、ナゼカトモノハ、日本ノ生產力ノ擴充ト云フモノ申シマスレバ、現在ノ日支事變ノ特徵ト云ガ具體的ナ過程ニ入ラナイ間ニ所謂日支事變ガ勃發シテ、是ガ長期抗戰ニ迄持ツテ行カレタノデゴザイマシテ、一口ニ大藏大臣ハ物ト金トノ「バランス」ヲ取ルト云フコトヲスル次第デアリマス、先ニ大藏大臣ハ、金融資本ヲ擁護スルコトハ、即チ國家ヲ擁護スルノダト云フ風ナ意味デ、今ノ稅ハドウシテモ已ムヲ得ナイト云フヤウナ御趣旨デゴザイマシタガ、ソレハ現在ノ經濟組織ノ下ニ於テハ、其言葉ハ通用スルノデゴザイマスルカラ、一應私ハソレハ突キマセヌガ唯「インフレ」阻止ト云フ點カラ考ヘマシテ、現在大藏大臣ガヤッテ居ラレル公債ノ消化策ハ、極ク少數デアルガ國民ノ所有シテ

居ル購買力ヲ直接ニ公債ニ吸上ゲル、ソレカラ、是モヤハリ「インフレ」拍車ノ原因デシテ若干減少シテ居リマス、併シ是ハ國債ノ利子ダケデモ一億圓モ殖エテ居リマスヤウナ狀況デアリマシテ、相當新規ノ事業ヲ致シマシタガ、今ノヤウニ一方ニ出來ルダケノ減少ニハ努メテ居ルノデアリマス、殊ニ此物資關係カラ、營繕トカサウ云フ風ナ消費シマスル物資デ、今トシテ極メテ貴重デアッテ、出來ルダケ事變目的ニ使ハナケレバナラヌモノニ付キマシテハ、特別ニソレニ努メテ居リマスシ、地方團體等モ相當ノ不便ハアリマシテモ、サウ云フ起債ハ特ニ制限ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○賀屋國務大臣 之ヲヤリマシタノハ、大藏大臣ハ執ツテ居ラレルト思フノデゴザイマス、所ガ所謂「インフレ」懸念ノ點カラ申シマスレバ、大藏大臣ガ今現ニ執ツテ居ラレル此第三ノ一番重大ナ方法ガ、一番強イノデハナイカト思フノデアリマス、ナゼカトモノハ、日本ノ生產力ノ擴充ト云フモノ申シマスレバ、現在ノ日支事變ノ特徵ト云ガ具體的ナ過程ニ入ラナイ間ニ所謂日支事變ガ勃發シテ、是ガ長期抗戰ニ迄持ツテ行カレタノデゴザイマシテ、一口ニ大藏大臣ハ物ト金トノ「バランス」ヲ取ルト云フコトヲスル次第デアリマス、先ニ大藏大臣ハ、金融資本ヲ擁護スルコトハ、即チ國家ヲ擁護スルノダト云フ風ナ意味デ、今ノ稅ハドウシテモ已ムヲ得ナイト云フヤウナ御趣旨デゴザイマシタガ、ソレハ現在ノ經濟組織ノ下ニ於テハ、其言葉ハ通用スルノデゴザイマスルカラ、一應私ハソレハ突キマセヌガ唯「インフレ」阻止ト云フ點カラ考ヘマシテ、現在大藏大臣ガヤッテ居ラレル公債ノ消化策ハ、極ク少數デアルガ國民ノ所有シテ

<p>マス、ソレハ先づ吸上ゲルカ、先づ通貨ヲ出スカト云フ其時ノ順序ハ工合ノ良イヤウニヤッテ行キタイ、斯ウ云フ考デ居リマス</p> <p>○水谷委員 私ノ尋ネマシタノガ少シ言葉ガ足ラナカッタト思ヒマスルガ、所謂多額ノ公債ヲ消化サセ、而モ「インフレ」ヲ防止スル點カラ申シマスレバ、サウ云フ日銀引受或ハ金融機關ニ持タスト云フヨリモ、國民大衆ノ購買力ヲ直接公債ヲ吸上ゲルト云フ方法ガ一番正シイト思フノデアルガ、サウ云フ點ヲ御考ニナレバ、今ノ所謂小額公債ト云フモノヲモット擴大強化サレルノガ宜イノデハナイカ、其見透シハドウデアルカト、云フ點ヲ御聞シタノデアリマス</p> <p>○水谷委員 サウシマスト六億ノ小口公債ハ金融機關ニ持タスト云フヨリモ、國民大衆ノ購買力ヲ直接公債ヲ吸上ゲルト云フ方法ガ一番正シイト思フノデアルガ、サウ云フ點ヲ御考ニナレバ、今ノ所謂小額公債ト云フモノヲモット擴大強化サレルノガ宜イノデハナイカ、其見透シハドウデアルカト、云フ點ヲ御聞シタノデアリマス</p> <p>○賀屋國務大臣 ソレハ今ハサウ云フ民衆ノ消費的ノ物資ノ問題モアリマスガ、戰用資材ノ方ガ一番主デアリマス、是ハ資金調整法等デ、不要ナモノニ資材其モノガ流レナイヤウニ、特殊ノ水路ヲ作ッテ行クヤウナ形デ今行ツテ居リマス、相當是ハ效果ガアルト思テ居リマス、民衆ノ方ハ今ノ合理的ノ消費ノ節約、貯蓄ノ獎勵デ自覺ヲ待チマス、ソレガ郵便貯金ニナリマスカ、銀行預金ニナリマスカ、保険契約ニナリマスカ、サウナレバ宜シイノデスガ、ソレハ時宜ニ應ジテ直接郵便局デ賣出ス方ガ宜ケレバ出來ル</p>	<p>ダケヤラシテ戴キタイ、是ハ情勢ノ工合ヲ見テ行カナケレバナリマセヌノデ、今ノ證ニヤッテ行キタイ、斯ウ云フ考デ居リマス</p> <p>○水谷委員 私ノ尋ネマシタノガ少シ言葉ガ足ラナカッタト思ヒマスルガ、所謂多額ノ公債ヲ消化サセ、而モ「インフレ」ヲ防止スル點カラ申シマスレバ、サウ云フ日銀引受或ハ金融機關ニ持タスト云フヨリモ、國民大衆ノ購買力ヲ直接公債ヲ吸上ゲルト云フ方法ガ一番正シイト思フノデアルガ、サウ云フ點ヲ御考ニナレバ、今ノ所謂小額公債ト云フモノヲモット擴大強化サレルノガ宜イノデハナイカ、其見透シハドウデアルカト、云フ點ヲ御聞シタノデアリマス</p> <p>○水谷委員 サウシマスト六億ノ小口公債ハ金融機關ニ持タスト云フヨリモ、國民大衆ノ購買力ヲ直接公債ヲ吸上ゲルト云フ方法ガ一番正シイト思フノデアルガ、サウ云フ點ヲ御考ニナレバ、今ノ所謂小額公債ト云フモノヲモット擴大強化サレルノガ宜イノデハナイカ、其見透シハドウデアルカト、云フ點ヲ御聞シタノデアリマス</p> <p>○賀屋國務大臣 ソレハ今ハサウ云フ民衆ノ消費的ノ物資ノ問題モアリマスガ、戰用資材ノ方ガ一番主デアリマス、是ハ資金調整法等デ、不要ナモノニ資材其モノガ流レナイヤウニ、特殊ノ水路ヲ作ッテ行クヤウナ形デ今行ツテ居リマス、相當是ハ效果ガアルト思テ居リマス、民衆ノ方ハ今ノ合理的ノ消費ノ節約、貯蓄ノ獎勵デ自覺ヲ待チマス、ソレガ郵便貯金ニナリマスカ、銀行預金ニナリマスカ、保険契約ニナリマスカ、サウナレバ宜シイノデスガ、ソレハ時宜ニ應ジテ直接郵便局デ賣出ス方ガ宜ケレバ出來ル</p>
<p>ダケヤラシテ戴キタイ、是ハ情勢ノ工合ヲ見テ行カナケレバナリマセヌノデ、今ノ證ニヤッテ行キタイ、斯ウ云フ考デ居リマス</p> <p>○賀屋國務大臣 是ヘドウモヤッテ見ナイト分リマセヌ、マア強ヒテ申セバ、今マデ貯蓄ガ銀行ニ幾ラ集ル、信託會社ニ幾ラ集ル、保險會社ニ幾ラ集ル、其見透シハドウデスカ</p> <p>○賀屋國務大臣 是ヘドウモヤッテ見ナイト分リマセヌ、マア強ヒテ申セバ、今マデ貯蓄ガ銀行ニ幾ラ集ル、信託會社ニ幾ラ集ル、保險會社ニ幾ラ集ル、利廻ノコトヲ能ク考ヘテ居ルカラ、郵便貯金ヨリモ、同ジャ五圓ノ公債ヲ持ツ、初メテ公債ヲ持ツテ、利廻ヘ郵便貯金ヨリハ好イト云フコトガ國民大衆ニ分ルト云フコトニナリマスト、結局此頃公債ニハ、公債株式論ト云フ議論マデ湧イテ來テ居ルヤウニ、利廻ノコトヲ能ク考ヘテ居ルカラ、郵便貯金ヨリモ、同ジャ五圓ノ公債ヲ持ツ、初メテ公債ヲ持ツテ、利廻ヘ郵便貯金ヨリハ好イト云フコトニナルト、ドウシテモ利廻ノ好イ公債ノ方ニ逃げハシナイカ、更ニ又一步進ンデ見ルト、其公債ハ直ぐ賣買出來ルモノダカラ</p>	<p>云フト、サウモ言ヘナイ、是ハヤハリ他ノ銀行等ニモ幾ラカ應ヘル、郵便貯金ニモ應券ノ印刷能力ノ方モアリマセヌノデ、今ノ證シナイデ、時宜ニ應ジテ進ムト云フコトニシタイト思ヒマス</p> <p>○賀屋國務大臣 一方カラ申シマスト逃げテモ宜シイノデアリマス、必要ナ社債、公債ドルモ役ニ立ツノデアリマスカラ、一方カラ言ヘバ逃ゲテモ宜シイ、デハ宜シクナイスナイ者ガ新ニ貯蓄ニ向フト云フ作用モアルト思ヒマス、是ハドウモハツキリ分リ兼シタル手段ガ多クナル方ガ、結局ニ於テ貯蓄ノ總和ハ殖エルト思ヒマス</p> <p>○水谷委員 私ハ太田サント議論シテ御教ノ乞ウタノデスガ、結局二十五圓ナラ二十</p>
<p>○賀屋國務大臣 一方カラ申シマスト逃げテモ宜シイノデアリマス、必要ナ社債、公債ドルモ役ニ立ツノデアリマスカラ、一方カラ言ヘバ逃ゲテモ宜シイ、デハ宜シクナイスナイ者ガ新ニ貯蓄ニ向フト云フ作用モアルト思ヒマス、是ハドウモハツキリ分リ兼シタル手段ガ多クナル方ガ、結局ニ於テ貯蓄ノ總和ハ殖エルト思ヒマス</p> <p>○水谷委員 私ハ太田サント議論シテ御教ノ乞ウタノデスガ、結局二十五圓ナラ二十</p>	<p>云フト、サウモ言ヘナイ、是ハヤハリ他ノ銀行等ニモ幾ラカ應ヘル、郵便貯金ニモ應券ノ印刷能力ノ方モアリマセヌノデ、今ノ證シナイデ、時宜ニ應ジテ進ムト云フコトニシタイト思ヒマス</p> <p>○賀屋國務大臣 一方カラ申シマスト逃げテモ宜シイノデアリマス、必要ナ社債、公債ドルモ役ニ立ツノデアリマスカラ、一方カラ言ヘバ逃ゲテモ宜シイ、デハ宜シクナイスナイ者ガ新ニ貯蓄ニ向フト云フ作用モアルト思ヒマス、是ハドウモハツキリ分リ兼シタル手段ガ多クナル方ガ、結局ニ於テ貯蓄ノ總和ハ殖エルト思ヒマス</p> <p>○水谷委員 私ハ太田サント議論シテ御教ノ乞ウタノデスガ、結局二十五圓ナラ二十</p>



致シマス點ヲ拜聽シテ能ク承知シテ居リマスガ、私ノ御尋スル點ハ、全然質問ノ角度ガ違ツテ來ルカモ知レマセヌ、聽イテ居ルト、何カ知ランマダ増稅ノ餘地ガアルカノヤウニ言ハレル人ガアリマスガ、私ハドウ致シテ居ル、大分前カラ、十年モ前カラ斯ウ云フ稅ノ委員ノ末席ヲ汚シテ居リマスガ、既ニ今日所得稅ニ於テ緩和點ヲ設ケネバナラヌ——前ニモアッタ、ソレハ低イマス緩和點デアッタ、今度ハ所得稅デ五十五、營業収益稅、臨時利得稅、其他附加稅等ヲ加ヘルト、大藏大臣ハ所得ノ十分ノ七マデハ取ラント仰シヤラレタノデアリマスガ、私ハ算盤ノ立テ間違デアルト思ヒマス、私ハソレデハキカヌト思フ、ヤハリ十分ノ八近モ現在ノ稅ノ種類ノ中デ、此上增稅スル餘地ガアルカ無イカト云フト、問ハヌデモ私クニナルト思フノデアリマス、何レニシテ地ガアルカ無イカト云フト、問ハヌデモ私ハ無イト思フ、是デハ恐ラク產業資本家ハ關係ガアルノデ話スノデアリマスガ、此稅産業ヲ起サヌダラウト思フ、此稅ガ出テカラ寄ルト觸ルト、吾々ハ新稅ノ關係デ多少關係ガアルノ所デ手許ニ殘ルモノハナイノダカラ、ドウナルカ見透シヲ付ケテカラデ宜到底自分ノ所デ手許ニ殘ルモノハナイノダ

カラウト云フコトヲ言ウテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハドウシテモ必要ナノハ、連日同僚委員諸君カラ御尋シテ居リ、今日モ水谷サンナドカラ尋ネラレテ居ル稅制ノ整理ヲ急イデヤレト云フヤウナ希望ニ對シテ、政府ハ支那事變ノ見透シガ付カタカラ、支那事變ノ見透シデモ付イタラヤラウ、來年ヤルトカヤラヌトカ云フコトハ答辯ガ出來ヌト言ハレルノデアリマスガ、私ハ斯ウ思フ、斯ウ云フヤウニ複雜多岐ニ瓦ツテ居ル、一ツノ事ニ對シテ十何種類ノ稅ヲ勘定スルノデアリマスカラ、稅務署ノ署長デモ、直稅課長デモ誰デモ、右ノ手ニ稅制ノ本ヲ持ッテ居ラスト、法律ヲ手ニ下ゲテ居ラスト私ハ計算ヲヨウセヌダラウト思フ、ソレカラモウ一つハ、兎ニ角複雜デス、吾々モサウ頭ガ悪イトハ思ウテ居ラヌガ、今度ノ分ダケハイキナリ問ハレタノデハ宙ニ答ガ出來ナイ、政府カラ御配リニナツタ資料デモ持ッテ居ラスト、逆モ覺エチヤ居レス、ソコデ支那事變ノ見透シガ付カヌデモ、私ハヤハリ單純化スル法律ヲ作ッテ、サウシテ適當ナ所へ稅率ヲ置ク、適當ナ所ニ稅率ヲ置クト云フコトベ、高率ニナサイトカ低率ニナサイトカ云フノデハナイ、適當ナ所ニ稅率ヲ置イテ、一本

貰ヒタイ、支那事變ノ見透シガ付クカ付カ  
幾ラノ利益ガアレバ幾ラ、個人ハ幾ラノ利  
益ガアレバ幾ラト云フ風ニ極ク單純ニシテ  
貰ヒタイ、支那事變ノ見透シガ付クカ付カ  
又カニ依ツテ決メルト云フコトハ、税率及ビ  
稅額ノコトダト私ハ思フ、假令支那事變  
ノ見透シガ付イテモ、恐ラクハ稅ヲ低クス  
ルヤウナコトハ難カシイノデハナイカ、大  
變ナ公債ノ發行セラレタ此利子ノ負擔モア  
ルシ、其他事變後ノ後始末ヲ國ガヤルコト  
ハ大變アルノデアリマスカラ、是ハ臨時的に  
ニ設ケル稅種デアルカラ、何レハ此臨時的に  
ノモノハ支那事變ガ濟ンダラ取止メルト仰  
シヤルガ、從來此種ノ稅金デ本當ニ廢メタモ  
ノハナイ、是ハ稅務當局モ主稅局ノ連中モ肯  
定サレルダラウト思フ、一旦稅種ヲ設ケタ  
モノハ、何カ名目ハ變ヘテ居リマスケレド  
モ、ソレハ本當ハ生キテ居リマス、ダカラ  
支那事變ノ見透シガ付イタトテ、稅種、稅  
率、稅額ヲ合セタモノヲ低メルコトハ困難  
デアル、寧ロ高メネバナラヌヤウナコトニ  
ナルノデアルカラ、兎モ角モ私ノ言フノハ、  
シテモ此稅制ノ整理ト云フモノヲ私ハヤラ  
ナケレバイカヌノデハナイカト思フ、併ナ

ガラ今ソレニ對シテ、大藏大臣ニ是非、來年ノ議會ニ出シナサイトカ、再來年ノ議會ニ出シナサイト言ウテモ、今迄ニ答辯ヲ居ラレル順ガアルカラシテ、私ハ其答辯ヲ得ヨウトハ思ヒマセヌ、併ナガラドウゾ此點ダケハ肯定シテ貴ヒタイ、斯ウ云フヤウニ複雜多岐デハ到底計算ノ煩ニ堪ヘヌ、是ダケハ私ハ認メテ戴イテ、サウシテ此計算ガ出來得ルヤウナ稅制ヲ立テテ貴ヒタイ、サウスレバ多ク要ラウト少ク要ラウト兎モ角ハツキリト分ツテ居ル、サウ云フ風ニ願ヒタイト思フノデアリマス、殊ニ内務大臣ニ私ハ尋ネタ點デ、大藏大臣ハ居ラレナカッタ、色々ナ稅ガ高クナッタ、何デモガ高イ、相續稅ノ如キハ隨分は高率ニナツテ來タ、到底是ハ負擔ニ堪ヘヌト思フ、斯ウ云フヤウナ漸進的共產主義者ガヤルヤウナ事ヲシテハイカヌト言ウタ所ガ、大變御機嫌ガ惡カッタヤウナ風ニ見受ケルノデス、併ナガラ私ハ、是ハ廊下デノ話デアツタガ、相續稅ノ爲ニ倒レタト云フ者モアルカモ知レスガ、マダ倒レヌ者モ澤山アルト言ハレタ、ソレハサウデス、今倒レテハ堪ラナイ是ハ去年ノ増徵法ノ改正ニ依ツテ倍ニナツタノダカラ、マダ倒レル程ニ至ツテ居ラナイ、納稅者ト稅務署トノ間ニ協調ヲ遂ゲタ所モアルシ、是

カラ協調シテ七箇年トカ、五箇年トカ、年賦  
デ納メルノデアルカラ、マダ倒レテハ居ラヌ  
ガ、恰モ倒レ、バ宜イヤウナ風ニ考ヘテハイ  
倒レテハ居ラナイガ、如何ニモ倒レ、バ宜  
イガト云フ風ニ聞エル、倒レス方ガ宜イ、  
倒レスヤウニヤラナケレバ私ハイカヌト思  
フ、ソレニハ物納ト云フモノヲ私ハドウシ  
テモ政府ハ一つ次ノ機會ニハ考慮シテヤラ  
セテ貴ハナケレバイカヌト思フ、今度ハ大  
藏大臣ニ其點ハ聽キタイノデアリマス、今ノ  
相續税率デ、税務署ガ決定シタ全額ニ此税率  
ヲ掛ケテ納メルト、到底財産ヲ次ノ者ニ譲  
ルヤウナコトニハナラヌノデス、讓ッテ貴  
タ者ガ却ツテ迷惑デス、何故迷惑デアルカト  
何ト云ヒマスカ、時價ヲ以テ決メルト申シ  
マセウカ、敢テ高ク評價スルトハ言ハヌデ  
モ宜イカモ知レスガ、田地ノ賣買ヲスル場  
合デモ、其村デ賣買スルノニハ何十町歩ト  
賣買シナケレバ税金ハ納メラレヌ、五段力  
モ、其税金ヲ納メル爲ニハ今度田地ヲ一時  
一町カ賣ツタ價格ヲ標準ニシテ其人ノ財産ヲ  
決メラレルカラ、百万圓ト假ニ決ツタ財産デ  
モ、其賣買シナケレバ税金ハ納メラレヌ、五段力

リ、或ハ宅地ヤ建物ヲ一時ニ賣<sup>ス</sup>タノデ<sup>ハ</sup>出  
來ナイノデアリマス、ソレハ稅務署ガ評價  
シタ金額デハ絶對ニ賣レマセヌ、賣レマ  
セヌカラ段々倒産スル者ガ出來テ來テ、  
納稅ニ困ルノデアルカラ、評價ヲ下ゲル  
ト云フコトガ困難デアルナラバ、又稅  
率ヲ下ゲルコトガ困難デアルナラバ、  
評價ガ時價ニ目標ヲ置ク以上ハ、物納ヲ政  
府ガ認メサヘスレバ宜イト思フ、サウス  
レバ百万圓ノモノカラ四十三万圓取立テテ  
モ、後ニマダ五十七万圓殘ルケレドモ、今ノ  
ヤウナ方法デ行クト——稅率ハ色々ア  
リマスヨ、今私ノ言ッテ居ルノハ一番最  
高ノ率デアルガ、是ハドウ云フ風ニ言  
廻シタラ宜イカ知ラヌガ、資本家ト云フカ、  
財閥ト云フカ、一般ノ人ガ狙フト云フカ、  
呪フト云フカ、其邊ノ者カラウント取ッテ  
ヤラウト云フヤウナモノデアル、デアルカ  
ラ四十三万圓納メル爲ニハ、百万圓ノモノ  
ヲ處分シテ見テモ恐ラク四十三万圓ニハナ  
ラヌ、ダカラ百万圓ト評價シタモノノ中カ  
ラ四十三万圓適當ニ取上げテ行クナラバ、  
マダ五十七万圓殘ルカラ差支ナイト私ハ思  
フ、マダ日本ノ家族制度ヲ破壊スルマデニ  
ハ行カヌカモ知レスケレドモ、今ノヤウニ  
財產ハ有ユルモノヲ引括メテ五万圓トカ十

万圓トカ評價シ、納メルモノハ皆現金デ政  
府ガ取立テヨウト云フコトニハ無理ガアル  
ト私ハ思フ、寧ロソレナラバ連日此處デ議  
論ニナツテ居ル財產稅ノ如キモノモ、サウシ  
テ一遍ニ取ラズニ、年々ニ分割シテ行ツシ  
モ、其人間ヲ貧乏ニシテシマフト云フ目的  
ハ達成セラレルノデアリマス、目的ヲ達スル  
ノハ色々手段ガアルガ、寧ロ財產稅ナドヲ  
設定シテ、サウシテ百萬長者ヲ無シニスル  
ノデモ、ポツリ／＼ヤッテ、一遍ニ潰サヌ  
方ガ宜イデヤナイカト私ハ思フ、隨テ物納  
ヲ認メルカドウカ、サウ云フ機會ヲ御作リ  
ニナル考ガ多少デモアルカドウカ、此點ヲ  
一ツ拜承致シタイノデアリマス

アリマス、併ナガラ是ハ尙ホ所謂稅制整理ノ基本的ノコトヲ考ヘマス際ニハ、更ニ又問題ト致シマシテ考究スルコトニ致シタイト思ヒマス

○森田委員 其點モ一つ御研究ガ願ヒタイト思ヒマス、換價スルノニ因ルト仰シヤルガ、是ハ競賣ニ付シテ政府ガ見積ツタ金額ガ取レル程度ニ、而モ是ハ或ル一部々々ヲ取ル譯ニハ參リマセヌカラ、稅金ガ二万五千圓要ルトスレバ、一箇所ダケモギ取ルコトハ出來スカラ、五万圓ノ一筆ヲ取ッテ行ケバ、殘リノ二万五千圓ヲ現金デ戻スト云フヤウナ方法モアルノデアリマスカラ、此點ハ事務當局ノ方ガ考ヘテモ簡単デアルト思フ、兎モ角モ一ツ此稅制整理ヲ御ヤリニナル際ニハ、相續稅ノ物納ヲ深ク御研究ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

ソレカラ増稅ノ結果物價ガ高クナリハシナイカト私ガ本會議デ御尋ネ申上ゲタノニ對シテ、大藏大臣ハ、此點ハマア高クナリサウダッタラ高クシナイヤウニ、物價高ヲ抑ヘテ行クト仰シヤツタガ、是ハ困難デス、幾ラ權力ヲ以テ抑ヘラレテモ、馬鹿ト相場ニハ勝テヌノデアリマス、之ヲ抑ヘルコトハ恐ラク困難ダト思フ點ヲ一點申上ゲデ見レバ、大藏大臣モ肯定シテ戴ケルト思フ、例ノ國

家ガ大株主デアル日本製鐵株式會社、アノ  
鐵價ノ問題ガ非常ニヤカマシイガ、アノ會  
社ガ主トシテ鑄物業者、ソレカラ鋼材業者、  
是等ノ人々ニ銑鐵ヲ一定ノ價格デ賣下ゲ  
ヨウト云フノデアリマス、私ハ人カラ聞イ  
タノデハッキリ覺エヌガ、廳九十圓内外デ  
鑄物業者ヤ鋼材業者ニ賣ツテ居リマス、所  
ガ此鑄物業者ヤ鋼材業者ハ、其割當ヲ貰タ  
品物ニ「スクラップ」ヲ混ゼテ鐵製品ヲ作ツ  
賣ルノデアルガ、其原價ハヤハリ九十圓  
ト計算ヲシテ、「スクラップ」ハ仕方ガナイ  
カラ七八十圓出シテ混ゼテヤルノダガ、  
其出タ價格ニ持ツテ行ッテ、「コスト」ニ加ヘ  
テ、利益ヲ一割トカ五分トカ見テ居レバ今  
日ノヤウナ鐵價ハ致シマセヌ、然ルニ是等  
ハ銑鐵ノ相場ハ大體九十圓デ貴ツテ、倍以  
上ノ百八九十圓ニ評價ヲシテ、ソレニ「ス  
クラップ」ノ價格ヲ加ヘテ賣ツテ居ツテ、一部  
ノ業者ガ大變ナ利益ヲ取ツテ居ルコトハ何  
人モ私ハ否定セヌ所ダト思フ、サウスルト  
ル譯デアリマス、私ハ會社ノ名前ハ特ニ舉  
錢ヲ貰ツテ鑄物ハ造ラズニ、轉賣ヲシテ配當  
ヲシテ居ル會社ガアルト言ヘバ、政府ノ方

デハ調ベラレ、バ分ル苦デス、斯ウ云フヤ  
ウナ所スラアルノデアリマス、國家ハ此非  
當時ニ際シテ、日本製鐵ノ利益ハ政府ノ物  
價調節ニ依ツテ減殺サレテ居ル、百八九十圓  
ニ賣レル銑鐵ヲ九十圓デ賣ツテ居ルカラ、日  
本製鐵會社ハ損ヲシテ居ル、日本製鐵會社  
ガ損ヲシテ居ルコトハ即チ國家國民ガ損ヲ  
シテ居ルノデアリマス、安ク賣下ゲテモソ  
レヲ需要者ニ安クヤレバ損ニナラヌケレド  
モ、サウヂヤナ、製鐵會社ハ安ク賣下ゲ  
テ、中間ニ入ツテ居ル者ハ鑄物製品デモ、其  
他鐵管デモ、鋼材デモ、暴利ヲ取ツテ是等ノ  
製品ヲ高ク賣ツテ居ルカラ、此間ニ介在スル  
一部ノ人間ニ非常ニ儲ヲサセテ、國家國民  
ハニ重ニ損ヲシテ居ル、私ハヤハリ日本製  
鐵ハ時價デ賣下ゲテ、其利益ハ配當ヲヤラ  
ズニ日本製鐵ノ擴張費ナリ、或ハ不足ヲ生  
ジテ居ル運送船ノ買收ナリ、サウ云フ方ニ  
クラップ」ノ價格ヲ加ヘテ賣ツテ居ツテ、一部  
ノ業者ガ大變ナ利益ヲ取ツテ居ルコトハ何  
人モ私ハ否定セヌ所ダト思フ、サウスルト  
ル譯デアリマス、私ハ會社ノ名前ハ特ニ舉  
錢ヲ貰ツテ鑄物ハ造ラズニ、轉賣ヲシテ配當  
ヲシテ居ル會社ガアルト言ヘバ、政府ノ方

底抑ヘルコトハ出來ヌト私ハ思ヒマス、商  
工大臣ガ御話ニナルヤウニ、物價ノ統制委  
員會ヲ作ツテ物價ヲ抑ヘテ行カウト仰シヤ  
ルガ、是モ不可能デス、是ハ商工省ガ「セ  
メント」ノ價格ヲ引上ゲテハイカヌト言ウ  
メント」ノ價格ヲ引上ゲテハイカヌト言ウ  
一圓ト商工省ガ決ステ居ルガ、商人ノ方デ  
ハ其渡シ場所カラ持ツテ來テ、本當ノ運賃十  
錢掛ル所ヲ二十錢三十錢ノ運賃ヲ見積ツテ、  
商工省ノ標準價格ニ對シテ、其實際ニ要ス  
ルヨリ以上ノ運賃ヲ加ヘテ、結局ハ賣值ヲ  
高ク賣ツテ居ル、是ハドンナ法律ヲ以テ取締  
ラウト云ツテモ取締ラレヌカラ、物價ガ高ク  
ナルコトヲ抑ヘテ行クコトハ困難デアルト  
思フ、ソレカラモウ一ツ大藏大臣ハ今度ノ  
軍需品ヤ、政府ノ消費スル物ニ對シテ物品  
稅ヲ課ケテ居ラヌ、隨テ物價ハ高クナラヌ  
ト仰シヤツタガ、是ハ何レハ皆高クナル、  
ニ——支那事變ニ依ツテ特別ニ儲ケル者ハ別  
トシテ、大體ハ儲ケヌ者ノ方ガ多イ、農民、  
漁民、月給取ノ其殆ド八割、九割ハ此事變  
ノオ蔭ヲ受ケテ儲ケヌノデアリマスカラ、  
是等ニ負擔ヲ増加サセナイヤウニ、增稅ヲ  
シナイ方ガ宜イノデハナイカ、增稅ヲセヌ  
デモ、政府ノ支出ガ增稅以上ニ縮マレバ其  
方ガ得デアリ、物價ノ標準値ヲ上ゲズニ濟  
ムノデハナイカ、斯ウ云フノニ對シテ大藏  
大臣ノ答辯ハ、其兩方ニ依ツテ、國民精神總  
動員ノ一端トシテ國民ニ其事件費ノ一部ヲ  
負擔サセルノデアルト云フ考ヲ持タスコト  
ト、經濟ノ足シト兩々相俟ツテ此增稅ヲ行ツ

クナルノデハナイカ、併ナガラ今度ノ增稅  
ハ其意味デナイ、是ハ國民ニ此支那事變ノ事  
件費ヲ直接ニデモ間接ニデモ相當負擔サセ  
ルノデアル、其爲ニ此增稅ハヤルンダト言  
ハレルナラバ、私ハ一部已ムヲ得ヌカト思  
フケレドモ、政府ノ經濟ノ足シニシニウト  
云フナラバ、日本ノ財政ノ常道ヲ歩ンデ居  
ラヌ、即チ歲入ダケハ悉ク公債ニ依ラヌ、  
或ハ一部公債ニ依ツテ居ル、ト云フコトナ  
ラバ增稅ヲヤツテモソレハ全部收入ニナル、  
併シ、增稅ヲヤツタ爲ニ物價ヲ高メテ、却  
テ自分ノ方ノ支出ガ初メノ豫定金額ヨリ  
多クナルト云フコトニナレバ、徒ニ國民  
ニ——支那事變ニ依ツテ特別ニ儲ケル者ハ別  
トシテ、大體ハ儲ケヌ者ノ方ガ多イ、農民、  
漁民、月給取ノ其殆ド八割、九割ハ此事變  
ノオ蔭ヲ受ケテ儲ケヌノデアリマスカラ、  
是等ニ負擔ヲ増加サセナイヤウニ、增稅ヲ  
シナイ方ガ宜イノデハナイカ、增稅ヲセヌ  
デモ、政府ノ支出ガ增稅以上ニ縮マレバ其  
方ガ得デアリ、物價ノ標準値ヲ上ゲズニ濟  
ムノデハナイカ、斯ウ云フノニ對シテ大藏  
大臣ノ答辯ハ、其兩方ニ依ツテ、國民精神總  
動員ノ一端トシテ國民ニ其事件費ノ一部ヲ  
負擔サセルノデアルト云フ考ヲ持タスコト  
ト、經濟ノ足シト兩々相俟ツテ此增稅ヲ行ツ

タノデアルト仰シヤッタノデアリマスガ、今モソレハヤハリ増稅シタ方ガ經濟ノ足シナルト思ッテ居ラレマセウカ、其點ヲ重ネテ伺ヒマス

## ○賀屋國務大臣

ヤハリ同ジニサウ考ヘテ居リマス、今ノ物價ノ御話デアリマスガ、物價ノ騰貴ヲ抑制シマスルコトノ困難ナコトハ是ハ御説ノ通リデアリマス、三億圓ノ増稅ヲ致シマシタ爲ニ物價ガソレ以上ニ上テ、政府ノ支出ガソレ以上ニ殖エルト私ノ方デハ考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ増稅ニ藉口シ物價ヲ不當ニ上ダマスコトハ、國民ノ自覺ニ懃ヘテ、從來ノヤウニ放任致シマセヌ、出來ルダケ抑制スル積リデアリマス、御話ノ如ク物價ノ上リマスコトハ是ヘ外ニ色々原因ガアルノデアリマス、全然上ラストハ申シマセヌガ、増稅ヲヤリマシタ爲ニリマセヌ、先程來御質問ガアリマシタヤウニ、是ハヤハリ心理的ニモ一般ノ「インフレーション」傾向ニ對シテ相當效果ガアルモノデアリマス、是ガ全然物價騰貴ノ原因ニナッテソレ以上ニ物價騰貴ヲ來ス、斯ウ云フ風ニハ考ヘテ居ラナイノデアリマス

○森田委員 其點ハ意見ガ違フノデスカラ仕方アリマセヌガ、私ノ考ヘルノハ、稅金

ガ四月一日カラ課セラレルト云フノデ、酒

ノ如キモノデモ既ニ値ヲ上ゲテ待ツテ居ル、何デモ皆先ニ値ヲ上ゲテ居リマス、マダ稅

金ガ上ラヌ前ニ皆上ゲテ待ツテ居ルノデスカラ、アナタノ言ハレル增稅ヲシタカラト

云ツテ多少ハ關係ガアラウガ、大シタ影響

ハナイト言ハレルノハドノ邊ヲ抑ヘテ言ハ

レルノカ一向分ラヌガ、ソレヲ數字的ニ議論シテ居ルト長クナリマスカラ申シマセヌ、

ソレハアナタガ御考ニナッテ見レバ、先ヅ

一番早イ話ガ、大臣ハオ臺所ノコトニ關係

セヌト言ハレルカモ知レヌガ、奥サンニ聽

カ、サウ云フコトデ一番早ク分ル、デスカ

イテ御覽ナサイ、如何ナル物ガ上ッテ居ル

カ、サウ云フコトデ一番早ク分ル、デスカ

ラ物價ハ上ッテ居リマス、アナタガ何ト言

ハレテモ、物價ガ上ルコトヲ否マレルノハ

私ハ間違ダト思フ、併シ其點ハ追及セヌト

言ヒマシタカラ追及シマセヌガ、物價ガ上ッ

テ經濟ノ足シニナラヌ、ドウシテモ政府ガ目的ヲ達シヨウト思ヘバ、追加豫算ヲ出スカ、

レバ、到底賄ヒハ出來ヌトスウ思ッテ居ル

コトヲ申上ゲテ置キマス

其次ニ御尋スル點ハ爲替ノ點デアリマス、

是ハヤハリ大藏大臣ハ私ノ意見ト一致サセラヌト考ヘテ居ル、ドウモ外ノ御方ノ意

見トハ幾ラカ一致スルガ、私ノ意見トハ一  
致セヌコトヲ遺憾ニ思ヒマスガ、輸出ト輸入トノコトニ付テ此間モ本會議デ、私ハ政

府デスラ答辯ガ區々ダナト思フ點ハ、大

藏大臣モ私ガ申上ゲレバ直グ氣ガ付カレル

準ハドウシテモ維持シテ行クノカ、斯ウ云

ニ向ク質問ダカラ大贊成ノ意ヲ表サレタ、

ソレカラ其次ニ第二ニ政府ニ向ツテ其議員

ガ問ウテ曰ク、生絲ヲ高クシテ農民ノ所得

ヲ増ス考ハ政府ニナイカ、是ハ問ウ方モ妙ナ

コトヲ問フガ答ヘル方モソレニ對シテ、出

來ルダケ努力ヲスル、斯ウ言ハレタ、ドウシ

テ政府ハ努力スルノカ、爲替ヲ動カサズニ生

ドウシテモ守ツテ行カレルコトガ、果シテ國

家ノ爲ヤ國民ノ爲ニナルカナラヌカ、此點

ハアナタハ其標準ヲ守ルト仰シヤル、丁度

ドウシテモ守ツテ行カレルコトガ、果シテ國

家ノ爲ヤ國民ノ爲ニナルカナラヌカ、此點

ハアナタハ其標準ヲ守ルト仰シヤル、丁度

ドウシテモ守ツテ行カレルコトガ、果シテ國

家ノ爲ヤ國民ノ爲ニナルカナラヌカ、此點

ハアナタハ其標準ヲ守ルト仰シヤル、丁度

ドウシテモ守ツテ行カレルコトガ、果シテ國

家ノ爲ヤ國民ノ爲ニナルカナラヌカ、此點

ハアナタハ其標準ヲ守ルト仰シヤル、丁度

今二十九弗何ボ、約三十弗ト抑ヘテ考ヘテ見テモ、假ニ三百弗デ生絲ガ「ニューヨーク」

デ取引ガ出來ルトスレバ、二十五弗ニ爲替

ガ下ッテ來レバ、少クモ二百五十圓農民ノ所

得ガ增シテ行ク、是ハ爲替政策ニ於テ農民

ノ所得ガ増シテ行クノデス、又爲替ヲ大藏

大臣ガ何處マデモ對英ハ一志二片、ソレカ

ラ對米ハ二十九弗デスカ、兎ニ角其程度ヲ

ドウシテモ守ツテ行カレルコトガ、果シテ國

家ノ爲ヤ國民ノ爲ニナルカナラヌカ、此點

ハアナタハ其標準ヲ守ルト仰シヤル、丁度

ドウシテモ守ツテ行カレルコトガ、果シテ國

○賀屋國務大臣 是ハ度々申上ゲタノデス  
ガ、御意見トハ違フノデアリマス、今ノハ  
恐ラク農林大臣デセウガ、是ハ亞米利加ニ  
於ケル生絲ニ關スル色々々宣傳デアルトカ、  
國內ニ於ケル生絲ノ賣レナイ場合ノ生産制  
限トカ、爲替以外ニ、繭價ニ對シテヤル方  
法ハアリマスノデ、爲替ヲ安クシテ賣レル  
ト云フナラバ、ソレダケ日本ノ品物ヘ外國  
デ安クナラナケレバナラヌ、是ハ外ノ機會  
デモ申上ゲマシタガ、二割爲替ガ安クナツ  
テソレデ賣レレバ、品物ハ一割五分賣リ方  
ヲ増サナケレバ外貨ハ元通リニナラヌ、爲  
替ヲ下ゲテ、其爲ニ弗ヤ磅トシテ日本ノ受  
取ル金ガ今ヨリ大イニ多クナルト云フコト  
ハ今ノ國際通商情勢デハ中々困難デアリマ  
ス、ソレト同時ニ歐羅巴戰爭デモ、戰爭ノ  
際ニ爲替ヲ下ゲル政策ヲ執ッタ國ハナイ、ア  
ナタノ御說ハ平時ノ場合ナラ色々々傾聽シマ  
スガ、戰爭ノ場合ヤ事變デサウ云フ政策ヲ  
執ッタ國ハナイ、何割下ッタラ品物ガ安クナツ  
テ賣レルダラウト云フ勘定ヲスル前ニ、恐  
ルベキ非常ナ事ガ起ツテ、農村ノ生活ドコロ  
デハナイ問題ガ起ルカモ知レヌト云フコト  
ヲ御考ヘ願ヒタイト思フ

○賀屋國務大臣　此點ハ一寸速記ヲ止メテ  
下サイ  
〔速記中止〕

〇森田委員　其點ハ議論ニナリマスカラ私  
ハ此以上ノ答辯モ望ミマセヌガ、併シソレ  
ハ大藏大臣ト考ハ全然違ヒマス、私ハ爲替  
ガ下ヅテ來ルコトニ依ヅテ輸入ガ少クナル、  
今ノヤウナ輸入爲替ヲ許可シテ吳レト言フ  
ノハ、輸入シタモノガ引合フカラ輸入爲替  
ヲ許可シテ吳レト云フノガ多イノデアツテ、  
若シ此爲替ガ下レバ隨テ買フ物ガ自然高ク  
ナル、外國ノ物ガ高クナルカラ、無理ニ爲  
替ノ調節ヲ圖ラヌデモ日本ニハ輸入ガ自然  
減退シテ來ルシ、引合ハヌカラ商人ガ輸入  
セヌヤウニナル、其點ハ戰時デアラウト平  
時デアラウト、經濟ノ行ク道ハ變ッタコト  
ハナイ、斯ウ考ヘテ居リマスカラ、其點ハ私  
ハ承服致シ兼ネマス、又戰時ニ爲替ヲ維持  
ト無理ヲシタ佛蘭西ヤ獨逸ノ方ガ戰後失敗  
ガ多カツタ、シナカツタカライカヌヤウニナツタ國ガアル  
ト仰シヤッタガ、戰時ニ爲替ヲ維持シヨウ  
見ル所デハ、佛蘭西ナドハ五大強國デモ、  
三大強國デモアリマセヌ、サウ云フヤウニ

ナッタノハヤハリ戦爭中ノ經濟ノヤリ繰ガ  
惡カッタコトガ累ヲ今日ニ及ボシテア、云  
フ風ニナッテ行ッタノデアリマス、デアリマ  
スカラ、戰後ノ經濟ニ付テ非常ニ心配ヲシ  
テ置カナケレバナラヌノデアリマスカラ、  
今正貨ヲ無暗ニ送リ出シテマデ爲替ヲ維持  
シテ行クト云フコトハ決シテ國家ノ爲ニモ、  
國民ノ爲ニモナラヌ、平時ハ私ノ言分ガ  
宜イガ、非常時ニハ爲替ノ相場ヲ維持スル  
爲ニ、無理ヲシテデモ、正貨ヲ出シテモ維  
持スル方ガ宜イト云フ考ハ、私ハ贊成シ兼  
入ガ自然ニ止ル、輸出ハ自然ニ水ノ低キニ  
流レルガ如ク出テ行ク、大藏大臣ノ仰セノ如  
ク無暗ニ日本ノ物ガ安ケレバ、外國ハ有ユル  
方法ヲ以テ日本品入ルベカラズト云フ關稅  
障壁ヲ設ケルト云フコトハ私モ承知シテ居リマ  
ス、併ナガラ必ズソレハ——此處マデ言ッテ  
良イカ惡イカ知リマセヌガ、サウ云フ關稅障  
壁ヲ設ケテモ日本品物ガ出テ行クト云フコ  
トハ申ス迄モナイ、日本ノ品物ノ値段ガ安イ  
カラ、日本ノ商品トセズニ他ノ國ノ商品ト  
シテ行ツテ居リマス、ア、云フ商品ガ出テ行  
タト云フコトハ私ハ能ク御承知デナケレバナ  
ラスト思フ、サウスルト今ハ戰時デアルカ  
ラ一層此點ヲ留意シテ正貨ヲ出サズニ、サ

ウシテ國民モ輸入ヲ自然ニ差控ヘルヤウニ  
ニナッテ、國產品ガ代用出來ル、其反面ニ於  
テハ輸出ガ盛シニナッテ行ツテ、國際貸借ガ常  
道ニ戻ル、斯ウ考ヘルノデアリマス、併シ  
マデモ宜イト思ツテ居リマシテ、動カサレヌ  
御答辯デアリマスカラ追究ハ致シマセヌ、  
本當ニ考ヘテ見レバ何年カ先ニ、アノ時ハ  
アンナコトヲ言ッタガ、ヤハリ誰某ノ言ッタ  
コトガ良カッタ云フコトニナルト思ヒマ  
ス、井上藏相ナドモサウデアッタノデス、此  
點ヲ私ハ一言申上ゲテ置キマス

ソレカラ次ハ所得稅ノ問題ニ付テ二點バ  
カリ申上ゲテ見ナケレバナラヌ、今度ノ增  
稅ニ依ツテ私ハ產業ガ阻止サレルト云フヤ  
ウナ、生産力擴充ニ全然根本的ニ違反スル  
政府ノヤリ方デアルト私ガ御尋シタノニ對  
シテ、強チサウデナイト云フ御答辯ガアッタ、  
私ハ必ズサウデアルト思フ、板谷君ガ本會  
議デ御述ニナッタヤウニ、百万圓ノ會社ガ  
百万圓儲カッタ時ノ稅ノヤウナ、殆ド常例ト  
シテナイ例ヲ引カズニ私ハ申上ゲルノデア  
リマス、資本金五百万圓ノ四分ノ一、即チ百  
二十五万圓拂込ノ會社ガ、年額所得ヲ十二  
万圓上ゲルト云フコトニナルナラバ、是ナ  
ラバ馬鹿ゲタ儲ヲスルトハ大藏大臣ノミナ

ラズ、大藏當局何人モ、マアソンナモノダ  
ラウ、ソレハ寧ロ少ナ過ギルト言ハレルダ  
ス、隨テ六分ニ計算シテ見ルト七万五千圓  
モ一厘モ入ヲストハ申上ゲナイガ、此計  
會社ニ付テ吾々ノ方デ計算シタノデスガ是  
ハ少ナイ利益ノ計算デス、百二十五万圓ノ  
法人ガ十二万圓年額ニ儲ケタ時ニ、今度設  
ケヨウト云フ支那事變特別稅デハ、資本ノ  
一割ヲ超過シナイノダカラ乙種ノ方ハ入り  
マセヌ、サウヤツテ行ツテ、稅金ガ三万五千  
三百九十九圓ニナル、サウシテ之ヲ利益ノ  
十二万圓ノ中カラ法人ガ納メタ殘額ヲ全部  
配當スル、是ハ法人デアルカラ七人以上ノ  
配當ラシテノ計算デナケレバナラヌト大藏  
當局ハ言ハレルカモ知レマセヌガ、此十万  
株ヲ七人ヤ八人デ持ツヤウナ人ハ他ニ所得  
ガアリマスカラ、一人ノ所得ガ僅ニ五万ヤ  
六万、七万、八万デハナイカラ、ヨリ以上  
ノ高率ノ所得ニナルガ、私ハ之ヲ一人ノ所  
得ガ大體外ノモノヲ加ヘテモ此程度ノ所得  
ニ無理ハアリマスマイ、アナタノ監督シテ  
居ラレル特殊銀行カラ借リテモ六分以上デ  
ラウト思フ、此程度ノ所得ヲ上ゲル會社デ  
ス、隨テ六分ニ計算シテ見ルト七万五千圓  
モ一錢一厘モ入ヲストハ申上ゲナイガ、此計  
算ニ嘘ガアルトハ大藏當局モ言ハレヌト思  
フ、マダ落チテ居ル所ガアル、私ガ言ヒタ  
イ位落チテ居ル所ガアルガ、此計算ニハ間  
違ハナイ、サウスルト自分ノ手許ニ一錢モ

残ラヌ、六千圓カラ赤字ガ出ルト云フコト  
ニナッテ、生産力擴充ガ出來、新事業ガ起ル  
ラバ、ドウ云フ所ニ事業家ハ頭ヲ置イテヤ  
ルノカ、自分ノ家ノ財產カラ六千圓ヅ、足  
デアリマセウカ、ソレデモ起ルト仰シヤルナ  
シテ行ケバ、鬼モ角モ何トカナリマセウガ、  
是デハ生産擴充ガ止マル、ソレカラ新規ノ  
事業ト云フモノハ起ラヌ、ト云フ質問ヲシ  
タノデアリマスガ、當時ノ大藏大臣ノ答辯  
デハ此點要領ヲ得テ居リマセヌ、ソレデモ  
一向差支ナイ、起ルト言ハレル點ヲ拜承致  
シタイノデアリマス

○賀屋國務大臣 是ハ各箇ノ場合デ色々ニ  
ナルト思ヒマス、大體申上ゲルノデア  
リマス、資本金五百万圓ノ二倍ニナリ更ニ  
臨時増徵デ法人ノ所得稅ハ二倍ニナリ更ニ  
北支事件稅一割増ヲ致シマシタ、個人ノ稅  
モ増シマシタノニ拘ラズ、一昨年ヨリハ昨  
年昨年モ殊ニ後半期ニ於テ、資金調整法デ

以テ所謂俗ニ謂フ不急不用ノ事業ヲ抑ヘマシタ後ノ拂込株式ノ増加ト云フモノハ非常ナル勢デアリマス、利得ノ現状ヲ見マスルノニ、斯ノ如ク重税ヲ課シタナラバ、ドウデアラウカト言ハレタモノガ、結果カラ見テ非常ニ産業ノ發展ト申シマスカ、結局株ノ發行、拂込ノ増加ニナッテ居ルノデアリマスカラ、只今ノ事情カラ生ズル利得ノ状況ト税ト兩方兼合セテ見込ノ結果ガ、アソコへ落チテ居ル状況デアリマス、此程度ニ於テ場合ニ依リマシテハ非常ニ重課ニナル場合モアルカモ知レマセヌガ、財政ノ基礎ハ算盤ガ採レテ行ッテ、相當ノ事業ノ發展ガ起ルモノハナイカト考ヘテ居リマス

○森田委員 大藏大臣ノ御答ハスウ云フ點デ違フ、アナタノ仰シヤルノハ昨年ノ末頃ハ此増徴税デ増税シタニモ拘ラズ、拂込資本モ殖エルシ、新規事業ガ多クナッタ仰シヤルカ知レマセヌガ、資金統制法ニ依ッテ拂込ハ許可ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトガ、昨年ノ臨時議會デ法律ガ通ツタコトハ私ガ言ハナクテモ御承知ノ通リデアリマス、ソコデ未拂込ヲ持ツテ居ル會社ハ、許可ニナルカナラヌカ分ラヌカラ、其法律ノ公布ノ前ノ日附デ通知ヲ出シテ置ケバ、其拂込ハ

ハ悉クソレヲヤッタ、拂込ガ多イノハ産業ガナル勢デアリマス、利得ノ現状ヲ見マスルノニ、斯ノ如ク重税ヲ課シタナラバ、ドウデアラウカト言ハレタモノガ、結果カラ見テ非常ニ産業ノ發展ト申シマスカ、結局株ノ發行、拂込ノ増加ニナッテ居ルノデアリマスカラ、只今ノ事情カラ生ズル利得ノ状況ト税ト兩方兼合セテ見込ノ結果ガ、アソコヘ落チテ居ル状況デアリマス、此程度ニ於テ場合ニ依リマシテハ非常ニ重課ニナル場合モアルカモ知レマセヌガ、財政ノ基礎ハ算盤ガ採レテ行ッテ、相當ノ事業ノ發展ガ起ルモノハナイカト考ヘテ居リマス

○森田委員 大藏大臣ノ御答ハスウ云フ點デ違フ、アナタノ仰シヤルノハ昨年ノ末頃ハ此増徴税デ増税シタニモ拘ラズ、拂込資本モ殖エルシ、新規事業ガ多クナッタ仰シヤルカ知レマセヌガ、資金統制法ニ依ッテ拂込ハ許可ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトガ、昨年ノ臨時議會デ法律ガ通ツタコトハ私ガ言ハナクテモ御承知ノ通リデアリマス、ソコデ未拂込ヲ持ツテ居ル會社ハ、許可ニナルカナラヌカ分ラヌカラ、其法律ノ公布ノ前ノ日附デ通知ヲ出シテ置ケバ、其拂込ハ

ハ悉クソレヲヤッタ、拂込ガ多イノハ産業ガ

ハ

ソ

レ

テ

居

ル

ア

ナ

タ

ハ

ス

ウ

云

フ

引

合

ハ

ス

モ

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

テ

事

業

ガ

ハ

ス

家ト云フモノハ大變誤解ヲ受ケテ、資本主義經濟機構ノ研究ヲ要スルト言ハレテ居ル、是ハ一部ノ國民ノ人ガ言ヒ、又官僚諸君ノ常ニセラレルコトデアル、ダケレドモ私ハ此産業資本家ト云フ者ガアツタカラコソ、日本ノ今日ノ産業ノ發達ヲ來シタノデハナイカト思フ、金融資本家バカリデハ、今日ノ産業ノアノ發展ハ來シテハ居ラナイト思フ、産業資本家ト云フモノハ、高イ利子ノ金ヲ借りテ來テ、危險ヲ冒シテドンヽ新規ノ事業ヲ起シテ、儲ケガ上ルカ上ラヌカ分ラヌ事業ヲ起シテ居ル、今日マデ國家ノ爲ニ相當盡シテ來タモノデアルカラ、之ヲ目ノ敵ニシヤ稅金ヲ掛ケル、常ニ産業資本家寄メノ稅金ヲ課ケルト云フコトハ、本當ニ當ヲ得タモノデハナイト考ヘル、又今度ノ稅ヲ課ケル上ニ於テモ、此普通ノ儲ケラスル者ニハ、赤字ガ出ルヤウナ稅制ヲ立てヌデモ宜イヂヤナイカ、斯ウ云フコトデアリマスガ、大藏大臣ニハ此點ハ一向分ラヌノデアリマセウカ、損ガ行ツテモ、新規事業ガ起ル、斯ウ云フ風ニ金利ノ赤字ガ出来テ、稅金ト金利ヲ拂ヘバ事業ヲヤッテモ赤字ガ出ル、此計算ハ一錢一厘モ違ヒガナイ、寧ロ少ク見テ居ル、是ハ人ニ賴ンデヤッタリマス、是ハ世間ノ言フ言葉ヲ一々信用出

リマス、ダカラ此赤字ガ出テモ、金利ト稅金ヲ納メレバ一厘モ残ラヌモ、生産擴充ニハ影響ハナイ、サウンテドンヽ新規事業ガ起ルト云フ御考ガ何處カラ出テ來ルカ御教ヲ願ヒタ、損ガ行ツテモ斯ウ云フ點ニ宜イコトガアルカラ、此事業ヲヤル人ハヤル、或ハサウデヤナイ、オ前ノ計算ハソレハ違フ、モウ少シ儲ケガ出ル、モウ少シ負擔ガ少クナル、仍テ斯ウダ、私ハ百二十五万圓ヲ以テ十二万圓ノ儲ケヲスト見テ居ルガ、モウ少シ儲ケレバ宜イヂヤナイカ、モット多ク儲ケレバ宜イヂヤナイカト云フヤウニ、ソコヲ別ケテ、分ルヤウニ御教示ヲ願ヒタ、斯ウ云フノデアリマス。○賀屋國務大臣　此株ノ値段ヲ見マシテモ、アレダケノ――昨年臨時增徵ガアリマスシテモ、一昨年ヨリ昨年ノ方ガ株ガ好イノシテモ、アレダケノ、又今回增稅案ト云フモノガ世間ニ分リマシテモ、增稅ニ依ッテ株ノ値ガ下リサウナモノデアルガ、サウデナク、稅金ガモット納メラレタ程度デアリマス、是等度デ此株ノ動キマスル、何ト申シマスカ、ハ唯一時ノ株ノ値段デハアリマセヌ、昨年カラズット見テ居リマシテ、其結果ト云フ意思ヲサウ阻碍スルモノデナイ、現ニ昨年アレダケノ增稅ヲシマスル場合ニ、日本ノガモットナモトナリマス、アノ位ニ致シマスガ、餘り急激ニ增加スルコトハ差控ヘタ方ガ宜イト云フ考ヲ持チマシタノデ、決シテ産業資本ノ方ヲ壓迫スルト云フ考モ何モナイノデアリマス、アノ位ニ致シマスガ、ドウデアラウカ寧ロ産業ノ爲ニ安イ社債デモ利用出來タ方ガ寧ロ宜イノヂヤナイモ、ドウデアラウカ寧ロ産業ノ爲ニ安イ社債デモ利用出來タ方ガ寧ロ宜イノヂヤナイカ、一流會社ナラ今ノ四分三厘ノ社債ハ出ルト思ヒマス、サウスレバ五分五厘ニ廻

リマス、ダカラ此赤字ガ出テモ、金利ト稅金ヲ納メレバ一厘モ残ラヌモ、生産擴充ニハ影響ハナイ、サウンテドンヽ新規事業ガ起ルト云フ御考ガ何處カラ出テ來ルカ御教ヲ願ヒタ、損ガ行ツテモ斯ウ云フ點ニ宜イコトガアルカラ、此事業ヲヤル人ハヤル、或ハサウデヤナイ、オ前ノ計算ハソレハ違フ、モウ少シ儲ケガ出ル、モウ少シ負擔ガ少クナル、仍テ斯ウダ、私ハ百二十五万圓ヲ以テ十二万圓ノ儲ケヲスト見テ居ルガ、モウ少シ儲ケレバ宜イヂヤナイカ、モット多ク儲ケレバ宜イヂヤナイカト云フヤウニ、ソコヲ別ケテ、分ルヤウニ御教示ヲ願ヒタ、斯ウ云フノデアリマス。○賀屋國務大臣　此株ノ値段ヲ見マシテモ、アレダケノ――昨年臨時增徵ガアリマスシテモ、一昨年ヨリ昨年ノ方ガ株ガ好イノシテモ、アレダケノ、又今回增稅案ト云フモノガ世間ニ分リマシテモ、増稅ニ依ッテ株ノ値ガ下リサウナモノデアルガ、サウデナク、稅金ガモット納メラレタ程度デアリマス、是等度デ此株ノ動キマスル、何ト申シマスカ、ハ唯一時ノ株ノ値段デハアリマセヌ、昨年カラズット見テ居リマシテ、其結果ト云フ意思ヲサウ阻碍スルモノデナイ、現ニ昨年アレダケノ增稅ヲシマスル場合ニ、日本ノガモットナモトナリマス、アノ位ニ致シマスガ、ドウデアラウカ寧ロ産業ノ爲ニ安イ社債デモ利用出來タ方ガ寧ロ宜イノヂヤナイモ、ドウデアラウカ寧ロ産業ノ爲ニ安イ社債デモ利用出來タ方ガ寧ロ宜イノヂヤナイカ、一流會社ナラ今ノ四分三厘ノ社債ハ出ルト思ヒマス、サウスレバ五分五厘ニ廻

リマス、ダカラ此赤字ガ出テモ、金利ト稅金ヲ納メレバ一厘モ残ラヌモ、生産擴充ニハ影響ハナイ、サウンテドンヽ新規事業ガ起ルト云フ御考ガ何處カラ出テ來ルカ御教ヲ願ヒタ、損ガ行ツテモ斯ウ云フ點ニ宜イコトガアルカラ、此事業ヲヤル人ハヤル、或ハサウデヤナイ、オ前ノ計算ハソレハ違フ、モウ少シ儲ケガ出ル、モウ少シ負擔ガ少クナル、仍テ斯ウダ、私ハ百二十五万圓ヲ以テ十二万圓ノ儲ケヲスト見テ居ルガ、モウ少シ儲ケレバ宜イヂヤナイカ、モット多ク儲ケレバ宜イヂヤナイカト云フヤウニ、ソコヲ別ケテ、分ルヤウニ御教示ヲ願ヒタ、斯ウ云フノデアリマス。○賀屋國務大臣　此株ノ値段ヲ見マシテモ、アレダケノ――昨年臨時增徵ガアリマスシテモ、一昨年ヨリ昨年ノ方ガ株ガ好イノシテモ、アレダケノ、又今回增稅案ト云フモノガ世間ニ分リマシテモ、増稅ニ依ッテ株ノ値ガ下リサウナモノデアルガ、サウデナク、稅金ガモット納メラレタ程度デアリマス、是等度デ此株ノ動キマスル、何ト申シマスカ、ハ唯一時ノ株ノ値段デハアリマセヌ、昨年カラズット見テ居リマシテ、其結果ト云フ意思ヲサウ阻碍スルモノデナイ、現ニ昨年アレダケノ增稅ヲシマスル場合ニ、日本ノガモットナモトナリマス、アノ位ニ致シマスガ、ドウデアラウカ寧ロ産業ノ爲ニ安イ社債デモ利用出來タ方ガ寧ロ宜イノヂヤナイモ、ドウデアラウカ寧ロ産業ノ爲ニ安イ社債デモ利用出來タ方ガ寧ロ宜イノヂヤナイカ、一流會社ナラ今ノ四分三厘ノ社債ハ出ルト思ヒマス、サウスレバ五分五厘ニ廻

リマシテモ、其若干ノ差ガ出ルヤウナ譯デ  
アリマス、ドウシテモ株式ノ方ハ五分以上  
ノ利廻リガナイト、人々ハ株ニ向キマセヌ、  
コ、デ社債ノ方モマルデ塞ガルヤウデハイ  
ケマセヌカラ、相當出來ルヤウニト者ヘマ  
シテ、社債ノ方モ、或ル意味カラ申シマス  
ト、公債ノ消化ト産業資本ノ爲ニ、今度ノ第  
二種ノ方面ノ課稅率ヲ考ヘテ居リマス、又  
現ニ色々ノ統計ヲ見マシテモ、産業資本ノ  
會社ト金融方面ノ銀行トノ利益ハ、寧ロ近  
頃ハ銀行ノ方ガ宜クナイノデアリマス、サ  
ウシテ所謂社債、公債ニ於テ課稅ガ、サウ云  
フ風ニ四分以下ニハ少クゴザイマスケレ  
ドモ、其法人トシテ出來タモノニ課稅サレ  
ル場合ニモ、是ト同ジ割合デ課稅サレテ、  
チットモ金融資本ヲ宜ク見ル譯デハナイ、金  
融資本課稅ガ低イト云フ言葉ハ、率直ニ云  
ヘバ實際ノ事實ニ當ラスト思ヒマス、其位  
ニ思ツテ居リマス、寧ロ産業ト公債ノ消化  
ハ、今ノ時ニ最モ必要ナルモノトシテ保護ス  
ルト云フヤウナ考デ居ル次第デアリマス

○森田委員 大藏大臣ノ御答辯、縷々御  
述ニナリマシタガ、私ノ問ウタ所ニドウ  
云フモノデスカ合ッテ來ヌ、株式ノ値段ガ下ラ  
ヌ點ナドノ御意見ヲ拜聽シタガ、私ノ言フ  
ノハ今度ノ稅制ニ依ッテ、具體的ニ資本金カ  
ラ利益ノ額ヲ上ゲテ、稅金ヲ引イテ、金利  
ヲ引イテ、ソレデ不足スルノガ是ダケデア  
ル理由如何ト言ウタラ、昨年稅ノ增徵ヲヤッ  
テモ株ガ下ラヌ、今度ノ增徵ヲ發表シテモ  
株ガ下ラヌ、斯ウ云フ話デアッタガ、株ガ下ル  
カ下ラヌカハ、色々ナ操作ニ依ッテ決マリマ  
ス、株價ト云フモノハ下ル時モアラウシ、  
本當ノ内容ヨリ上ルコトモアル、取引所ノ  
思惑ニ依ッテモ動クモノデアリマスカラ、之  
ヲ以テ實際ノ産業ノ資本家ノ懷ロ勘定ヲス  
リタ金ノ利子ヲ拂ッテ、稅金ヲ拂ッテ、幾ラ  
残ルカト云フ算盤ニ依ッテ、事業ヲ起シテ行  
クノデアリマスカラ、今度ノ稅制ニ依ッテヤ  
ラレルヤウニナッテ、損ガ行クヤウニナッタ  
場合ニハ、私ハ新規事業ハ少クモ起ラヌ、  
サウシテ起ス譯ガナイト云フコトヲ申上ゲ  
テ居ルノデアリマス、併シ之ヲ押シ合ウテ  
モ、此點ハ明瞭ノ答辯ハ出來ヤウ筈ガナイ、  
レテモ、恐らく此點ニ對シテ私ハ完全ナ答  
辯ハ出來ヌト思ヒマスカラ、モウ一遍大藏  
大臣ニ能ク御考ヲ願ツテ、斯ウ云フ風ニ今度  
ノ稅制ノ改革ヲヤル時ニハ、私ハ稅ハ衡平  
デアッテ欲シイト思フ、負擔ヲスルノナラ

バ、金融資本家モ産業資本家モ一般ニ衡  
平ニ負擔スルヤウニシテ行ケバ宜イ、サ  
ウシテ多少樂ミヲ付ケテヤッテ、事業ヲ  
行ツテ稅金ト金利ヲ拂フト、手許ニ何物カ  
残ルト云フ案ヲ御立テニナレバ、皆事業  
ニ專念シテ行クノデハナイカト思フノデ  
アリマス、併ナガラアナタハソコヲ御答  
辯ニナリマセヌ、私ハ大キナ資本ヲ掛ケテ  
ヲ以テ實際ノ産業ノ資本家ノ懷ロ勘定ヲス  
リタ金ノ利子ヲ拂ッテ、稅金ヲ拂ッテ、幾ラ  
残ルカト云フ算盤ニ依ッテ、事業ヲ起シテ行  
クノデアリマスカラ、今度ノ稅制ニ依ッテヤ  
ラレルヤウニナッテ、損ガ行クヤウニナッタ  
場合ニハ、私ハ新規事業ハ少クモ起ラヌ、  
サウシテ起ス譯ガナイト云フコトヲ申上ゲ  
テ居ルノデアリマス、併シ之ヲ押シ合ウテ  
モ、此點ハ明瞭ノ答辯ハ出來ヤウ筈ガナイ、  
レテモ、恐らく此點ニ對シテ私ハ完全ナ答  
辯ハ出來ヌト思ヒマスカラ、モウ一遍大藏  
大臣ニ能ク御考ヲ願ツテ、斯ウ云フ風ニ今度  
ノ稅制ノ改革ヲヤル時ニハ、私ハ稅ハ衡平  
デアッテ欲シイト思フ、負擔ヲスルノナラ

バ、金融資本家モ産業資本家モ一般ニ衡  
平ニ負擔スルヤウニシテ行ケバ宜イ、サ  
ウシテ多少樂ミヲ付ケテヤッテ、事業ヲ  
行ツテ稅金ト金利ヲ拂フト、手許ニ何物カ  
残ルト云フ案ヲ御立テニナレバ、皆事業  
ニ專念シテ行クノデハナイカト思フノデ  
アリマス、併ナガラアナタハソコヲ御答  
辯ニナリマセヌ、私ハ大キナ資本ヲ掛ケテ  
ヲ以テ實際ノ産業ノ資本家ノ懷ロ勘定ヲス  
リタ金ノ利子ヲ拂ッテ、稅金ヲ拂ッテ、幾ラ  
残ルカト云フ算盤ニ依ッテ、事業ヲ起シテ行  
クノデアリマスカラ、今度ノ稅制ニ依ッテヤ  
ラレルヤウニナッテ、損ガ行クヤウニナッタ  
場合ニハ、私ハ新規事業ハ少クモ起ラヌ、  
サウシテ起ス譯ガナイト云フコトヲ申上ゲ  
テ居ルノデアリマス、併シ之ヲ押シ合ウテ  
モ、此點ハ明瞭ノ答辯ハ出來ヤウ筈ガナイ、  
レテモ、恐らく此點ニ對シテ私ハ完全ナ答  
辯ハ出來ヌト思ヒマスカラ、モウ一遍大藏  
大臣ニ能ク御考ヲ願ツテ、斯ウ云フ風ニ今度  
ノ稅制ノ改革ヲヤル時ニハ、私ハ稅ハ衡平  
デアッテ欲シイト思フ、負擔ヲスルノナラ

リニナル、是モ私ガ言ハナイデモ諸君ガ皆御承知デアル、皆拂フ方ノ調書ヲ稅務署ガ取ツテ置クカラ、申告セヌデモ誰ガ何ボヲイテ吳レナイ、收入其儘ヲ課シテ行ク、是ハ大藏大臣能ク御聽キ下サイ、全國ノ多勢ノ人ニ關係スル問題ダト思フ、此免稅點ヲ引下ゲタコトハ、當ヲ得タヤリ方デハナイ、サウ云フヤウナ生活ガ出來ルカ出來ヌカノ所カラ迄稅金ヲ取上ゲナケレバ、今國家ノ財政經濟ガ立ツテ行カヌト云フ場合デハアリマセヌ、ドウセ借錢序デ、ドウセ公債ノ發行シ序デアリマス、但シ此間大臣ハ五十億百億モ一錢一厘カラト仰シヤツタ、成程五十億百億ト云フ金モ一錢一厘カラ積ンデ行カナケレバ、ソレニ達セヌコトハ私モ肯定スルガ、四五十万人ノ中流ノ生活トハ言ヘナイ、寧ロ一番低イ方ノ生活ニ屬スル程度ノ者カラ、一人平均十圓ノ所得稅ヲ取ルト云フコトハ、考慮シナケレバナラヌ問題デハナイカ、ソレカラ又斯ウ云フコトモ考ヘル、現在地方ニ依ツテハ、アルカラ、今度國ガソレヲ取上ゲルコトニナルト、地方ノ財源ニ不足ヲ來スヤウニナ

ル、サウスレバ勢ヒ地方財政調整交付金ヲ  
諸君ガ皆認メテ居ラレルノデアリマス、サウス  
ルト、一方ノ手デ四百万圓ヲ細民階級カラ  
取上ゲテモ、其地方ノ財源ヲ補フ爲ニ、ヨリ  
以上ノ交付金ヲシテ行カナケレバナラヌコ  
トニナツテ、結果ハ私ハヤハリ國庫ノ經濟ノ  
足シニハナラスト思フガ、大藏大臣ハ一體  
ドウ考ヘラレルカ、ソレカラ先程ノ申告ノ  
問題デスガ、申告シナケレバ御引キナサラ  
ヌノハ決ツテ居リマス、併シ申告セヌデモ御  
引キナサルト言ハレルノナラバ、是ハ結構  
デス、扶養トカ若クハ保険料トカハ申告ガ  
ナクテモ引イテヤルト云フコトガ本當ナノ  
デス、所ガサウデハナイ、黙ツテ居レバ、申  
告セヌ者ハ其儘ドンヽ取ラレル、ソレカ  
ラ今マデ質疑應答ヲ聽イテ居ルト、此間勤  
シヤッタガ、私ニハ全掛デ來テ居ル、私ハ引  
スルト、稅務署ニ依ツテ引ク所ト引カヌ所ガ  
アルノカ、是ハ怪シカラヌコトダト思ツテ驚  
イテ居ル、如何デスカ

アインノデアリマス、特別所得稅ヲ課ケテ  
ル市モアリ、課ケテナイ市モアリ、區々デ  
アリマス、ソレヲ今度國デ取リマシテモ、  
唯國ト兩方デ取ルト重過ギルト云フノガア  
リマスルカラ、其點ヲ或ル程度地方ノ方ヲ  
輕クスルコトニ致シマス、サウ致シマスト、  
地方ノ方ハ財源ガ足リナクナリマスカラ、  
補給金ヲ出スノデアリマシテ、ソレダケノ  
モノハ詰リ地方稅トシテハ減稅サレルノデ  
アリマスカラ、四百万圓ヲ取シテ置イテ、又  
出シテ空ニナシテシマフト云フヤウナ關係  
ニハナラナインノデアリマス、其點ハ四百万  
圓取シテ、地方デ何十万圓カ減稅ヲサレマス  
カラ、ソレダケノ補給ヲスルト云フコトニ  
ナルノデアリマシテ、結局地方稅ト國稅ト  
ヲ合シテ高過ギルヤウナ區々ノモノガ、  
ソレダケ減ル譯デアリマスルカラ、負擔ノ  
上カラ言ヘバ、全國的ニハ今ヨリ餘程衡平  
ニナルノデアリマス、ソレカラ千二百圓未  
満千圓迄ノ間ノ人カラ所得稅ヲ微ルノハ、  
洵ニ氣ノ毒デアリマスガ、今森田サンノ仰  
シヤルヤウニ、上ノ方モ隨分キツクナリ、  
途中ノ方モ相當増スノデアリマシテ、上ノ方、眞  
般ニ負擔ガ及ブノデアリマシテ、詰リ一

レバ一千二百圓未満ノ人モ或ル程度マデヘ、  
輕少ナ負擔ヲシテ貰フコトガ釣合モ得マス  
シ、此際トシテ銃後ノ御奉公ノ點カラモ適  
切デハナイカ、斯ウ云フ考ヲ致ス者デアリ  
マス、ソレカラ今ノ所得ノ申告ノ點デアリ  
チマスケレドモ、ドウモ所得ノ申告トカ控  
除ノ申請トカ云フヤウナコトハ、文明國民  
トシテ段々ニ皆ガヤラナケレバナラヌコト  
デアリマスノデ、是ハ始終ソレヲ勸奨スル  
コトニ努メテ居リマス、稅務當局ノ方デモ、  
ソレハ種々勸メテ居リマスルシ、國民ノ方  
ハ各會社トカ其他ノ方面ニ非常ニ多イコト  
デアリマスルシ、尙ホ御趣旨モアリマスル  
カラ、十分ニ申告ノ徹底ヲ期スルヤウニ、  
私共ノ方デモ此際出來ルダケ努メマス、併  
シ之ヲ申告シナイカラト云ッテ、サウ云フ控  
除スベキモノモ稅ヲ取ツテ喜ブト云フヤウ  
ナ考ハ、毛頭ナイノデアリマス、出來ルダ  
ケソレガ衡平ニ參リマスヤウニ、努メタイ  
ト思ヒマス、尙ホ勤勞所得ノ八掛云々ノ御  
話デアリマシタガ、是ハ確カ稅法ニ何千圓  
除トカ云フ規定ガアルト思ヒマス、ソレニ  
依ツテヤッテ居ルノデアリマシテ、其金額以

上ニナリマスルト、控除ガナイノデアラウ  
ト思ヒマス、尙ほ詳細ハ主税局長ヨリ申上

○大矢政府委員 第三種所得ノ申告ヲ爲シ、更ニ扶養控除、保険料ノ控除ノ申請ヲ

サンノ御注意ノアツタ點ハ、萬遺憾ナキヤウニヤリタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ勤勞所得ノ控除ハ、一万二千圓以上ノ所得ノアル人ニハ、一割二割ノ控除ハ致シテ居リ

リ負擔ヲサセル、大キイ所ヘ大キイヤウニ、中位ノ所ヘハ中位ノ負擔ヲサセタノデアルカラ、此千二百圓以下千圓以上ノ者ニモ負擔ヲサセレバ、衡平ニナルト云フヤウナコ

テ居ルガ、税額ハ別ニ言ハナイガ、二ツヲ  
合セタモノノ税額デ宜カラウ、併ナガラ  
本年ハ基本年度ハ一ツニシタラ宜シイト思  
フ、課税ヲスル方モ、受ケル方モ面倒デア

シテ、其適用ヲ受ケテ居ル者ニ付テ申上ダ  
マス、昭和十一年分ニ付キマシテ、納稅者  
デ扶養控除ノ申請ヲ致シマシテ、其適用ヲ  
受ケテ居ル者ハ二十五万人以上ニナッテ居  
リマス、ソレカラ保険料ノ控除ヲ受ケテ居  
ル者ハ三十六万餘ニナッテ居リマス、納稅者  
ハ約百万人位デゴザイマス、ソレデ御承知  
ノ通リ扶養控除ヲ受クル者ハ三千圓以下ノ  
者ニ限ルノデアリマス、ソレカラ控除ニ  
依ッテ失格シタ者——今ノヘ納稅者ニ付テ  
デアリマスガ、控除ニ依ッテ失格シテ居リ  
マスノハ、扶養控除ノ關係デハ十五万餘  
人、ソレカラ保険料ノ關係デハ約四万五千  
人、斯ウ云フヤウナコトニナッテ居リマシテ  
テ、相當申告モ致シ、又控除ノ規定ノ適用  
モ受ケテ居ル次第デアリマス、尙ホ今回免  
稅點ヲ引下ゲマシテ、千圓以上ノ所得者ハ  
テ從來所得ノ申告、申請ニ慣レテ居ナイ方  
ガ、多數此適用ヲ受クルコトニナリマスカ  
ラ、此點ハ特ニ本年ハ注意致シテ、今森田

○森田委員 時間ノ關係ガアリマスカラ、  
政府委員ノ御方ニハ又何レ御尋スルヤウニ  
ナラウト思ヒマスカラ、ドウゾ大臣ダケノ  
答辯デ結構デス、今晚ハ他ノ御方ニ御迷惑  
ヲ掛ケルト思ヒマスカラ……今ノ免稅點ヲ  
縷々御述ニナリマシタガ、是ハ此處ヘ御配リ  
ニナツテ居ル資料ニ依ルト四百万圓デ四十  
万人ノヤウニナツテ居ル、地方稅ヲ何ボ減ス  
ト云フコトハ、此際私ヘ申サナイ、何レニ  
シテモ此際七十億、八十億ヲ支出スル中カ  
ラ、四百万圓ノ金ヲ得ル爲ニ免稅點ヲ引下  
ゲヌデモ、宜シイデハアルマイカト思フガ、  
如何ト云フ質問ニ對シテ御答ガ今アツクノ  
デアリマスガ、重ネテ追究ハ致シマセヌ  
ガ、此點ハ併ナガラ政府ニ於テモ、此稅ヲ  
決定スル迄ニハ、深甚ノ考慮ヲ御願シタイト  
思ツテ居リマス、ソレハ私ハ此場合デアリ  
非常時デアレバコソ此程度ノ階級ノ所ヘ負  
擔ノ、ヨリ以上ノ増加ヲサセヌガ宜イ、今モ  
大藏大臣ハ收入ノ少イ所ノ者ヘモ、ヤハ

サウ考ヘラレナイコトモナイガ、併ナガラ  
千二百圓以下千圓以上ノ人デモ、酒モ飲メ  
バ、煙草モ吸ヒ、此物品稅デ課スル、間接稅、  
消費稅ハドンナ人デモ負擔スルノデアルカ  
ラ、今度ノ此支那事變ニ依ッテ惡イ意味デ増  
稅ノオ蔭ヲ受ケヌ者ハ一人モナイ、デアル  
カラ千二百圓ノ免稅點ヲ千圓ニ引下ゲタコ  
トハ、私ハドウモ直チニ是ハ良イ政策デア  
ルト、同意シ贊成シ兼ネルノデアリマスカ  
ラ、一ツ深甚ノ考慮ヲ願ヒタイ、是ハ意見  
ヲ一致サセタカツタノデアリマスガ、大  
藏大臣ハ何ト考ヘラレタカ、同意ノヤウ  
ナ意味ノ御返事ガナカツタ、甚ダ遺憾デア  
リマスガ、御考慮ヲ願ツテ置キマス、ソ  
レカラ今度ハ是モ一致シナケレバナラヌト  
思フノデアリマスガ、臨時利得稅ノ問題デ  
アリマス、即チナゼ此基本年度ヲ二ツモ  
御作リニナツカト云フコトデアリマス、  
昭和四、五、六年ヲ、今度ハ九、十、十一  
年ト基本年度ヲ二ツ御作リニナツテ居リ、  
甲種、乙種ト云フヤウナ面倒ナコトヲヤツ

當ナ基本年度ヲ設ケテ、ソレヲ持タヌ者ニ  
ハ相當ナ計算方法ヲ設ケレバ出來ルノデア  
リマスカラ、此基本年度ヲ二ツモ拵ヘタ點  
ガ私ハ甚ダ遺憾ニ思フ、基本年度ノ決定ニ  
對シテハ、太田政務次官ハ此前私ガ質疑應  
答ヲヤツタノデ、御承知デアラウト思フガ、  
中々面倒デ、是ハ衡平ナ案ヲ得ラレルモノ  
デハナイ、今度デモ、昭和四、五、六年カ  
ヲ繼續シテ、營業シテ居ル人ガ非常ニ免レ  
ル、大藏大臣ハ負擔ヲ免レル者ト、免レザ  
ル者ガアルト云フ質問ニ對シテ、免レル者  
ハナイト仰シャイマシタガ、是ハ本會議デ  
アツカラ深ク追究致サナカッタ、併シソレ  
ハ免レマス、昭和四、五、六年ノ基本年度  
ヲ持ツテ居ル者ハ、ソレヲ持タザル者ヨリ  
モ利益ノ率ガ多イ、是ハ議論ノ餘地ガナ  
イ、資本ニ對スル七分以上、若クハ今度ノ  
資本ニ對スル百分ノ十以上ト云フヤウナ基  
本年度ヲ持タザル者ノ是カラ負擔スル稅  
ト、四、五、六年ノ基本年度ヲ持ツテ居ル  
者トノ負擔ハ大變差ガアル、隨テ其基本年

度ヲ持タザル者が負擔ガ多クナル、此基本年度ヲ持ツテ居ル者ハ、大變免レル、之ニ對スル大藏大臣ノ答辯ハ、當時ノ速記錄ヲ御覽ニナッテモ分ルガ、要領ヲ得ナイ、ソコデ私ガ御尋申上ゲルノハ、斯ウ云フ複雜多岐ナ方法ニ依ラズニ、之ヲ基準年度ヲ一つニシテ、稅額ガ納マル所ニ納メルヤウニスル御考ハ、大藏當局ニアリマセヌカ、率直ニ御尋申上ゲタイ

○賀屋國務大臣 仰セデアリマスガ、ドウモ前ノ御話ノ、一方ハ免レテ一方ハ免レヌト云フコトハ、私ニハ分リマセヌ、私ハ同ジデアラウト思フ、詰リ四、五、六年カラヤツテ居リマス人ハ、其平均利益以上、ソガ課セラレル、一割以上ニナレバ乙種ガ課セラレル、其後ノ人モ同ジデアリマスカト思ヒマス、尙ホ是ハ詳シク伺ヒマセヌト分リマセヌ、サウ云フ次第デアリマスカラ、利得稅ハズツアレデ行ツテ居リマシタノデアリマスガ、此際臨時ノコトデアリマスシ、實際ノ事變利得ニ付テ課稅スルノガ主デアリマスカラ、ソレハソレトシテ置イテ、此九、十、十一年ノ平均以上ノモノニスル、是ハ少々面倒デハアリマス

今度課稅スル、是ハ少々面倒デハアリマスガ、ドウモ是ハ計算ノコトデアリマスカラ、私ハ已ムヲ得ヌト思フ、其方が寧ロ平衡ニナッテ、間ニ色々ナモノヲ置キマシタスルニハ、却テ其方ガ工合ガ惡イノデハナシカト思ヒマス、其別ノ案ガ今アリマセヌノミ、ソレヲ批評スルコトハ差控ヘタイト思ヒマスガ、今提案ノ儘デ差支ナイト思テ居リマス

○森田委員 私ノ説明ノ仕様ガ惡イノデ、大藏大臣ノ頭ニ入り兼ネルコトハ遺憾ニ思ヒマスガ、斯ウ云フノデアリマス、昭和四、五、六年ト云フ基本年度ヲ持ツテ居ル事業家、個人デアラウト法人デアラウト、其四、五年ノ平均利益ヨリモ、多ク儲ケタ者ニ對シテ課稅ヲシテ行ク、隨テ昭和四、五、六年ノ平均利益ガ一割儲ケテ居ル者ハ、基準年度ヲ持タザル者ヨリモ三分ノ儲ケヲスルコトガ御分リニナリマセウ、基本年度ヲ持タザル者ハ七分以上ニ對シテ納御趣旨ハ分リマシタ、ソレハ利得稅ノ方デモサウデアリマスシ、免レルノヂヤナイ、正シマシタ爲ニ起ル現象デハナイ、元々其者ノ以前ノ利益ヨリモ以上ニ利得シタモノサウ云フ性質デアリマス、今度ノ稅法ヲ改テ対象トシテ課稅スルト云フノデアリマスガ、此ノ以前ニモアリマスカラ、ソレハ公平デアッタノデアルカラソレハ公平デアッタカノ如キ大藏大臣ノ答辯デアリマスガ、前ニアッタコトハ私モ承知シテ居リマス、前ニサウ云フコトニ決メタノガ、今度研究シテ見タ結果ガ惡イカラタノガ、此點ハ免レヌ、基本年度ヲ持ツテ居ルモノハ一割儲ケテ居ラウト二割儲ケテ居ラウト、其平均利益カラ今度ノ利益ヲ差引イテ多ク儲ケタモノダケヲ取ル、併シ基本年度ヲ持

大抵御分リニナラナケレバナラスト思ヒマス、ソレカラ此前ノモノモ今度ノモノモ、利得稅ヲ納メレバ宜イデヤナイカト云フガ、此前ノモノト今度ノモノト違フデセウカ、私ハ此前ノ利得稅ヲ納メル人ガ、今度ノ利得稅ヲ納メルノダト思フ、若シ此前ノソレハ商賣ニ損失ヲ來シタカ、廢業シタ人ヲ納メテ今度ノラ納メナイト云フナラバ、ソレハ商賣ニ損失ヲ來シタカ、廢業シタ人デ、之ニハ關係ガナイ、サウデナイ限り前ノヲ納メル人モ、今度納メル人モ、同一人デアルト見ナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、前ノ人ト今度ノ人トハ別々ノヤウニ御話ニナルノハ、少シ違フノデヤナイカ、或ハ私ノ方ガ違フカモ知レマセヌガ、私ハサウ云フ考デアル

○賀屋國務大臣 今ノ免レル免レヌト云フ御趣旨ハ分リマシタ、ソレハ利得稅ノ方デモサウデアリマスシ、免レルノヂヤナイ、正シマシタ爲ニ起ル現象デハナイ、元々其者ノ以前ノ利益ヨリモ以上ニ利得シタモノサウ云フ性質デアリマス、今度ノ稅法ヲ改テ対象トシテ課稅スルト云フノデアリマスガ、此ノ以前ニモアリマスカラ、ソレハ公平デアッタノデアルカラ――サウ云フ關係ニ前アッタノデスカラ、七分以上ニアッタノデアリマスカラ、ソコニ免レル者ト免レザル者トガ出來テ來テ、衡平ヂヤナイ、斯ウ云フノダカラ私ハナッテ居リマセヌシ、此ノ關係ハ今度ノ稅法

押ヘル、非常ナ不合理デアル、此人達ヘ新規ノ事業ヲヤツテ是カラ芽生エナケレバナラヌモノヲ一層苛酷ナ扱ヲスルコトニナリガ、新シイ事業ヲ行フモノ、今漸ク雙葉ノ吾々ノ考ハ大藏省ノ考ト違フカモ知レナイ芽ヲ出シタモノヲ、一層培養シテ行クニヘ、成長サスヤウニ寧ロ其反対ノ方法ヲ執ラナケレバイケナイデヤナイカ、積立金ヲ持ッテ居ル利益率ノ多イ者ハ免レル、新規ノ者ハ免レザルヤウニシテ餘分ニ取ッテ行クト云フコトハ公平デナイ、ダカラ今度ノ改正ヲ機会ニ、私ハサウ云フ風ナモノガ出ルデアラウト思ツテ居ッタノニ、一向要領ヲ得ナイヤウナ……私ノ問ヒヤウモ惡イノデアリマセウガ、一向要領ヲ得ラレナイコトヲ遺憾ニ思ヒマス、ソコデ人間ガ一人ダト云フコトヲ御承知下サレバ宜イ、人間ガ前ノ臨時利得稅ヲ納メル者モ、今度ノ利得稅ヲ納メル者モ同じト云アナラバ、同じモノハ金額ヲニツニシナイデ、ツニシテ納メレバ宜イデハナイカ、斯ウ問ウテ居ルノデアリマスガ、其點ハ如何デアリマスカ

利得税ヲ又致シマスルコトニ於テ私ハマダ  
宜シイト言フ、又今度ハソレ以上ノ事變利  
得ト云フモノニ課稅ヲスル意味デアリマス、  
ニツアリマシテ差支ヘ毫モナイト思ヒマス、  
尙ホ七分以上ハ新シイモノニ對シテハ如何  
カト云フ御話デアリマスガソレハ只今ノ觀  
念トシテ七分ノ利益ガアリマス場合ニハ、  
ソレヲ越シマスモノノ若干ヲ取ッテモ是ハ  
高イ利益デアルカラ宜イデヤナイカト云フ  
コトデアリマス、ソレカラ基本年度ニ於テ  
ソレ以上ノ利益ガアッタモノヲドウスルカ  
ト云フコトデアリマスガ、是ハ既ニ其位當  
時ニ於テ収益力ノアッタ優良ナ會社ナシデ  
アリマス、隨テ會社ノ株ノ評價トカ、色々  
ナ經濟事情ト云フモノハソレダケノ力ガアッ  
タモノトシテ出來テ居ルノデアリマスカラ、  
ソレヲ當時七分以下ノ利益ガアッタモノト  
待遇シマシテハ是亦非常ナ偏頗ナコトニナ  
ルトスウ思フノデアリマス、是ハ別ニ當時  
御協贊ヲ經タカラサウ云フ理窟ガ宜イト云  
フコトニ強ヒテ申上ガルノデハアリマセヌ  
ケレドモ、當時ノ事情ハヤハリ考ヘナケレ  
バナラヌト思ヒマス、今度ノ一割ニ致シマ  
シテモヤハリソコハ同ジヤウナ考ヘ方デア  
リマス

ト時間ガ掛リマスカラヤリマセスガ、兎ニ  
角基本年度ヲ二ツニシテ行クコトハ却テ不  
公平ニナル、是ハ政府委員ノ御方トデモユッ  
クリ——ユックリト云フ譯ニモ行クマイガ、  
私ハ此點ハ一ツ大藏省ニ御考慮願シテ、臨時  
利得税ト云フモノヲ基本年度ヲ二ツニスル  
コトハ宜クナイ、是ハ一ツニ單純化シテ行ク方  
ガ宜イ、税率モ適當ナ、中間ヲ執レバ宜イ、年  
度モ中間ヲ執レバ宜イ、政府ノ收入ニモ害ノ行  
カヌヤウニ、計算ヲ單純化シテ行カウト云フ  
ノデアリマスカラ、餘リ意地張リノコトヲ仰  
シヤラズニ、一ツ御考覈ヒタイト思ヒマス、  
次ハ物品稅ノ問題ヲ御尋致シタイ、是モ簡  
單デアリマス、簡單過ギテ寧ロ分リニクイ  
コトニナルノデアリマスガ、物品稅ノ稅率  
ガ高イ、併ナガラ政府ハ豫算モ衆議院ヲ  
通ツテ居ル、貴族院モ近々通ルノデアルカ  
ラ、アレダケノ收入ガナイト困ルト言ハレ  
ルデセウ、其點私ハ御同感申上ガル、サウ  
スルト物品稅ノ稅率ヲドウスレバ宜イカ、  
私ハ極ク簡単ナ問題ダト思フ、物價ガ高ク  
ナルト云フ折柄デアルカラ、物品稅額ハ累ヲ  
及ボサヌヤウニシタラ宜カラウ、ソレニハ  
ドウヤルガ宜イカ、假ニ樂器稅ノ如キモ、

ラウ、二挺賣<sup>ツテ</sup>三割<sup>デ</sup>アル、所ガ一割五分上<sup>ゲタノ</sup>デハ買フ人ガ控ヘルヤウニナッテ、古イ物ヲ修繕シテ辛抱シヨウト云フコトニナル、若シ之ヲ假ニ一割ニ下<sup>ゲ</sup>テ行<sup>ツ</sup>テ三挺賣ラスヤウニスレバ、税率ハ同ジヤウニ三割入<sup>ル</sup>、是ハ單リ三味線ニ限ラナシ、何デモサウデス、總テノ點ニ於テ物品ニ高率ナル稅ヲ課ケルコトハ物價ヲ上<sup>ゲル</sup>ノミデアッテ、大衆消費者ノ爲ニナラザルノミナラズ、國家全般ノ政策ノ上ニ累<sup>ヲ</sup>及ボス、詰リ上<sup>ラ</sup>ナイデ宜イ物マデモソレニ連レテ上<sup>ツ</sup>テ來ル、自然消費者ハ不利益ニナッテ來ル、ダカラ物品稅ト云フモノハ適<sup>ニ</sup>當ニ、ソレハ中ニハ下<sup>ゲ</sup>ナイ方ガ宜イ物モアリマセウガ、又大衆生活ニ必要ナ物ハ下<sup>ゲ</sup>テ宜イ物ガアルノデハナイカ、外ノ物ニ連レテ上<sup>ツ</sup>テ來サウナ物ハ下<sup>ゲ</sup>テモ宜イ、併シ稅率ヲ下<sup>ゲ</sup>テモ販賣ノ數量ヲ相當ニ見究メテ、高ヶレバ一ツシカ買ハナイ物モ安ヶレバ一ツ買フト云フコトモアリマセウ、稅率ヲ下<sup>ゲ</sup>テモ稅額ニ影響ガナカツタナラバ、斯其方ガ政策上國家ノ爲ニナリハセヌカ、斯ウ言フノデアリマス、此點ハ大藏大臣ハドウ御考ニナリマスカ

○賀屋國務大臣 今ハ御説アリマスル  
ガ、物價ニ對スル影響ハ色々考ヘテ居リマ

第六類第六號 臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄

第十二回 昭和十三年三月三日

ス、併シ三分ヤ五分高クナリマシタノデ  
ハ、ハツキリ分ラヌ場合デモ、一割、一割五  
分ト云フ風ニ上リマスレバ、サウ隨イテ上  
ラヌト云フコトモアリマセウ、更ニ又相當  
ナ金額デアリマスト、急ニ引上ガル譯ニ行  
カヌト云フヤウナ作用モアリマシテ、此事  
ハ私ハ主張致スノデヘアリマセヌガ、必シ  
モ森田サンノ御説ノヤウナ結果ニナルトモ  
思ハナイノデアリマス、ソレカラ又税率ヲ  
下ゲテ數量ガ増セバト云フ御話デアリマス  
ルガ、今アレニ依ッテ非常ニ消費ヲ極端ニ  
抑ヘルト云フ作用ハ、ソレ程ニハ思ッテ居  
ラヌノデアリマスガ、税率ヲ半分ニシテ賣  
ル物ガ二倍ニナルト云フコトモ如何デアリ  
マセウカ、又只今ノ消費減ノコトニ致シマ  
シテモ、現在賣レテ居リマスアノ程度ノ五  
割減トマデ、強ク見テハ居リマセヌノデ、  
税率ヲ減ジマシテ收入ヲ得ルト云フ行キ方  
モ、困難デハナイカト考ヘテ居リマス

○森田委員 大藏大臣ハ悉ク意見ノ一致ヲ  
致サヌヤウニ仰セニナリマスガ、一ツヤ二  
ツハ意見ノ一致スルヤウニ願ヒタイ、税率  
ノ點ハ私ハ是レ以上押問答ハシマセヌガ、  
ニアリマセヌ、物ニ依ッテハ物品ノ税率ヲ  
下ゲレバ相當稅額ニハ關係ノナイヤウニ數

量ノ方ガ殖エテ行クカラ、政府ノ收入ニ  
累ヲ及ボサズニ、消費者ニハ多少ノ利益ト  
言フカ、便宜ヲ與ヘルコトガ出來ル、政府  
モ困ラズ、國家モソレニ依ッテオ蔭ヲ受ケル  
コトガ出來ル、物價ノ操作ニモ非常ニ好都  
合デアルト思ヘバ、私ハ此物品ノ税率ヲ政  
府ハ固執セヌデモ宜カラウ、斯ウ云フ質問  
ヲシタノデアリマスカラ、一ツ能ク御考慮  
ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラモウ二三點、今度ハ簡單デス、  
斯ウ云フ事ヲ一ツ聞イテ見タイ、是ハ外ノ  
人達ハ御聞キニナラヌデセウ、私ガ承ル位  
ノコトカモ知レマセヌガ、課稅ノ方法ニ無  
理ガアルト云フコトヲ私ハ聞クノデアリマ  
ス、先ヅ第一ニ一ツ、外ノ人ノ例ヲ取ツタ  
ノデハ委員諸君ノ御考モドウカト思ヒマス  
カラ、吾々ノ身上ニ關スル事ヲ例ニ取ツテ  
申シマス、議員ガ召集サレテ議會中此處ニ  
來テ滯在スル期間ハ、凡ソ百日間アル、之  
ニ對シテ旅費ヲ御拂ヒニナツテ居ルガ、宿  
泊料車馬賃ハ御拂ヒニナラヌ、然ルニ一方  
吾々ハ「バス」ヲ貰ツテ居ニモ拘ラズ汽車賃  
ヲ御拂ヒニナル、アレハドウ云フ譯カ、片ツ  
ラヌデモ、汽車賃ノ方ハ「バス」ガアルカラ之  
方ニ無料乗車ノ「バス」ヲ與ヘ、其上ニ汽

ヲ拂フコトハ二重ダカラ拂ハヌデモ宜イト  
思フ、尤モ地方官ナドハ皆「パス」ヲ貴ヒ、而  
モ一等ノ旅費ヲ貰ツテ居ル、非常ニ矛盾シ  
テ居ル、ケレドモ地方官ガ來ルト宿泊料モ  
藏省ノ豫算ノ都合デナイノカ、他ニ譯ガ  
アツテナイノデスカ

諸君モ笑ハズニ聽イテ貰ヒタク、私ハ此點  
ハ大藏省ノヤリ方ニ不合理ガアルト思フカ  
ラ聞クノデ、滯在旅費ガ欲シイト云フノデ  
ハナイ、大藏大臣ノ仰シヤツタノデ能ク分  
ル、議員ニハ歳費ヲ拂ツテアルカラ歳費デ  
賄ヘバ宜イヂヤナイカ、成程百日間滯在ス  
レバ、三千圓貰ヘバ一日三十圓、併ナガラ  
是デハ逆モ足リマセヌヨ、今日ハ相當ニ出  
費ガ要ルノデスガ、足リル足リナイハ別ニ  
シテ置ク、サウスレバアナタノ言フ歳費ト  
云フモノハ俸給トハ違フノダ、違フカラ之  
ヲ旅費、宿泊料、車馬賃ニスレバ宜イヂヤ  
ナイカト云フコトハ、ソレハ肯定シマセ  
ウ、サウスルト三千圓ニ對シテ所得稅ヲ御  
取リニナルノハドウカ、三千圓ニ對シテ、  
生活ノ足シニスルモノト見テ俸給ト同様ニ  
稅ヲ御取リニナルノハドウ云フ譯デスカ、  
サウ云フ時ニハ又俸給ト同様ト云フ御答辯  
ニナルカモ知レマセヌガ、ソレハイケマセ  
ヌ(笑聲)是ハ歲費ト云フモノハ俸給トハ違  
フモノダ、性質ヲ異ニシテ居ルカラ、ソレ  
ガ謂ハゞ旅費ミタヤウナモノダト仰シヤレ  
バ、ソレハ私ハ肯定スル、サウデアリマセ  
ウ、併ナガラ之ヲ俸給竝ミニ歳費ニ對シテ  
所得稅ヲ取ルト云フコトハ不公平デハナイ

カト思フ、今大藏省ノヤルコトハ少シ苛酷ニ過ギハセヌカト云フコトヲ質問スルノデアリマス、兎ニ角税ト云フモノハ衡平デナケレバナラヌ、地方長官ガサウ云フ乗車券ヲ貰ッテ居ツテ、其上ニ汽車賃ヲ貰ッテ、ソレニ對シテ——其處ニハ稅務署ニ出ラレル人モ澤山アルカラ御承知ダラウガ、之ニ對シテ税ヲ取ツテ居リマセヌ、官吏ガ幾ヲ旅行シテナンボ取ラウトモ、此旅費ニ對シテ少シモ税ヲ課シテ居ナイ、スルト旅費ト同ジヤウナ意味デ、歲費ヲ御拂ヒニナッテ居ルモノナラ、之ニ所得稅ヲ課スルト云フコトニハ無理ガアルト思ハレマスカ、思ハレマセヌカ

○賀屋國務大臣 是ハドウモ所得ト云フモノハ、私ハ中々難シイト思ヒマス、月給ヲ拂ツテ居ル人デモ、外交員ノヤウナ、割合ニ著物ニ掛ル、足ニ掛ルト云フ時ニ、サウ云フ足代トシテ拂ハズニ、月給ヲ殖シテソレヲ埋メテ居ルノモアリマス、是ハ月給ハ三百圓ダケレドモ、交際ハ千圓並ミノ交際ヲシナケレバナラヌ、サウ云フモノヲ合セテ四百圓ヤツテ居ル時ニ、三百圓ガ月給百圓ガ實費デアルガ、中々是ハ總テノ俸給の所得ニハ困難ナ點デアリマス、私ハ正直ニ申上ゲマシテ今歲費ニ付テノ御議論ニ

付テ、必ズ所得稅ヲ取ルノガ理論上良イカニ貰ッテ居ツテ、其上ニ汽車賃ヲ貰ッテソレニ對シテ——其處ニハ稅務署ニ出ラレル人モ澤山アルカラ御承知ダラウガ、之ニ對

シテ税ヲ取ツテ居リマセヌ、官吏ガ幾ヲ旅行シテナンボ取ラウトモ、此旅費ニ對シテ少シモ税ヲ課シテ居ナイ、スルト旅費ト同ジヤウナ意味デ、歲費ヲ御拂ヒニナッテ居ルモノナラ、之ニ所得稅ヲ課スルト云フコトニハ無理ガアルト思ハレマスカ、思ハレマセヌカ

○森田委員 私ハ稅金ヲ納メルノガ大儀ダトカ何トカ言フノデナイ、課稅ノ方法ニ無理ガアルト云フコトヲ申上げテ居ルノダカラ、政府委員ニ御聞キニナラヌデモ、アナタノ常識ニ依ツテ、是ハ成程歲費ト云フモノハ旅費並ミノモノダ、隨テ生活ノ資料ニハナラヌモノダ、一家ノ暮シ向ニ足ス金デ

ハナイト云フ風ニ考ヘレバ、政府委員ニ御相談ニナラナイデモ、成程是ハ旅費ニ相當スルモノダ、隨テ所得稅ヲ課稅スベキモノデハナイト云フコトガ御分リニナリハセ

デハナイト云フコトニナッテ居リマス、併ナガラ退職手當ト云フモノノ中ニハ、二通リアル、恩給ガ付イテ居ツテ退職手當ヲ貰フモノト、恩給ガ付カズニ恩給代リニ貰フモノトアル、其恩給代リニ退職手當ヲ五千圓ヤ六千圓貰フ人カラ稅金ヲ取ルト云フノハ無理デス、其人達ハソレノ金利ト元デ思フガ、アナタガ御考ニナレバ分リマス、ソレハ一時恩給ノ積リデ貰フ退職手當、終身恩給ノ積リデ居ル人ガ貰フ一時退職手當ニ對シテ同一ノ稅金デ善イモノカ惡イモノカ、同一ノ免稅點デ善イモノカ惡イモノカトヤウナコトハ、衡平ヲ期シテ戴カウト云フヤウナコトハ、衡平ヲ期シテ戴カウトスレバ私ハ自ラ分ルノデハナイカト思フ

付テ、必ズ所得稅ヲ取ルノガ理論上良イカニ貰ヤ宿泊料ニ使フ三千圓ニ對シテハ、人ノ悪イカ、又現行法デドウナッテ居ルカ存ジマセヌ、中々是ハ困難ナ問題デアルト思ヒマセス、尙ホソレ等ノ點ニ付キマシテハ、詳細ニ政府委員ニモ聞キマシテ、又御答辯申上ゲルコトガアレバ御答辯申上ゲマス

○森田委員 私ハ稅金ヲ納メルノガ大儀ダトカ何トカ言フノデナイ、課稅ノ方法ニ無理ガアルト云フコトヲ申上げテ居ルノダカラ、政府委員ニ御聞キニナラヌデモ、アナタノ常識ニ依ツテ、是ハ成程歲費ト云フモノハ旅費並ミノモノダ、隨テ生活ノ資料ニハナラヌモノダ、一家ノ暮シ向ニ足ス金デハナイト云フ風ニ考ヘレバ、政府委員ニ御相談ニナラナイデモ、成程是ハ旅費ニ相當スルモノダ、隨テ所得稅ヲ課稅スベキモノデハナイト云フコトガ御分リニナリハセ

ノハナイト云フ風ニ考ヘレバ、政府委員ニ御相談ニナラナイデモ、成程是ハ旅費ニ相當スルモノダ、隨テ所得稅ヲ課稅スベキモノデハナイト云フコトガ御分リニナリハセ

ノハナイト云フ風ニ考ヘレバ、政府委員ニ御相談ニナラナイデモ、成程是ハ旅費ニ相當スルモノダ、隨テ所得稅ヲ課稅スベキモノデハナイト云フコトガ御分リニナリハセ

ノハナイト云フ風ニ考ヘレバ、政府委員ニ御相談ニナラナイデモ、成程是ハ旅費ニ相當スルモノダカラ、ソレハマダ免稅點ヲ下ゲテモ

マセス、尙ホソレ等ノ點ニ付キマシテハ、詳

細ニ政府委員ニモ聞キマシテ、又御答辯申

上ゲルコトガアレバ御答辯申上ゲマス

○森田委員 私ハ稅金ヲ納メルノガ大儀ダ

トカ何トカ言フノデナイ、課稅ノ方法ニ無

理ガアルト云フコトヲ申上げテ居ルノダカラ、政府委員ニ御聞キニナラヌデモ、アナ

タノ常識ニ依ツテ、是ハ成程歲費ト云フモ

ノハ旅費並ミノモノダ、隨テ生活ノ資料ニ

ハナラヌモノダ、一家ノ暮シ向ニ足ス金デ

ハナイト云フ風ニ考ヘレバ、政府委員ニ御

相談ニナラナイデモ、成程是ハ旅費ニ相當スルモノダ、隨テ所得稅ヲ課稅スベキモノ

デハナイト云フコトガ御分リニナリハセ

ナラヌ、然ラザレバ皆取ラヌガ宜シイ、サ

ムカラモ軍人カラモ全體カラ取ラナケレバ

&lt;p

手當ノ問題ニ付テ、簡単デ宜シウゴザイマ

スカラ大藏大臣ノ所感ヲ一ツ拜承致シタイ

○賀屋國務大臣 ドウモ一々御意見ガ一致

シナイデ困ルノデアリマスガ、前ニモ申上

ゲタヤウニ所得ト云フ觀念ガ中々難カシイ

ノデ、場合ニ依リマシタラ純粹ノ經費ガ入ッ

テ居ルモノモ所得ト見ラレル場合モアル

シ、又所得デモ之ヲ逸スル場合モアル、ソ

レラサウ云フ風ニナラナイノガ衡平デアリ

マスガ、是ハ中々私ハ技術上難カシイド思

ヒマス、正直ニ申上ゲマスト、サウ云フ細

カイ技術ハ分リマセヌカラ、尙ホ研究シヨ

ウト申上ゲタノデアリマス、今ノ官吏ノ場

合ニ於キマシテモ御話ノヤウナ御尤ナ點モ

アラウト思ヒマス、ソレハ詰リ年金恩給デ

モ課稅ハサレル、官吏デモ御承知ノヤウニ

今ハ十七年末滿ノ者ハ一時恩給シカ貰ヘマ

セヌ、官吏ガ適用サレルノハ寧ロ年金恩給

ハ少イノデアリマス、殊ニ年金恩給ノ餘計

掛カルモノハ、御承知セウガ、殆ド七八

割八軍人デアリマス、サウ云フ人デ多額ノ

退職賜金ガアリマスカト言フト、中々實ハ

ナイノデアリマス、ソレデ兎ニ角アノ五千  
圓ヲ決メマス時ニハ、官吏ガ是デ便益デア  
ルトカナイトカ云フヤウナコトハ毛頭ニ  
考ヘタノデハゴザイマセヌ、餘リ急激ニ斯

ウ云フコトヲ致スノニ少額ノモノマデニ課

サレルノハ非常ニ宜クナイ、又生命保險ニ

トニナリマスノデ、五千圓ガ適當デアル、

サウスレバヤハリソレ等ト釣合ヲ執ッテ行

カウト云フ考デアリマス、年金恩給ガアリ

マス場合ト、アリマセヌ場合ニ付キマシ

テハ、御說ノヤウニ嚴密ニ言ヘバ違フノガ

本當デアリマセウガ、併シ動機ニハ官吏ヲ

優遇スルト云フ考ハ毫モナイコトハ明ニ申

上ゲテ置キマス、又稅ノ制度ト致シマシテ

ハ年金恩給ノ場合ニハ、果シテ是方今申上

ゲルヤウニ殘存年數ハ幾ラデアルカ、或ハ

平均殘存年數ヲ保險ノ數字カラ出シマシ

テ、例ヘバドレダケノ恩給ヲ貰フトカ、ソ

レガ七年トカ、六年ニ換算シマシテ一時恩

給ガスウナルカラト云フヤウナ免稅點モ考

ヘラレマスガ、ソコマデ煩瑣ナ規定ハ設ケ

ナカッタ次第デアリマシテ、理論上ハ御話ノ

ナラズニ御考ニナックラ宜イ

ソレカラ官吏ノ問題ハ、立案スル時ニ官

吏ノ方面ヲ良クシヨウト云フ考デヤッタノ

デハナイト言ハレルガ、ソレハサウデセ

ウ、急イデ、御ヤリニナックラ其點ハ私

御付キニナラナカッタモノダラウト思ヒマ

ス、ソレハ私ハ氣ヲ付ケテ貰ヒタイ、ドウ

色々難カシイヤウニ大藏大臣ハ仰シヤッタ

ガ、難カシガラズニ單純ニ御考置キヲ願ヒ

マス、是以上答辯ヲ追究致シマセヌガ、歲費

ヲ所得ト見ラレルト云フコトハ、ドノ角度

カラ考ヘテ見テモソレハ無理ダト思フ、ア

ヤッテ居ルノハ無理デハナイト云フ風ニシ

ヨウト思ハレルカラ中々其説明ガムヅカシ

イノデス、本當ハ是ハ歲費ヲ旅費デアルト

アナタガ簡單ニ御考ニナレバ決シテ今ノヤ

ウナ答辯ニハナッテ來マセヌ、ソレカラ又サ

ウデハナイ、是ハ何處マデモ所得稅ヲ取ル

モノデアル、他ノ給料ト同ジ意味デアルト

ウナ答辯ニハナッテ來マセヌ、ソレカラ又サ

深ク御考慮ヲ願ヒマス

ソレカラ同族會社ノコトニ付テ御尋申上

ゲマス、同族會社ノコトニ付テハ屢々同僚諸

君ガ質問シテ居ルガ、ハッキリシテ居ナイ、

私等ノ考ヘル所デハ、或ハ不要ノ土地、所

謂其會社ノ事業ニ必要ナラザル土地、若ク

ハ其會社ノ事業ニ關係ノアラザル有價證券

等ヲ保全スル同族會社ニハ加算稅ヲ課ケラ

レルコトハ、是ハ今ノ法律ノ立前カラ已ム

ヲ得ナイ、假令株主ノ一人ノ者ガ過半數ヲ

持ツテ居ツテモ課ケテ居ル、資本ヲ悉ク產業

等ヲ保全スル同族會社ニハ加算稅ヲ課ケラ

ヲハツキリ御答スルコトハ一寸御待チヲ願

○森田委員 モウ最後ニ近付イテ來タノデ  
アリマスカ、今度ノ税ヲ増徴スル上ニ於  
テ、ドナタカラカ先般税務當局ニ對スル御  
註文ガ出タト思ヒマシタガ、私モ一點註文  
ガアル、先ヅ率直ニ申上ゲレバ、税務署ノ  
署長トナツテ一線ニ立ツ人ハ老練ナ人ガ宜  
イト思フ、見習ノ役人ノ方ガ決シテ役ニ立  
タヌトカ、詰ラナイトカ言フノデナイガ、  
本當ハマダ常識ガ十分ニ備ハッテ居リマセ  
ヌ、隨テ無理ガ多イノデス、デアルカラ、  
此點ハヤハリ相當ナ優遇ヲシテ相當ナ地位  
ノ人ヲ税務署ノ署長ニ据エルヤウニシ、課  
長亦然リ、税務署員モ今勵イテ居ルノハ三  
十圓臺ノ雇ガ居ル、大藏大臣ハ御承知デナ  
イデセウガ、三十圓臺ノ雇ニ是等ノ大キナ  
何万圓、何十万圓ト云フ税ノ勘定ヲサスノ  
ハ危險ナモノデアルトアナタハ御考ニナル  
カナラヌカ知ラヌガ、本當ハ危險デアル、  
本當ニソレ等ガ完全ニ行ク譯ニハ行カナイ、  
此邊ハ税ヲ取立テルバカリガ能デヤナイ、  
取立テタモノヲ少シオ裾分ケラシテ良イ人  
間ヲ入レル、十分親切ニ税ノ取扱ヘル、少  
シ吾々ガ話シテ見テモ、成程是ナラ税務署ノ  
役人ダケアツテ吾々ヨリハ税ノコトニ關シテ

テ吳レナイカラ攻撃スルノデハナイガ、併  
ナガラ稅制ヲ立テル大藏當局ハ眞直グデナ  
ケレバナラヌ、大藏當局ハ誰ガ何ト言ウテ  
モ骨ガ折レルカラ、其前ニ一つ公正妥當ナ  
バ、此處デ色々修正スルトカ何トカ言ッテ  
モ立案ヲシテ貰ヒタイ、今ノヤウナ問題モ  
前カラ屢々議會ノ問題ニナッテ、機會アル毎  
ニソレハ改正、改善スルト言ウテ居ルコト  
ナノダガ、前ノ臨時利得稅ノ時ニモ、ソレ  
ハ考慮スルト言ウタノデアルカラ、ドウゾ  
一ツ其點ヲ御考慮ガ願ヒタイ、御意見ガア  
レバソレモ聽ク、最後ニ今一ツ、斯ウ云フ  
問題ハドウ解決セラレルカ、入場稅ト觀覽  
稅ノ徵收方法如何、政府ハ完全ナ徵收ガ出  
來ルト思ウテ居ラレルガ、私ハ完全ナ徵收  
ガ出來ヌト思フ、併ナガラ吾々ノ肯定出來  
ルヤウナ徵收方法ガアレバ拜承シタイ、ソ  
レカラモウ一つハ配當特別稅、之ヲ個人ガ  
納メズニ會社ガ納メタ場合ニ、稅務署ハ斯  
ウ言フ、會社ガ納メタ場合ニハ其支出金ハ  
否認シテハイカヌト思フ、ヤハリ支出ノ部  
ニ認メテヤッテ、其代リ個人ノ第三種所得  
稅ノ分デ餘分ニ貰ッテ居ルカラ、其課稅ノ  
方デ寧口政府ノ收入ハ良クナル、ダカラ之

ヲ第三種ノ所得稅ノ時ニ一割ヲ引カザルモノニ第三種ノ所得稅ヲ課ケテ、政府ハ此方デ餘分ニ取ル、隨テ片方ノ支出ヲ認メヌト云フノハ間違デアラウト思フガ、ドウカ其點ハ、政府ハコツチデモ否認シテ所得稅ヲ取り、片一方ハ貰ハヌナラバ宜イガ、第三種所得ノ方デ取ル、是モ兩建デヤッテ居ル、兩方デ所得稅ヲ取ラウト思フノガ無理ガアラウト思フノデスガ、此三ツヲ一つ伺ヒタイ

○賀屋國務大臣 稅務署員ノ勤務ニ付キマシテ、延イテ徵稅上ノコトニ關スル御說洵ニ御尤デ、私等モ十分ニ良クシタイト思フノデアリマス、獨リ稅務署ノミヲ良クスル譯ニモ參リマセヌ、影響スル所モ非常ニ多イノデアリマシテ、其點非常ニ氣ノ毒ダト思テ居リマスルガ、只今ノ所已ムヲ得ス次第アリマス、今回ノ増稅ニ付キマシテモ、趣旨ガ趣旨デアリマスルカラ、此徵稅費等ハ成ベク之ヲ避ケタイト思ツタノデアリマスルガ、新稅ヲ課シマスルノニ行違ガアリマシテハ、却テ惡イ點モアルト思ヒマシテ、相當ノ金額ヲ要求致シテ居リマス、何卒御贊成願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ入場稅ノ徵收ノ方法ハ、是ハ私ハドウモ素人デ能ク分リマセヌガ、後カラ申告ニ依ツ

テ取リマス、劇場其他ノ點モ凡ソ分ッテ居ルノデアリマスルカラ、非常ニ脫稅ガ行ハレルトカ、サウ特ニ此稅ノミガ外ニ比シテ間違ガ多イトモ考ヘテ居リマセヌ、最後ノ御尋ハ一寸私ニ理解シ兼ネマシタ

○森田委員 稅務當局ノ者ノミ優遇スル譯ニ行カヌト仰シヤッタガ、私ノ問ガ惡カッタカモ知レマセヌガ、他ノ何處ニ釣合フ所ガアルノカ知ラナイガ、私ノ申上ゲタノハ、税務當局ガ一番能ク働カサレテ居ルノデハナイカトスウ云フノデス、吾々見テ居ツテ殆ド晝夜兼行デ別ナ手當ヲ貰ハズニヤッテ居ルノデス、外ノ所ハ地方廳ニシテモ、或ハ又名前ヲ舉ガルト彼此レ言ハレルカラ申上ゲマセヌガ、他ノ地方ニ於ケル色々ナ官廳ニシテモ、期日ガ定ツテ居ナイ、國稅ナドヲ取ルヤウナ風ニ何月何日マデニ納付スルト云フ納付日マデガ法律デ決ツテ居ルカラサボレナイ、アナタ方ガオヤリニナッテ居ラレルヤウニ、未決ノ籠ノ中ニ何時マデモ置クシテ居リマス、詰リ兩建デナイ、一方デアリマス

○賀屋國務大臣 個人ノ方ハ控除シテ課稅ニデモ宜イガ、今申上ゲルカラ大藏大臣モ能ク頭ニ入レテ置イテ戴キタイ、ソレハ配當ノ超過稅ニシテモ一割ナラ一割ヲ配當ブ受ケル人ガ拂フノガ原則デアル、然ルニ之ヲ會社ガ差引クノヲ間違ヘタトカ忘レテ會社ガ拂ツテ置ク、若シ忘レテ居ツタラ會社ガ負擔セイト現行法ニアルカラ之ヲ拂ツテ、サウシテ之ヲ支出ノ部ニ届ケテ置クト、稅務署デハソレヲ支出デナイト認メテ所得稅ヲ課ス、利益ノ中ニソレヲ加ヘル、所謂總收入金ヨリ總支出ヲ控除スルト云フ支出ニ認メテ吳レナイ、隨テ其法人ハソレヲ所得トサレテ稅金ヲ納メテ居ル、ソレナラバ、法人ノ方デソレヲ支出ニ認メテ居ナイナラ

ハヨク分ル、何モ他ノ役所ニ遠慮シテ、良人間ヲ入レルニ躊躇スル必要ガナイ、良ルノデアリマス、假ニ一圓ノ配當金デ、實際稅金ヲ納メレバ九十錢ニシカナラヌ、ダ給料ヲ澤山ヤレバ宜イ、政府ハ革新ヲヤルト云フコトダガ、サウ云フコトハ革新的ニヤツタラ宜イ、私ハソレダケ稅ヲ餘計出シタアルカラモウ大抵御分リニナツタラウト思アルカラモウ大抵御分リニナツタラウト思

保シテ置キマス、大藏大臣ニ最後ニ御話申上ゲテ置キタイノハ、是ハ色々問題ヲ擧ゲテ、本案ノ最後ノ討論ニ入ル迄ニ御考慮置ヲ願ヒタイト思ヒマスノハ、政府ノヤラレタコトハ全部盡ク宜イカラ原案ヲ通セト云フコトナラ、立法ノ審議機關ハ要ラヌノデス、ソレ程完全ヲ期シテ居ラレルナラ、今ノ退職手當デモアナタモ御氣付ニナラレタヤウニ、餘程完全ダトシテヤラレタコトモ完全デナイ

ソレカラ今一ツ残ツテ居リマシタガ、臨時

利得税ノ個人ノ資本ヲ認メテ居ラヌ、是ハ後日問題ニナル點デアルカラ、一ツ意見ヲ一致サレテ置イテ戴カナケレバナラヌ、法人ハ資本ノ百分ノ十ヲ超エタモノニ對シテ今度ノ利得税ヲ課ケル、然ルニ個人ハナンボ儲ケガアラウトモ單ニ、五十圓除ケテシマッテ、アトハ百分ノ二十ヲ課ケル、例ヘバ資本金ヲ百万圓持ツテ居ル法人ガ十万圓儲ケレバ今度ノ臨時利得税ハ掛リマセヌ、然ルニ個人デ同ジ資本ノ百万圓ヲ以テ十万圓儲ケタ場合ハ、九万五千圓ニ對シテ百分ノ二十一万九千圓ノ税金ガ掛ル、此點ハ法人ニハ資本ヲ認メ、個人ニハ資本ヲ認メスト云フ點モ甚ダ不公平デ、何トアナタガ御答ナサラウトモ、誰ガ考ヘテモ不公平デアル、

タコトハ全部盡ク宜イカラ原案ヲ通セト云フコトナラ、立法ノ審議機關ハ要ラヌノデス、ソレ程完全ヲ期シテ居ラレルナラ、今ノ退職手當デモアナタモ御氣付ニナラレタヤウニ、餘程完全ダトシテヤラレタコトモ完全デナイ

ソレカラ今一ツ残ツテ居リマシタガ、臨時利得税ノ個人ニ對シテ不親切ナ取扱ヲシタコトニナルト思フガ、之ヲ大藏大臣ハドウ御考ニナリマスカ、不公平デナイト思ハレルカドウカ御伺致シマス

○賀屋國務大臣 是ハ本會議ニ於テモ御答辯致シマシタガ、森田サンノ御話ノ如ク理論上ハ洵ニ當ヲ得マセヌ、併ナガラ個人ニ付テハ、資本ト云フ觀念ヲ今ノ税制ノ上デ取リタイノデアリマスガ、ソレガ取ラレヌモノデスカラ、已ムヲ得ズ五千圓以上ノ利得ト云フコトニ致シマシテ、課税スルノハ一万圓以上ノ利益ニ對シテアリマス、此趣旨ハ本會議ニ於テモ申上ゲマシタ

○森田委員 大體分リマシタカラ、今申シマシタ點ヲ考慮シテ置イテ貰フコトニシテ、私ノ大臣ニ對スル質問ハ大體此程度デ止メテ置キマス

ソレデ吾々ノ考デハヤハリ法人ト同ジヤウニ、個人ニ付テ假想的ノ資本ヲ見ルコトハ、

ガ大分アリマス、大藏大臣ヲ初メトシ、内務大臣、農林大臣、文部大臣、厚生大臣、

税制ノ立法技術上難カシイト思フカラ、此點ハ段階式ニシテ行ッテ、免稅點ヲ順次變ヘテ稍、法人ト同ジヤウニシナケレバナラヌノヲ、斯ウ云フ不公平ナ儘ニ拋ツテ置クコト

コトニナルト思フガ、之ヲ大藏大臣ハドウ御考ニナリマスカ、不公平デナイト思ハレルカドウカ御伺致シマス

○賀屋國務大臣 是ハ本會議ニ於テモ御答辯致シマシタガ、森田サンノ御話ノ如ク理論上ハ洵ニ當ヲ得マセヌ、併ナガラ個人ニ付テハ、資本ト云フ觀念ヲ今ノ税制ノ上デ取リタイノデアリマスガ、ソレガ取ラレヌモノデスカラ、已ムヲ得ズ五千圓以上ノ利得ト云フコトニ致シマシテ、課税スルノハ一万圓以上ノ利益ニ對シテアリマス、此趣旨ハ本會議ニ於テモ申上ゲマシタ

○森田委員 大體分リマシタカラ、今申シマシタ點ヲ考慮シテ置イテ貰フコトニシテ、私ノ大臣ニ對スル質問ハ大體此程度デ止メテ置キマス

○高橋委員長 諸君ニ申上ゲマス、明日ハ午前十時ヨリ此委員室ニ開會致シタイト思

ヒマス、ソレカラ大臣ニ對スル質疑ノ要求

昭和十三年三月三日印刷

昭和十三年三月四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局